

放送大学

教養学部

2026年度第1学期

面接授業時間割表



〈開講期間〉 2026年4月18日(土)～2026年7月26日(日)

目次

I. 科目登録の申請等について	1
II. 開設科目一覧	
学習センター別面接授業開設科目一覧	11
科目区分別面接授業開設科目一覧	19
III. 案内図・授業概要	
福岡学習センター	22
北九州サテライトスペース	42
佐賀学習センター	46
長崎学習センター	60
熊本学習センター	74
大分学習センター	90
宮崎学習センター	104
鹿児島学習センター	116
沖縄学習センター	136
IV. 学習センター以外の場所で行う面接授業	156

【巻末資料】

追加登録申請書

【予告】面接授業時間割表（各ブロック版）ペーパーレス化について

2026年度第2学期から、面接授業時間割表（各ブロック版）はウェブサイト上に掲載されるPDFファイルをご覧ください、原則として印刷物はお送りしないこととなりますので、あらかじめお知らせいたします。SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」では廃棄物の大幅削減、目標15「陸の豊かさを守ろう」では森林の保護が掲げられており、目標達成に貢献してまいります。

面接授業の時間割表や、シラバスなどの詳細はウェブサイトをご覧ください。また、システムWAKABAシラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つかりやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト＞授業概要】

<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/syllabus/>



【システムWAKABAシラバス検索】

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/>



なお、面接授業開設科目一覧につきましては、全国で開講されている面接授業・ライブWeb授業の一覧や、履修方法等をお知らせする重要なご案内となりますため、引続き冊子の配布を継続します。

※事情により「面接授業時間割表（各ブロック版）」の紙媒体が必要な場合、学習センターで配布・郵送予定です。詳しくは2026年度第2学期面接授業開設科目一覧の冊子内でお知らせいたします。

I. 科目登録の申請等について

この冊子は、九州・沖縄ブロック [福岡（北九州サテライトスペース）、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄] の各学習センターで開設される2026年度第1学期面接授業の時間割表です。

2026年度第1学期面接授業の科目登録に必要な冊子は、次のとおりです。

- 「科目登録申請要項（2026年度第1学期）」（科目登録申請票付）
 - 「2026年度第1学期面接授業開設科目一覧」
 - 「2026年度第1学期面接授業時間割表 [九州・沖縄ブロック版]」（本冊子）
- ※2019年度第1学期より、授業時間帯が変更になりましたので、ご注意ください。(詳細P2)

なお、九州・沖縄ブロック以外の各学習センターにおける開設科目の詳細（授業概要）につきましては、各学習センターに備え付けの時間割冊子または、放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/>) をご利用ください。

〔科目登録・履修にあたっての注意事項〕

1. 科目登録申請票提出後の変更・追加・取消等はできません。慎重に選択の上申請してください。
※インターネット（システムWAKABA）で科目登録申請する場合は、科目登録申請期間内であれば、科目登録申請画面において変更・追加・取消等ができます。
ただし、すべて取消することはできませんので、その場合は、本部までご連絡ください。
2. 授業を欠席しても、他の科目への振り替え、授業料の返還は行いませんのでご了承ください。
3. 次の場合、申請しても科目登録されませんので、ご注意ください。
 - ① 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と全く同じ科目名の授業を申請した場合
 - ② 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と相互に履修制限の関係にある科目を申請した場合（具体的な科目については全国版「面接授業開設科目一覧」の〈申請上の注意〉でご確認ください）
 - ③ 授業日程が重複する複数の面接授業科目を申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ④ 複数の学習センターで開設する科目を受講する際、学習センター間の移動時間として最低1時限分以上の間隔がない場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑤ 同時に同じ科目名（同じ科目コード）の科目を複数申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑥ 現在履修中の面接授業科目と全く同じ科目名の授業、または現在履修中の面接授業科目と履修制限の関係にある科目を申請した場合

4. 担当講師は、都合により変更する場合があります。授業日程にやむを得ず変更が生じた場合、受講生の方には電話及びキャンパスメール（学生メール）等によりすみやかにお知らせします。なお、授業日程の変更等の際は、交通費等は補償しませんので、あらかじめご了承ください。

講師の病気など、事情により他の講師が代講する場合があります。

また、災害の発生等で開講が困難な場合、閉講や日程変更となる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

担当講師変更・日程変更等についてはウェブサイトにて最新情報を随時掲載いたします。

(<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/>)

5. 2026年度第1学期の九州・沖縄ブロック各学習センターの授業実施時間帯は以下のとおりです。下記実施時間と異なる科目もありますので、必ず各々の科目の日程・実施時間欄を確認の上受講してください。

[福岡、北九州、大分面接授業実施時間]

1時限： 9：45～11：15

2時限：11：25～12：55

3時限：13：40～15：10

4時限：15：20～16：50

※2日目

4時限：15：20～16：05

試験・レポート等：16：05～16：50

[佐賀、宮崎面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限：11：10～12：40

3時限：13：30～15：00

4時限：15：10～16：40

※2日目

4時限：15：10～15：55

試験・レポート等：15：55～16：40

[鹿児島面接授業実施時間]

1時限： 9：50～11：20

2時限：11：30～13：00

3時限：13：50～15：20

4時限：15：30～17：00

※2日目

4時限：15：30～16：15

試験・レポート等：16：15～17：00

[熊本、長崎、沖縄面接授業実施時間]

1時限：10：00～11：30

2時限：11：40～13：10

3時限：14：00～15：30

4時限：15：40～17：10

※2日目

4時限：15：40～16：25

試験・レポート等：16：25～17：10

[鹿児島（鹿児島県立奄美図書館）面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限：11：10～12：40

3時限：13：30～15：00

4時限：15：10～16：40

5時限：16：50～18：05

試験・レポート等：18：05～18：20

【2日目】

1時限： 9：30～11：00

2時限：11：10～12：10

3時限：13：00～14：30

試験・レポート等：14：30～15：00

6. 受講したい科目の選択にあたっては授業概要をご覧ください。科目によっては、「授業テーマ」を記載しておりますが、授業の進捗状況にあわせて、変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

授業受講に際し必要な図書（授業当日必ずご持参いただくもの）は「教科書」として指定しておりますので、受講生の方各自でご用意をお願いいたします。なお、教科書を指定する授業は、本冊子の授業概要に示してあります。

なお、消費税等の変動により、教科書・参考書の価格が表示価格と異なる可能性があります。

【教科書】：授業で使用します。事前に各自で必ず用意しておいてください。

【参考書】：受講する前に読んでおいた方がよいものや授業を理解する上で参考となるものです。（参考書の購入は、必須ではありません）

7. 面接授業の成績はA～Eの6区分の評価があり、「A～C」の場合1単位が与えられます。授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等*の時間が設定されます。

* 筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください）

* フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。成績評価結果は、他の履修科目とあわせ「成績通知書」によって通知します。

8. 科目区分とナンバリングについては、本冊子8ページをご参照ください。

【各ブロック版PDFについて】

所属ブロック以外の面接授業時間割表冊子（シラバス）は、「面接授業ウェブサイト」> 授業概要（<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/syllabus/>）で、PDF版を閲覧できます。



【ライブWeb授業について】

Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。詳細は、以下をご確認ください。

九州・沖縄ブロックのセンターで実施するライブWeb授業のシラバスは、実施センターの授業概要の最終ページに掲載しています。

<放送大学Webサイト/選ばれる理由/

いつでも、だれでも、自由な学び方を/ライブWeb授業>

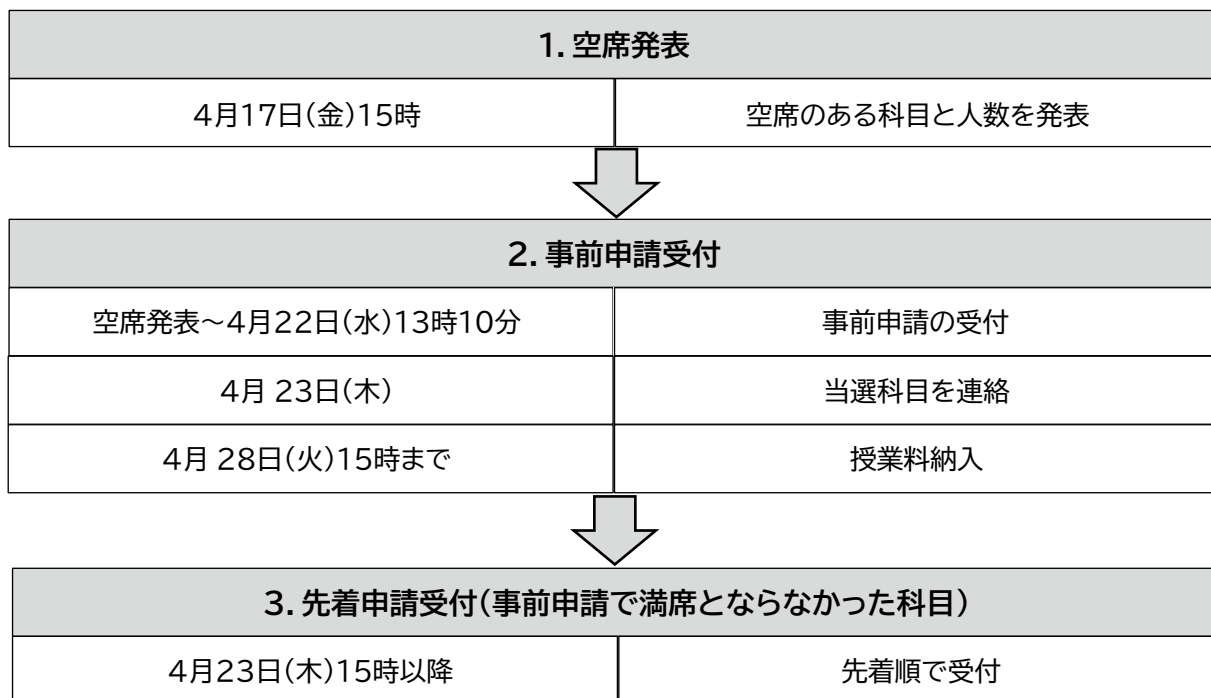


面接授業科目の「追加登録」について（ライブ Web 授業も準じます）

科目登録決定後、空席のある科目については、当該科目を開設する学習センターで追加登録を受け付けます。

「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」という方も、この機会を活かして面接授業の追加登録をご検討ください。また、2024 年度第 2 学期から、全ての学習センターでウェブから追加登録の事前申請が可能となりましたので、ぜひご利用ください。

追加登録は以下のとおり行います。



1 空席発表 4月17日(金) 15時

面接授業ウェブサイトの「お知らせ」にて、全国の空席状況を確認できます。面接授業ウェブサイト (mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/)は、以下の QR コードやシステム WAKABA の学内リンクからアクセスしてください。※

- 放送大学トップページから→[在学生\(WAKABA\)](#)をクリック
- システムWAKABAへログイン
- 学内リンクの[面接授業\(第1学期\)](#)のページ
- [お知らせ](#)に掲載します。



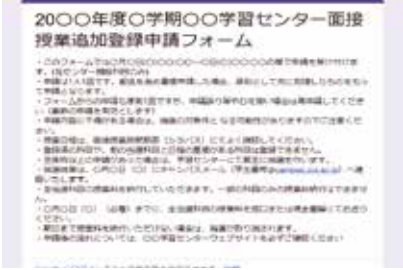
面接授業ウェブサイト1学期



※4月18日～30日の間に授業が始まる科目については、業務の都合により原則として追加登録の対象外となります。ただし、一部の学習センターでは、先着順で追加登録を受け付ける科目もあります。対象科目や申請方法については、面接授業ウェブサイトや各学習センターのウェブサイトでお知らせします。【4月初旬より随時公開】

2 事前申請受付

追加登録の事前申請は、開設する学習センターごとに受け付けを行います。他の学習センターの開設科目の受け付けはできません。それぞれの学習センターへ申請してください。

<p>事前申請の受付 【空席発表～4月22日(水)13時10分】</p>	<p>事前申請受付期間内に、次のA、Bのいずれかの方法により申請してください。</p> <p>A:Google フォームから申請 各学習センターのウェブサイトの「お知らせ」から、Google フォームのURL をクリックして、必要な項目を入力してください。</p>  <p>※イメージ図</p> <p>B:学習センター窓口で申請 開所時間を確認の上、巻末の追加登録申請書をご持参ください。</p> <p>なお、巻末の追加登録申請書を郵送することも可能ですが、その場合は4月22日(水)午前必着です。※北九州サテライトスペース実施科目は、福岡学習センターへ申請書を郵送してください。昨今の郵送事情から配送が遅れることが予想されますので、Googleフォームからの申請を強くお勧めします。</p>
<p>当選科目を連絡 【4月23日(木)】</p>	<p>学習センターからキャンパスメール(学生番号@campus.ouj.ac.jp)へ抽選結果をお知らせします。キャンパスメールの確認方法がわからない方は、事前にお問い合わせください。</p> <p>なお、空席数以上の申込みがあった科目は、学習センターにて厳正に抽選を行い、当選者を決定いたします。</p>
<p>授業料納入 【4月28日(火)15時まで】</p>	<p>当選科目がある方は、抽選結果と別に、授業料決済用URLがキャンパスメールへ届きますので、クレジットカード決済・コード決済・コンビニ決済により、授業料・事務手数料(1科目につき200円)を納入してください。</p> <p>本学で授業料納入が確認できましたら、手続き完了を伝えるメールをキャンパスメールへ送信します。</p> <p>期日までの授業料納入が困難な場合は、必ず事前に開設学習センターへご相談ください。</p> <p>キャッシュレス決済導入以前に郵送いただいた追加登録申請書、返信用封筒は不要となります。(手続き完了のメールをもって、科目登録決定通知といたします)</p>

※キャッシュレス決済のご利用方法等は、本学からのお知らせ「キャッシュレス決済の対象拡大について」(<https://www.ouj.ac.jp/news/2025/information/9-2.html>)をご確認ください。ご事情によりキャッシュレス決済の利用が難しい場合は、学習センターへご相談ください。



【ご注意ください】

- ・当選した科目のキャンセルはできませんのでご注意ください。
- ・Googleフォームで申請した内容は修正可能ですが、修正が難しい場合は、期日までに再度申請してください。複数回申請した場合、原則として最後の申請を有効とします。
なお、Googleフォームと郵送を重複して申請した場合、原則として先に処理したものを有効とします。
- ・複数の学習センターに同名の科目を申請した場合や、日程が重複する科目を申請した場合、どちらを優先するか希望順位は選択できませんので、ご注意ください。



【ご参考】

- ・全国の学習センターのウェブサイトは、下記よりご確認いただけます。
<https://www.ouj.ac.jp/about/ouj/center/>



3 先着申請受付(事前申請で満席とならなかった科目)

事前申請で満席とならなかった科目については、空席状況はシステム WAKABA でリアルタイムに確認できます。原則として開講日の7日前まで先着順で追加登録を受け付けます。

<p>空席確認 【4月23日(木)15時以降随時】</p>	<p>放送大学トップページ→在学生(WAKABA)をクリック →システムWAKABAへログイン →教務情報→科目登録申請→空席照会をクリック →希望の科目を検索</p>  
-----------------------------------	---

<p>申請 【4月23日(木)15時～ 原則として開講日の7日前 まで】</p>	<p>追加登録を希望する開設学習センターへ、メール・電話・窓口等で、「科目名・科目コード・クラス」をご連絡ください。</p> <p>登録可能であれば、申請受理のお知らせと、授業料決済用URLがキャンパスメールへ届きますので、クレジットカード決済・コード決済・コンビニ決済により、授業料・事務手数料(1科目につき200円)を納入してください。</p> <p>本学で授業料納入が確認できましたら、手続き完了を伝えるメールをキャンパスメールへ送信します。</p> <p>キャッシュレス決済導入以前に郵送いただいていた追加登録申請書、返信用封筒は不要となります。(手続き完了のメールをもって、科目登録決定通知といたします)</p> <p>お支払い期限は授業料決済用URL送付から5日後15時までとなります。ただし、追加登録受付期限日(原則として開講日の7日前まで)の間際に申請された場合、お支払い期限が短くなりますのであらかじめご了承ください。</p>
--	--

※キャッシュレス決済のご利用方法等は、本学からのお知らせ「キャッシュレス決済の対象拡大について (<https://www.ouj.ac.jp/news/2025/information/9-2.html>)」をご確認ください。ご事情によりキャッシュレス決済の利用が難しい場合は、学習センターへご相談ください。



※追加登録受付期限日は、原則として授業開始日の7日前(ライブWeb授業は「心理学実験(基礎)」が14日前、その他が10日前)ですが、学習センターの閉所日や授業内容によって早めに締め切る科目や、直近まで受け付ける科目もあります。

【ご参考】ライブWeb授業科目の「追加登録」について

学習センターが開設する科目(「学習センターコード」が「12Z」以外の科目)に空席がある場合には、当該科目を開設する学習センターで追加登録を受け付けます。追加登録の手続きや日程は面接授業に準じます。

本部が開設する科目(「学習センターコード」が「12Z」の科目)は、原則として追加登録を行いません。

追加登録の授業料納入におけるキャッシュレス決済導入について

2025年10月より、学習センターでお取り扱いしている各種手続きにおける支払いに、キャッシュレス決済が導入されました。

面接授業・ライブWeb授業では、学期開始後に空席のある科目について学習センターで追加登録を受け付けていますが、これまで授業料のお支払いは学習センターへのご来所、または現金書留(封筒含め611円)によりお願いしておりました。

キャッシュレス決済の導入により、学習センター窓口にお越しいただくことなく、いつでもどこでも授業料をお支払いいただけるようになりました。もちろん、学習センター窓口においてもキャッシュレス決済でお支払いいただけます。さらに、これまでは追加登録申請書や返信用封筒の郵送なども必要でしたが、キャッシュレス決済をご利用いただくことで、これらの手間も一切不要となりますので、ぜひ追加登録をご検討ください。

なお、2026年4月の本格導入以降、お支払い場所や方法を問わず、事務手数料(1科目につき200円)が必要となります。キャッシュレス決済のご利用について、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

キャッシュレス決済のご利用方法等は、本学からのお知らせ「キャッシュレス決済の対象拡大について (<https://www.ouj.ac.jp/news/2025/information/9-2.html>)」をご確認ください。



※事情によりキャッシュレス決済の利用が難しい場合、適切な代替手段のご案内を行いますので、学習センターまでご相談ください。

科目区分とナンバリング

放送大学の科目は全てのコースにおいて、基盤科目、導入科目、専門科目、総合科目に分類され、それぞれ100番台～400番台でナンバリングされています。

ナンバリングの小さいほうがより基礎的で、大きくなるにつれて専門性が高まり、総合科目は複数の専門科目の総合という意味で応用性が高くなるという構成になっています。

それぞれの科目区分と目標は次のとおりです。

科目区分		目 標
基盤科目 (100番台)		放送大学の全てのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身につけること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。
コース科目	導入科目 (200番台)	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識およびそこで求められる基礎的な能力を身につけること。
	専門科目 (300番台)	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身につけること。
	総合科目※ (400番台)	学際的な知識、分析手法を身につけ、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

※面接授業における総合科目は、卒業要件上は所属コースの科目として扱います。

また、科目区分に加え、初級(10)、中級(20)、上級(30)の難易度も設定されています。そのため、各科目のシラバスには以下のようにナンバリングが記載されています。

	初級(10)	中級(20)	上級(30)
基盤科目(100)	110	120	130
導入科目(200)	210	220	230
専門科目(300)	310	320	330
総合科目(400)	410	420	430

なお、2009～2015年度に入学・再入学・編入学した方で、2016年度からのカリキュラムに移行していない場合の科目区分の読み替えについては、学生生活の葉をご確認ください。

授業内容には以下の項目が記載されていますので、科目を選ぶ際の参考としてください。

システムWAKABAシラバス検索

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/>



(1)科目区分とナンバリング
科目区分および難易度をナンバリングで表示しています。
詳しくは8ページをご確認ください。

科目コード	948	【授業内容】
学習センター	学習センター	これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センターコード		【到達目標】
クラスコード		パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マネージャー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。
科目名	新・初歩からパソコン	【授業テーマ】
科目区分	基盤科目	第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
ナンバリング	110	第2回 ワードによる文書作成とPDF保存
定員	20名	第3回 Webとメールの活用
担当講師	○○ ○○ 放送大学教授	第4回 セキュリティ
日程 実施時間	○月○日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 ○月○日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20	授業概要
		第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り(第7回で体験)
実施会場	●●図書館(△市●●)	【学生へのメッセージ】
		基本的なパソコン操作と放送大学のシステムWAKABAの操作方法を学びます。実習中は、講師とアシスタントがサポートしますので、慣れていない方でも安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】
		成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】
		USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証。授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。
		【教科書】
		・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します
		【参考書】
		・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。／¥0）
		【その他（特記事項）】
		この科目は2009～2015年度の「基礎科目」に該当します。 「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。

(2)成績評価の方法
詳しくは3ページをご確認ください。

学習センター以外の場所で
開講する科目は156ページをご確認ください。

(3)教科書・参考書
詳しくは3ページをご確認ください。

障がいのある方が受講時の支援（合理的配慮）を希望される場合

講義内容や学習センターの学習環境等により、どのような合理的配慮が提供できるかは面接授業科目によって異なる可能性があります。希望する合理的配慮が提供できない場合でも、お支払いいただいた学費は学期開始前までに入学を辞退された場合の授業料を除いて返還できませんので、履修を希望する授業を開講する学習センター等に連絡のうえ、科目登録申請前に必ず相談してください。

自分用パソコン持ち込み方式（BYOD）のご案内

自分用パソコン持ち込み方式（BYOD）の面接授業は、原則として受講者ご自身でパソコン等を持参し、受講いただきます。

BYOD 科目は、授業内容の冒頭に BYOD であることが分かるよう記載しているほか、2026 年度第 1 学期面接授業開講科目一覧冊子の「PC 等持参必須」欄でもご確認いただけます。また、面接授業ウェブサイトには「BYOD—自分用パソコン持ち込み方式について」を掲載しておりますので、ご参考になさってください。

面接授業ウェブサイト > BYOD
<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/byod/>



なお、受講にあたり必要な条件は科目により異なります。面接授業時間割表（各ブロック版）やシステム WAKABA のシラバスを必ずご確認ください、科目登録申請をしてください。

1. 受講に必要なパソコン等端末の種類（パソコン、タブレット等）や OS・ソフトウェア（Windows や Office 等）についてご確認ください。
2. 学習センターの無線 LAN（Wi-Fi）に接続する場合、所定の手続きを面接授業の受講前日までに行う必要があります。
 2024 年度第 2 学期からオンライン申請となりました。手続きの詳細は上記「面接授業ウェブサイト」または「システム WAKABA > 各種届出・申請様式 > 無線 LAN 利用申請（オンライン）」についてご確認ください。
3. 学習センターにプリンターはありませんので、紙媒体でレポート提出が必要な科目の場合、自宅やコンビニ等で印刷いただく必要があります。

科目コード		【授業内容】
学習センター	福岡学習センター	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センターコード	40A	内容：プログラミングを学んだことがない人を対象に、オンライン授業「プログラミング入門Python」の内容の一部を、演習を豊富に取り入れて実施します。まずは、プログラミングの基礎知識を身につけることを目的として、Scratch について紹介します。 対象：プログラミングを学んだことがない人、プログラミング言語を学んだことがある人。
クラスコード	K	【授業テーマ】 第1回 プログラミングとは何か 第2回 文字列、データ型 第3回 条件分岐 第4回 繰り返しの書き方 第5回 ミニ課題のレビュー 第6回 統計処理とデータ可視化 第7回 図形の描画 第8回 プログラムの作成と実行
科目名	プログラミング演習 Python	【学生へのメッセージ】 この授業では、プログラミングを学ばせていただきますが、使用するパソコンは各自持ち込み方式で受講してください。 【受講前の準備学習等】 システム WAKABA にログインし、授業概要を確認してください。 Google Chrome をインストールしてください。
科目区分	導入科目：情報	【成績評価の方法】
ナンバリング	220	
定員	16 名	
担当講師	タツミ タクオ 原己 丈夫 (放送大学教授)	

パソコン等を持参して受講する科目は【授業内容】の冒頭に以下のように記載しています。

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】
 【受講者が当日用意するもの】
 【その他（特記事項）】
 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

※Microsoft Office の学割について

放送大学在学中の学生は、株式会社内田洋行が提供するサービス「ウチダの Office 学割」を利用し、Microsoft Office を特別学割価格で購入できます。詳しくは以下をご覧ください。

Microsoft Office の学割について
<https://www.ouj.ac.jp/about/office-gakuwari/>



Ⅱ. 開設科目一覧

学習センター別面接授業開設科目一覧 (★はライブweb授業)

【福岡学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	原書と映画で学ぶ英語その6	4月18日(土)	志水俊広	23
		4月19日(日)		
導入科目：人間と文化	中国古典を読むために	6月13日(土)	宮本徹	34
		6月14日(日)		
導入科目：情報	サイバーセキュリティ基礎論	6月20日(土)	笠原義晃	37
		6月21日(日)		
導入科目：自然と環境	金属イオンと生命の科学	5月9日(土)	久枝良雄	27
		5月10日(日)		
導入科目：自然と環境	水産海洋学入門	5月23日(土)	望岡典隆	29
		5月24日(日)		
専門科目：生活と福祉	感染症と免疫	4月25日(土)	荒川満枝	24
		4月26日(日)		
専門科目：生活と福祉	人間工学	6月6日(土)	村木里志	31
		6月7日(日)		
専門科目：生活と福祉	生き方としての健康科学	6月11日(木)	戸ヶ里泰典	33
		6月12日(金)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	4月25日(土)	花田利郎	25
		4月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	5月16日(土)	斎藤富由起	28
		5月17日(日)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学実習	5月23日(土)	佐藤仁美	30
		5月24日(日)		
専門科目：心理と教育	★心理学実験(基礎)	5月23日(土)	竹林ひかり	39
		5月30日(土)		
		6月6日(土)		
		6月13日(土)		
専門科目：心理と教育	災害時の心理支援	6月6日(土)	野村れいか	32
		6月7日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	6月13日(土)	山本健太郎	35
		6月14日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月13日(土)	分部利紘	36
		6月20日(土)		
専門科目：心理と教育	デジタル化社会における大学教育	6月20日(土)	苑他復傑 他1名	38
		6月21日(日)		
専門科目：社会と産業	犯罪と犯罪行為者処遇の国際比較	6月6日(土)	土井政和	32
		6月7日(日)		
専門科目：人間と文化	倭国の成立と北部九州	4月18日(土)	宮本一夫	24
		4月19日(日)		
専門科目：人間と文化	日本語・日本文化の相対化	5月9日(土)	高山倫明	28
		5月10日(日)		
専門科目：人間と文化	平戸藩の史跡と史料	5月23日(土)	岩崎義則	30
		5月24日(日)		
専門科目：情報	デザイン思考	4月25日(土)	富松潔	26
		4月26日(日)		
専門科目：自然と環境	気象と気候	5月16日(土)	道端拓朗	29
		5月17日(日)		
専門科目：自然と環境	★金属材料と加工	6月20日(土)	津守不二夫	40
		6月21日(日)		

【北九州サテライトスペース開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
専門科目：生活と福祉	食品機能学	5月23日(土)	立花宏文	44
		5月24日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	5月9日(土)	菊池悌一郎	43
		5月10日(日)		
専門科目：心理と教育	傾聴の基礎を学ぶ	6月6日(土)	波田野茂幸	45
		6月7日(日)		
専門科目：人間と文化	アジア物産とヨーロッパの世界史	5月16日(土)	則松彰文	44
		5月17日(日)		
専門科目：情報	コンピュータの仕組み	4月18日(土)	南里豪志	43
		4月19日(日)		
専門科目：自然と環境	共生の生物学	6月13日(土)	二河成男	45
		6月14日(日)		

【佐賀学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	楽しい韓国語（入門編）	5月24日(日)	中尾友香梨	53
		5月31日(日)		
		6月7日(日)		
		6月14日(日)		
導入科目：人間と文化	身体表現入門	6月27日(土)	青柳達也	59
		6月28日(日)		
導入科目：情報	情報科学入門	5月30日(土)	堀良彰	53
		5月31日(日)		
専門科目：生活と福祉	佐賀の食べ物学	6月13日(土)	安田みどり	56
		6月14日(日)		
専門科目：生活と福祉	自閉スペクトラム症の理解と支援	6月20日(土)	松山郁夫	58
		6月21日(日)		
専門科目：心理と教育	心理カウンセリング基礎演習	4月18日(土)	中島正雄	47
		4月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月23日(土)	岡嶋一郎	52
		5月24日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	5月30日(土)	日高茂暢	54
		5月31日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月6日(土)	橋口晋	55
		6月7日(日)		
専門科目：人間と文化	佐賀の歴史と文化1	4月26日(日)	中尾友香梨	49
		5月10日(日)		
		5月17日(日)		
専門科目：人間と文化	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	5月9日(土)	鈴田由紀夫	50
		5月10日(日)		
専門科目：情報	Rで学ぶ多変量解析入門	5月16日(土)	浅井紀久夫	51
		5月17日(日)		
専門科目：自然と環境	身近な自然から考える生物多様性	4月25日(土)	徳田誠	48
		4月26日(日)		
総合科目	映像デザイン－映画からVRまで	6月13日(土)	中村隆敏	57
		6月14日(日)		

【長崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	5月30日(土)	藤村 誠	68
		5月31日(日)		
基盤科目：外国語	言語、文化、アイデンティティ	6月6日(土)	ダッツマン プライアン	69
		6月7日(日)		
導入科目：生活と福祉	高齢社会の問題について考える	6月6日(土)	吉田 浩二	70
		6月7日(日)		
導入科目：生活と福祉	メンタルヘルスの脳科学	7月4日(土)	糸川 昌成	73
		7月5日(日)		
導入科目：心理と教育	映像で学ぶ認知心理学入門	7月4日(土)	加来 秀俊	73
		7月5日(日)		
導入科目：人間と文化	クラシック音楽、アナザースカイ	5月16日(土)	堀内 伊吹	65
		5月17日(日)		
専門科目：生活と福祉	全身に影響する口腔と歯科治療	5月16日(土)	鵜飼 他2名	66
		5月17日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	5月9日(土)	橋口 晋	63
		5月10日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	5月23日(土)	細野 康文	67
		5月24日(日)		
専門科目：社会と産業	明治期における長崎経済	5月9日(土)	南森 茂太	64
		5月10日(日)		
専門科目：社会と産業	民法判例研究	6月27日(土)	池谷 和子	71
		6月28日(日)		
専門科目：人間と文化	くずし字で読む諏方社の歴史	4月25日(土)	吉良 史明	61
		4月26日(日)		
専門科目：情報	デジタルメディアと社会	4月25日(土)	青木 久美子	62
		4月26日(日)		
専門科目：自然と環境	無機材料の構造と機能	6月20日(土)	田邊 秀二	71
		6月21日(日)		
専門科目：自然と環境	微生物学の基礎知識	6月27日(土)	石井 良和	72
		6月28日(日)		

【熊本学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	ウェブページ作成の基礎	6月6日(土)	久保田 真一郎	84
		6月7日(日)		
基盤科目：外国語	現在のドイツ語圏を見る	4月25日(土)	小池 ウルスラ ヘレナ	76
		4月26日(日)		
専門科目：生活と福祉	がん療養における意思決定支援	6月6日(土)	樋口 有紀	85
		6月7日(日)		
専門科目：生活と福祉	こころとからだの薬	6月20日(土)	倉内 祐樹	87
		6月21日(日)		
専門科目：生活と福祉	★食育の現状について考える	6月27日(土)	友寄 博子	89
		7月4日(土)		
専門科目：生活と福祉	身体を診る～生命を護るために	7月2日(木)	山内 豊明	88
		7月3日(金)		
専門科目：心理と教育	やさしく学ぶ解決志向アプローチ	4月18日(土)	橋口 真人	75
		4月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月9日(土)	寺本 渉	77
		5月10日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月13日(土)	安村 明	86
		6月20日(土)		
専門科目：社会と産業	水の社会学	5月9日(土)	牧野 厚史	78
		5月10日(日)		
専門科目：社会と産業	契約からみる民法	5月16日(土)	濱田 絵美	79
		5月17日(日)		
専門科目：人間と文化	社会課題解決学入門	5月23日(土)	水元 豊文	81
		5月24日(日)		
専門科目：人間と文化	「マンガ学」入門	5月30日(土)	鈴木 寛之 他3名	83
		5月31日(日)		
専門科目：人間と文化	はじめての哲学的思考	6月13日(土)	苫野 一徳	87
		6月27日(土)		
専門科目：自然と環境	極限環境と水棲生物	4月18日(土)	嶋 永元裕	76
		4月19日(日)		
専門科目：自然と環境	数学と文化	5月17日(日)	宮崎 誓	80
		5月31日(日)		
専門科目：自然と環境	分子生物学実験：DNAの解析2	5月23日(土)	谷 時雄	82
		5月24日(日)		

【大分学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	やさしい物語で学ぶ英語の基礎	5月30日(土)	三重野 佳子	99
		5月31日(日)		
導入科目：社会と産業	大分の防災と減災	4月18日(土)	鶴成 悦久	91
		4月19日(日)		
導入科目：社会と産業	インバウンドと地方観光の可能性	5月23日(土)	鈴木 晶	97
		5月24日(日)		
導入科目：人間と文化	大分方言の追究	4月25日(土)	松田 美香	93
		4月26日(日)		
導入科目：人間と文化	読み聞かせのための音声表現法	4月25日(土)	花坂 歩	94
		4月26日(日)		
導入科目：情報	生成AIの活用	5月23日(土)	鈴木 雄清	98
		5月24日(日)		
導入科目：自然と環境	はじめて学ぶ香りの科学	5月16日(土)	坂本 幸司 他1名	95
		5月17日(日)		
導入科目：自然と環境	地域に学ぶ生物多様性	6月20日(土)	永野 昌博	103
		6月21日(日)		
専門科目：生活と福祉	東洋医学・鍼灸と食養生	5月16日(土)	杉 若晃 紀 他1名	96
		5月17日(日)		
専門科目：生活と福祉	記憶と脳	5月30日(土)	櫻井 芳雄	100
		5月31日(日)		
専門科目：生活と福祉	食中毒と食品衛生	6月13日(土)	牧 昌生	101
		6月14日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	4月18日(土)	矢島 潤平	92
		4月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月13日(土)	麻生 良太	102
		6月14日(日)		

【宮崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	論理的な読み書きの技法	4月18日(土)	柏葉武秀	105
		4月19日(日)		
基盤科目	演習・問題解決の進め方	5月16日(土)	秋光淳生	108
		5月17日(日)		
基盤科目：保健体育	健康志向の運動実践2	6月6日(土)	吉永砂織 他1名	109
		6月7日(日)		
導入科目：生活と福祉	認知症のことをもっと知ろう	7月11日(土)	稲田弘子	115
		7月12日(日)		
導入科目：自然と環境	数学の言葉	4月18日(土)	隈部正博	105
		4月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	6月20日(土)	内藤健一	112
		6月21日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	7月4日(土)	小澤拓大	114
		7月5日(日)		
専門科目：社会と産業	都市を社会的にとらえる	4月25日(土)	北川由紀彦	106
		4月26日(日)		
専門科目：人間と文化	日本語の文のしくみ	5月9日(土)	田中利砂子	107
		5月10日(日)		
専門科目：人間と文化	博物館で宮崎の文化芸術を学ぶ	6月6日(土)	石川千佳子 他7名	110
		6月7日(日)		
専門科目：自然と環境	身の回りのあっと驚く化学体験5	6月13日(土)	菅本和寛	111
		6月14日(日)		
専門科目：自然と環境	海洋生物学実習2	6月27日(土)	内田勝久	113
		6月28日(日)		

【鹿児島学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	4月25日(土)	岡村浩昭	118
		4月26日(日)		
基盤科目：外国語	英語で世界を旅する	6月6日(土)	Watson Matthew	124
		6月7日(日)		
導入科目：生活と福祉	★動物医学と人の関わり	5月13日(水)	三浦直樹	135
		5月14日(木)		
		5月20日(水)		
		5月21日(木)		
導入科目：生活と福祉	生活習慣改善のための行動療法	7月11日(土)	西尾育子	131
		7月12日(日)		
導入科目：社会と産業	世界の作物栽培と温暖化・沙漠化	5月23日(土)	志水勝好	132
		5月24日(日)		
導入科目：社会と産業	日本の農業政策	6月13日(土)	北崎浩嗣	126
		6月14日(日)		
導入科目：人間と文化	★薩摩焼の考古学	5月10日(日)	渡辺芳郎	134
		5月17日(日)		
導入科目：人間と文化	絵の見方・描き方	7月4日(土)	桶田洋明	130
		7月5日(日)		
導入科目：情報	情報ネットワーク論	5月9日(土)	市川英孝	120
		5月10日(日)		
導入科目：自然と環境	暮らしのお天気学	5月16日(土)	亀田晃一	121
		5月17日(日)		
導入科目：自然と環境	鹿児島湾洋上実習	5月30日(土)	幅野明正 他4名	123
		5月31日(日)		
導入科目：自然と環境	娯楽の数学	6月27日(土)	青山究	129
		6月28日(日)		
専門科目：生活と福祉	社会保障のしくみと法	5月30日(土)	伊藤周平	124
		5月31日(日)		
専門科目：生活と福祉	社会保障のしくみと法	5月30日(土)	伊藤周平	133
		5月31日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	4月18日(土)	大藪博記	117
		4月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	4月25日(土)	平田祐太郎	119
		4月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学研究法の基礎	5月23日(土)	神藪紀幸	122
		5月24日(日)		
専門科目：人間と文化	源氏物語の正編（須磨・明石巻）	6月6日(土)	武藤那賀子	125
		6月7日(日)		
専門科目：人間と文化	万博を通して時代を読む	6月13日(土)	細川道久	127
		6月14日(日)		
専門科目：人間と文化	東アジア地方史誌入門－朝鮮越南	6月20日(土)	小二田章	128
		6月21日(日)		

【沖縄学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	日本語の文章表現	4月18日(土)	高橋美奈子	137
		4月19日(日)		
基盤科目	暮らしに役立つ楽しい数学	5月30日(土)	日熊隆則	144
		5月31日(日)		
導入科目：生活と福祉	大人の食育を考える	6月20日(土)	井口直子	151
		6月21日(日)		
導入科目：心理と教育	荒れる子どものナゾを解く	5月30日(土)	丹野清彦	145
		5月31日(日)		
導入科目：心理と教育	子どもから大人への精神保健学	6月6日(土)	知名孝	147
		6月7日(日)		
導入科目：社会と産業	行動経済学	4月25日(土)	堀勝彦	139
		4月26日(日)		
導入科目：社会と産業	初歩からの知的財産	5月23日(土)	大久保秀人	142
		5月24日(日)		
導入科目：人間と文化	沖縄の結縄と植物利用	6月13日(土)	佐々木健志	149
		6月14日(日)		
導入科目：人間と文化	食と農の地理学	6月27日(土)	小川護	153
		6月28日(日)		
専門科目：生活と福祉	老年学への招待	5月16日(土)	下地敏洋	140
		5月17日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月16日(土)	井村弘子	141
		5月17日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	5月30日(土)	山田恭子	146
		5月31日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	6月13日(土)	田中寛二	150
		6月14日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	6月20日(土)	古川卓	152
		6月21日(日)		
専門科目：人間と文化	古文書の語る琉球史	5月16日(土)	豊見山和行	142
		5月17日(日)		
専門科目：人間と文化	沖縄の民俗—信仰とくらし—	5月23日(土)	稲福政斉	143
		5月24日(日)		
専門科目：情報	「からだ」の情報を取り出す技術	4月18日(土)	國田樹	138
		4月19日(日)		
専門科目：情報	★ロジカル・シンキング入門	5月29日(金)	宮田龍太	155
		6月5日(金)		
		6月12日(金)		
		6月19日(金)		
専門科目：自然と環境	★やんばるの森と屋久島の森	5月15日(金)	高嶋敦史	154
		5月22日(金)		
		5月29日(金)		
		6月5日(金)		
専門科目：自然と環境	琉球列島の生物多様性と保全	6月6日(土)	小林峻	148
		6月7日(日)		
専門科目：自然と環境	沖縄の病害動物	6月27日(土)	當眞弘	153
		6月28日(日)		

科目区分別面接授業開設科目一覧 (★はライブweb授業)

【基盤科目】

科目名	学習センター	掲載ページ
新・初歩からのパソコン	長崎	68
ウェブページ作成の基礎	熊本	84
論理的な読み書きの技法	宮崎	105
演習・問題解決の進め方	宮崎	108
新・初歩からのパソコン	鹿児島	118
日本語の文章表現	沖縄	137
暮らしに役立つ楽しい数学	沖縄	144

【基盤科目：外国語】

科目名	学習センター	掲載ページ
原書と映画で学ぶ英語その6	福岡	23
楽しい韓国語（入門編）	佐賀	53
言語、文化、アイデンティティ	長崎	69
現在のドイツ語圏を見る	熊本	76
やさしい物語で学ぶ英語の基礎	大分	99
英語で世界を旅する	鹿児島	124

【基盤科目：保健体育】

科目名	学習センター	掲載ページ
健康志向の運動実践2	宮崎	109

【導入科目：生活と福祉】

科目名	学習センター	掲載ページ
高齢社会の問題について考える	長崎	70
メンタルヘルスの脳科学	長崎	73
認知症のことをもっと知ろう	宮崎	115
★動物医学と人の関わり	鹿児島	135
生活習慣改善のための行動療法	鹿児島	131
大人の食育を考える	沖縄	151

【導入科目：心理と教育】

科目名	学習センター	掲載ページ
映像で学ぶ認知心理学入門	長崎	73
荒れる子どものナゾを解く	沖縄	145
子どもから大人への精神保健学	沖縄	147

【導入科目：社会と産業】

科目名	学習センター	掲載ページ
大分の防災と減災	大分	91
インバウンドと地方観光の可能性	大分	97
世界の作物栽培と温暖化・沙漠化	鹿児島	132
日本の農業政策	鹿児島	126
行動経済学	沖縄	139
初歩からの知的財産	沖縄	142

【導入科目：人間と文化】

科目名	学習センター	掲載ページ
中国古典を読むために	福岡	34
身体表現入門	佐賀	59
クラシック音楽、アナザースカイ	長崎	65
大分方言の追究	大分	93
読み聞かせのための音声表現法	大分	94
★薩摩焼の考古学	鹿児島	134
絵の見方・描き方	鹿児島	130
沖縄の結縄と植物利用	沖縄	149
食と農の地理学	沖縄	153

【導入科目：情報】

科目名	学習センター	掲載ページ
サイバーセキュリティ基礎論	福岡	37
情報科学入門	佐賀	53
生成AIの活用	大分	98
情報ネットワーク論	鹿児島	120

【導入科目：自然と環境】

科目名	学習センター	掲載ページ
金属イオンと生命の科学	福岡	27
水産海洋学入門	福岡	29
はじめて学ぶ香りの科学	大分	95
地域に学ぶ生物多様性	大分	103
数学の言葉	宮崎	105
くらしのお天気学	鹿児島	121
鹿児島湾洋上実習	鹿児島	123
娯楽の数学	鹿児島	129

【専門科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
感染症と免疫	福岡	24
人間工学	福岡	31
生き方としての健康科学	福岡	33
食品機能学	北九州	44
佐賀の食べ物学	佐賀	56
自閉スペクトラム症の理解と支援	佐賀	58
全身に影響する口腔と歯科治療	長崎	66
がん療養における意思決定支援	熊本	85
こころとからだの薬	熊本	87
★食育の現状について考える	熊本	89
身体を診る～生命を守るために	熊本	88
東洋医学・鍼灸と食養生	大分	96
記憶と脳	大分	100
食中毒と食品衛生	大分	101
社会保障のしくみと法	鹿児島	124
社会保障のしくみと法	鹿児島	133
老年学への招待	沖縄	140

【専門科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
心理検査法基礎実習	福岡	25
心理学実験 2	福岡	28
臨床心理学実習	福岡	30
★心理学実験（基礎）	福岡	39
災害時の心理支援	福岡	32
心理学実験 1	福岡	35
心理学実験 3	福岡	36
デジタル化社会における大学教育	福岡	38
心理検査法基礎実習	北九州	43
傾聴の基礎を学ぶ	北九州	45
心理カウンセリング基礎演習	佐賀	47
心理学実験 1	佐賀	52
心理学実験 2	佐賀	54
心理学実験 3	佐賀	55
心理学実験 3	長崎	63
心理検査法基礎実習	長崎	67
やさしく学ぶ解決志向アプローチ	熊本	75
心理学実験 1	熊本	77
心理学実験 3	熊本	86
心理学実験 1	大分	92
心理学実験 3	大分	102
心理学実験 1	宮崎	112
心理学実験 2	宮崎	114
心理学実験 1	鹿児島	117
心理検査法基礎実習	鹿児島	119
心理学研究法の基礎	鹿児島	122
心理学実験 1	沖縄	141
心理学実験 3	沖縄	146
心理検査法基礎実習	沖縄	150
心理学実験 2	沖縄	152

【専門科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
犯罪と犯罪行為者処遇の国際比較	福岡	32
明治期における長崎経済	長崎	64
民法判例研究	長崎	71
水の社会学	熊本	78
契約からみる民法	熊本	79
都市を社会的にとらえる	宮崎	106

【専門科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
デザイン思考	福岡	26
コンピュータの仕組み	北九州	43
Rで学ぶ多変量解析入門	佐賀	51
デジタルメディアと社会	長崎	62
「からだ」の情報を取り出す技術	沖縄	138
★ロジカル・シンキング入門	沖縄	155

【専門科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
倭国の成立と北部九州	福岡	24
日本語・日本文化の相対化	福岡	28
平戸藩の史跡と史料	福岡	30
アジア物産とヨーロッパの世界史	北九州	44
佐賀の歴史と文化1	佐賀	49
ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	佐賀	50
くずし字で読む諏方社の歴史	長崎	61
社会課題解決学入門	熊本	81
「マンガ学」入門	熊本	83
はじめての哲学的思考	熊本	87
日本語の文のしくみ	宮崎	107
博物館で宮崎の文化芸術を学ぶ	宮崎	110
源氏物語の正編（須磨・明石巻）	鹿児島	125
万博を通して時代を読む	鹿児島	127
東アジア地方史誌入門－朝鮮越南	鹿児島	128
古文書の語る琉球史	沖縄	142
沖縄の民俗－信仰とくらし－	沖縄	143

【専門科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
気象と気候	福岡	29
★金属材料と加工	福岡	40
共生の生物学	北九州	45
身近な自然から考える生物多様性	佐賀	48
無機材料の構造と機能	長崎	71
微生物学の基礎知識	長崎	72
極限環境と水棲生物	熊本	76
数学と文化	熊本	80
分子生物学実験：DNAの解析2	熊本	82
身の回りのあっと驚く化学体験5	宮崎	111
海洋生物学実習2	宮崎	113
★やんばるの森と屋久島の森	沖縄	154
琉球列島の生物多様性と保全	沖縄	148
沖縄の病害動物	沖縄	153

【総合科目】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
映像デザイン－映画からVRまで	佐賀	57

Ⅲ. 案内図・授業概要

福岡学習センター

(コード：40A)

福岡学習センター案内図

☎092-585-3033



【所在地】〒816-0811 春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)

【交通アクセス】

(1) JR大野城駅西口から徒歩7分 (JR博多駅から快速9分・普通20分)

(2) 西鉄白木原駅から徒歩20分

※土日は九州大学筑紫キャンパス内の駐車場を空きがあれば利用できます。(入口は「春日公園3丁目交差点」1カ所です)

※大野城門からは徒歩のみ通行可。

【その他連絡事項】

(教科書について)

・各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。福岡学習センターでは販売していません。

(出欠について)

・教室内に準備している「出欠確認表」に各自署名してください。「出欠確認表」は時限毎に準備していますので1日4枚(2日間で8枚)となります。署名忘れは欠席扱いとなりますので忘れず署名してください。

(昼食について)

・平日・土曜日については、九州大学筑紫キャンパス内の学食をご利用いただけます。

(利用時間：火～金10:30～15:00・17:00～20:00、土 10:30～14:00 ※日曜日は休み ※変更が生じる場合があります。)

・福岡学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

(宿泊施設について)

・JR大野城駅周辺には、宿泊施設はありません。JR博多駅周辺の宿泊施設をご利用ください。福岡市内のホテルは、コンサート等のイベント開催により、予約を取ることが難しくなる場合がありますので、早めの予約をお勧めします。(南福岡、二日市、鳥栖、久留米エリア等の宿泊施設もご確認ください)

科目コード	2687739	【授業内容】 1964年に出版された現代英文学の名手Roald Dahlのロングセラー「Charlie and the Chocolate Factory」(邦題「チョコレート工場の秘密」)の最初の15章の概要をつかみ、第16章から第18章までの英文を丁寧に読んでいきます。映画化された作品をDVDで適宜鑑賞し英国人俳優が朗読するCDを聞きながらリスニング力もつけていきます。原作と映画鑑賞に必要な語彙や知識や文化的背景にも触れながら、DVDを使った効果的な英語学習にも言及していきます。 【到達目標】 ・英語で書かれた小説(本科目ではCharlie and the Chocolate Factory)の原書を読んで概要がつかめる。 ・重要な語句や表現を含む英文を日本語に訳せる。 ・同じ語彙で複数の意味がある場合(多義語)、文脈に応じて正確な意味が理解できる。 【授業テーマ】 第1回 Introduction: Summary of Chapters 1-15 第2回 Chapter 16. The Oompa-Loompas (1) 第3回 Chapter 16. The Oompa-Loompas (2) 第4回 Chapter 17. Augustus Gloop Goes up the Pipe (1) 第5回 Chapter 17. Augustus Gloop Goes up the Pipe (2) 第6回 Chapter 18. Down the Chocolate River (1) 第7回 Chapter 18. Down the Chocolate River (2) 第8回 Review (まとめ) 【学生へのメッセージ】 児童文学と侮るなかれ。Charlie and the Chocolate Factoryは高校までの英語の復習に最適、英文法のやり直しに最適、口語表現の宝庫、言葉遊びの宝庫、そして何よりおもしろい。 【受講前の準備学習等】 教科書(英文)第15章まで目を通し、入手可能なら参考書の翻訳版を通読しておいてください。また可能なら映画作品のDVDも見ておいてください(授業中に一部見ます)。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	原書と映画で学ぶ 英語その6	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	35名	
担当講師	シミズ トシヒロ 志水 俊 広 九州大学大学院 言語文化研究院准教授	
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年4月19日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I	
授業概要	【受講者が当日用意するもの】 教科書(①講談社英語文庫『チョコレート工場の秘密 - Charlie and the Chocolate Factory』または②洋書Puffin Booksの“Charlie and the Chocolate Factory”)英和辞典(電子辞書でも可) 【教科書】 ・①チョコレート工場の秘密 - Charlie and the Chocolate Factory (講談社英語文庫)(Roald Dahl/講談社インターナショナル/¥880/ISBN=9784770028402) 2005年初版で2025時点では絶版です。店頭にはない場合はネット通販等での古書の入手となります。時間がかかるかもしれないので早めの注文や入手をしておいてください。教科書②として次に掲げる原書であるPuffin Books (Penguin Booksの児童書出版部門)版のペーパーバック“Charlie and the Chocolate Factory”でもかまいません。ただし、講談社英語文庫には巻末に日本語の注がありますが、原書には日本語の注はありません。 ・②Charlie and the Chocolate Factory (Roald Dahl/Puffin Books/1,400円程度/ISBN=9780142410318) 上記教科書①の『チョコレート工場の秘密 - Charlie and the Chocolate Factory (講談社英語文庫)』が入手困難な場合は教科書②の“Charlie and the Chocolate Factory” (Puffin Books) を入手しておいてください。なお、いくつかの版があり価格も一つではありません。洋書であるため価格は為替レートによって変動する可能性があり、注文や入手に時間がかかる場合があります。 【参考書】 ・チョコレート工場の秘密 (ロアルド・ダール (柳瀬尚紀 [訳]) / 評論社 / ¥1,320 / ISBN=9784566014114) 柳瀬訳は2005年出版ですが、1972年に詩人の田村隆一が訳したものが同じ評論社から出版されていて(絶版なので図書館かネット通販等で入手を)、読み比べてみるのもおもしろいですよ。 ・チャーリーとチョコレート工場 (DVD・1枚組) (ティム・バートン監督/ワーナー・ホーム・ビデオ/¥1,572) (JAN) 4988135812209もとの映画作品は2005年制作 ・夢のチョコレート工場 (DVD) (メル・スチュアート監督/ワーナー・ホーム・ビデオ/¥1,572) (JAN) 4548967030105もとの映画作品は1971年制作 ・ウォンカとチョコレート工場のはじまり [Wonka] (ブルーレイ/DVD) (ポール・キング監督/ワーナーブラザーズ/¥5,280) (JAN) 4548967476408もとの映画作品は2023年制作 チョコレート工場の工場主ウィリー・ウォンカの若き日の冒険を描くミュージカルファンタジー映画、ロアルド・ダール原作ではなく(彼の遺族の許可を得たそうだが)映画制作にあたってのオリジナルストーリー ・Charlie and the Chocolate Factory (Puffin Audiobooks) (Written by Roald Dahl / Read by Eric Idle/Penguin Books/ISBN=9780141805603) 定価はUS\$29.95。 【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 過去に「原書と映画で学ぶ英語」を受講した方も、今回初めてという方も大歓迎です。2019年度~2024年度に開講した「原書と映画で学ぶ英語」と同じ教科書を使用しますが、その続編という位置づけです(内容が一部重複します)。2026年度の授業では最初の15章はDVDを見ながらあらすじをざっとたどり、第16章から詳しく読んでいきます。	

科目コード	2687844	【授業内容】 水稲農耕社会の弥生時代は、地域ごとに生まれた共同体から次第に「クニ」が生まれ、ヤマトを中心に古墳時代を通じて国々が統合し、倭国が成立していきます。その過程における北部九州は、対外交流の窓口として大きな役割を果たしてきました。漢王朝と奴国の関係から、公孫氏や魏と邪馬台国の卑弥呼、さらにはヤマトと金官加耶の関係を経て、ヤマトと朝鮮三国、さらには中国南朝から隋唐との関係の中で倭国が生まれて行きます。 【到達目標】 考古資料を使いながら、大陸の諸地域との歴史的関係を踏まえて、倭国の成立の歴史を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 弥生時代の始まりと青銅器文化 第2回 弥生時代の鉄器の流入と鉄器生産 第3回 楽浪郡と弥生時代の交易 第4回 倭国王帥升はどこか？ 第5回 邪馬台国の卑弥呼と古墳時代の始まり 第6回 金官加耶と沖の島 第7回 馬韓と筑紫 第8回 磐井の乱と屯倉 【学生へのメッセージ】 北部九州のみなさんには身近な存在である弥生時代や古墳時代の遺跡、あるいはそれらの遺跡から出土した遺物から、東アジアの視点を踏まえつつ最新の研究成果を用いて、弥生時代や古墳時代の歴史を考えていきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 弥生時代や古墳時代に関する概説書に眼を通しておくと、内容が理解しやすいと思います。 また、できれば北部九州の弥生時代や古墳時代の遺跡に足を運んでいただき、また九州国立博物館、福岡市博物館などの展示・解説施設をも訪ねていただければと思います。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 必要な資料は授業の数日前にキャンパスメール宛配信します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・金印と倭国の成立（宮本一夫／福岡市／） 2026年3月出版予定
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	倭国の成立と北部九州	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ミヤモト カズオ 宮本 一夫 九州大学名誉教授	
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年4月19日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ	

科目コード	2687780	【授業内容】 新型コロナウイルスは2019年末より世界で猛威を振るい、私たちの生活に大きな影響を与えました。百歳を超えて生きることが稀有ではなくなった現代において、いかに健康に生きるかを考えると、感染症やそれに対抗する感染防止対策や、自分のからだの免疫機構は大変重要です。感染症の原因となる病原微生物、感染症の症状、治療、対処方法、予防方法を学び、生命体の重要な防御機能（免疫を含む）の理解をしましょう。本授業では、病原微生物に根拠をもって賢く対処する能力の基礎を形成します。 【到達目標】 ・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の予防方法や感染時の対処方法を述べることができる。 ・主要な食中毒について予防方法や拡散防止方法、感染時の対処方法を述べる ・流行している感染症について、自発的に調べるようになる。 ・エビデンスに基づいた感染予防行動がとれるようになる。 【授業テーマ】 第1回 病原微生物の基礎知識～細菌とウイルスの違い～ 第2回 新型コロナウイルス感染症の原因ウイルス～感染するという～ 第3回 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの予防と対処 第4回 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザと私たちの戦いの歴史 第5回 食中毒など身近な感染症 第6回 私たちの免疫機構 第7回 予防接種、抗菌薬や抗ウイルス薬 第8回 消毒薬とその効果 【学生へのメッセージ】 感染や細菌やウイルスに関する疑問を持って授業に臨んでいただくと、学習効果が上がると思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・系統看護学講座（専門基礎分野）疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学 第14版（吉田 真一／医学書院／¥2,530／ISBN=9784260047029）
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	感染症と免疫	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	アラカワ ミツエ 荒川 満枝 福岡看護大学 看護学部教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年4月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ	

科目コード	2679264	授 業 概 要	【授業内容】 医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。 原則として8回の授業すべてに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（倫理、意義、種類）／ 実習1：心理測定尺度集より「自意識尺度」 第2回 演習：発達検査①（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第3回 演習：発達検査②（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第4回 実習2：性格検査①（質問紙法、TEG3） 第5回 実習2：性格検査②（質問紙法、TEG3） 第6回 実習3：知能検査①（グッドイナフ人物画知能検査） 第7回 実習3：知能検査②（グッドイナフ人物画知能検査） 第8回 まとめ（テストバッテリー、インフォームドコンセント、倫理）
科目名	心理検査法基礎実習		【学生へのメッセージ】 課題の中には、心理検査を実際に受検し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	24名		【受講者が当日用意するもの】 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ、のり
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学 人間科学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年4月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ		

科目コード	2687879	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 デザイン思考（Design Thinking）とは、デザイナーのスキル（人間中心デザインに基いた製品開発手法）を、より幅広い問題に適用して、イノベーションを起こすために、経営者やエンジニアなど非デザイナーを対象として用いる発想法です。 デザイナーの発想法を「未知の課題を解決するデザイン」に用いることが目的です。見た目のスタイリングや色合いを整えるようなデザインを学ぶのではなく、イノベーションに用いるために、デザイナーの感性的な発想法を学びます。 【到達目標】 課題を発見して解決する方法を学ぶ。 社会課題を解決するための発想法を学ぶ。 共創による事業のイノベーションの方法を学ぶ。 課題解決案をプレゼンテーションできるようになる。 グループワークのファシリテーションができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、イノベーションについて／アイスブレイク 第2回 ビジョンドリブン、なぜデザイン思考か？／ワークショップ 第3回 発想法、ブレインストーミング法、メソッド解説 第4回 ブレインストーミング、ワークショップ 第5回 課題を発見し解決するデザイン思考 第6回 メソッド解説、ユーザ観察法、ペルソナ法、ロールプレイ法、アイデア展開法、デザインスケッチ 第7回 アイデアの収束とシナリオの作成／ワークショップ 第8回 プレゼンテーション 【学生へのメッセージ】 授業はワークショップ形式にします。 少人数で複数グループを作ってグループでのアイデア発想法や共創について、身近な課題を取り上げて実習します。 【受講前の準備学習等】 授業では、ノートパソコンとスマートフォンを使います。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 放送大学のキャンパスメールアカウントにログインしてMiroを使いますので、キャンパスメールのアカウントとパスワードの確認をしておいてください。 事前にMiroにログインして試しておいてください（授業前に受講者のキャンパスメール宛連絡します）。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末：ノートパソコン・スマートフォン 種類は問いません。 2. OS の指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール Miroが必要です（授業前にキャンパスメール宛連絡します）。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	デザイン思考	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	トミマツ キヨシ 富松 潔 九州大学名誉教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年4月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター PC実習室	

科目コード	2687763	授 業 概 要	【授業内容】 私たちの身体や自然界には、さまざまな金属イオンが存在し、生命活動を陰で支えています。鉄は酸素の運搬に、マグネシウムは光合成に、コバルトはビタミンB12に関与し、白金やガドリニウムは医療現場で薬や診断ツールとして活躍しています。また、花の色には金属イオンが関係しているものもあります。本講義では、このような「金属イオンの働き」を、身近な例や現代の応用を交えて紹介します。いのちのしくみを探る「教養としての化学」を学びます。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 生命活動に欠かせない金属イオンの役割を理解し、化学と医療・環境・産業の関係を多面的に捉える視点を養うことができるようになる。理科が専門でない受講生にも、身近な題材を通じて「教養としての化学」を実感できるようにする。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 いのちと金属イオン：身近にある“見えない存在” 第2回 周期表から見る生命の選択：なぜこの元素なのか？ 第3回 血液の色と金属イオン：赤い血・青い血・緑の血 第4回 植物の色と金属イオン：紫陽花が青くなる理由 第5回 栄養と金属イオン：ビタミンB12とコバルトイオンの役割 第6回 金属イオンの薬と毒：医療・診断への大きな寄与 第7回 人工酵素と未来技術：自然を模倣する分子デザイン 第8回 まとめ：金属イオンから広がる教養科学
科目名	金属イオンと 生命の科学		【学生へのメッセージ】 私たちの体や自然界には、金属イオンが驚くほど多く関わっています。酸素の運搬、栄養、花の色、薬の作用など、生命と金属イオンのつながりを科学的に探究し、身近な世界の見え方が変わる体験をしてみましょう。理解度を測るため、毎時間毎に15分程度の簡単なレポートや質問を書いてもらいます。
科目区分	導入科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。たとえば、シラバスに記載されている語句などについて、書籍やインターネット等で調べておくことで学習に深みが増すと思います。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
担当講師	ヒサエダ ヨシオ 久枝 良雄 放送大学 福岡学習センター所長		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月10日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【参考書】 ・生命にとって金属とはなにか：誕生と進化のカギをにぎる「微量元素」の正体（桜井 弘／講談社ブルーバックス／¥1,320／ISBN=9784065385548）
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		【その他（特記事項）】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 毎時間の質問や簡単なレポート作成時にご自身のパソコンやタブレット等を持参してインターネット検索をしても構いません。無線LANへのアクセスが必要な場合は、各自手続きをしておいてください（電源設備はありません）。手続きについてはシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。

科目コード	2687852	授 業 概 要	【授業内容】 本居宜長は日本語の音声を、晴天を仰ぎ見るように純粹・正雅と称賛する一方で、外国語音声を、曇天の夕暮れ時のように朦朧と濁っていると貶めています。自分自身を素直に見つめ直すのは存外に難しいもので、母語やその文化に関する観察も決して例外ではありません。観察対象を絶対化せず、いったん距離を置いて、他者との関係性の中で客観的に捉え直す、相対化の視点が重要です。ここでは、日本語史・方言史研究の立場から、言語と文化の接点を考察し、方言ステレオタイプや中央語と方言の関係性を、みなさんとともに捉え直してみたいと思います。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 母語やその文化を適切に理解し、客観的・公平に説明できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 普遍か特殊か—価値の置き所— 第2回 言語の相対化—フォネティックとフォニーミッカー (1) 第3回 言語の相対化—フォネティックとフォニーミッカー (2) 第4回 言語の相対化—フォネティックとフォニーミッカー (3) 第5回 文化の相対化—エティックとイーミッカー 第6回 中央語と方言—「中央語」とはなにか— 第7回 中央語と方言—「方言」とはなにか— 第8回 中央語と方言—方言ステレオタイプの問題点—
科目名	日本語・日本文化の 相対化		【学生へのメッセージ】 ふだん何気なく使っている自分自身の言葉をできるだけ客観的に観察し、相対化してみましょう。固定観念から離れるためのちょっとした工夫が必要ですが、あらたな発見の喜びがあるはずですよ。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 ご自身の出身地や現在お住まいの地域の方言について、その特徴や一般的な評価などを調べておいてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	タカヤマ ミチアキ 高山 倫明 九州大学名誉教授		
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月10日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ		

科目コード	2679221	授 業 概 要	【授業内容】 心理学における実証的研究法について学ぶため、基本的な心理学実験を3つ実施します。受講者の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの整理と分析、レポート作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3実験すべてのレポート提出が必要となります。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理学研究法ならびにレポートの書き方の概説 第2回 実験1：パーソナルスペース 第3回 実験1：結果の整理とまとめ 第4回 実験2：印象形成(中心特性の働き) 第5回 実験2：結果の整理とまとめ 第6回 実験3：要求水準 第7回 実験3：結果の整理とまとめ 第8回 全体のまとめ
科目名	心理学実験2		【学生へのメッセージ】 私たちの心の動きを心理学ではどのように理解し、測定しようとしているのでしょうか。実験を通して、心理学の世界に触れてみましょう。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。
定員	40名		事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。
担当講師	サイトウ フユキ 斎藤 富由起 福岡女学院大学 人間関係学部教授		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月17日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		【受講者が当日用意するもの】 電卓
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2687887	授 業 概 要
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	気象と気候	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ミチバタ タクロウ 道端 拓朗 九州大学 応用力学研究所准教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月17日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ	
【授業内容】 気象現象や気候変動は、私たちの生活に身近であると同時に、多くの物理法則に基づいて成り立っています。例えば「なぜ風は吹くのか?」「地球の水はどのように循環しているのか?」といった問いは、基本的な物理法則で説明することができます。本授業では、気象や気候に関する様々な「なぜ」を物理的な視点から理解するとともに、私たちの食文化や生活への繋がりについても学びます。また、地球の“いま”を把握するための観測技術や、地球の“これから”を予測するためのシミュレーション技術など、最新の研究についても理解を深めます。		
【到達目標】 気象と気候の違いを説明できるようになる。日本の四季に特有の気象現象を、天気図の基本的な見方とともに理解する。雲がもたらす気候影響や地球温暖化現象について、物理法則を用いて理解し、その季節性や地域性について説明できるようになる。		
【授業テーマ】 第1回 食文化から学ぶ気象と気候 第2回 地球を取りまく熱と風 第3回 地球を取りまく水循環 第4回 日本の四季と天気図、世界の気候の不思議 第5回 エアロゾル・雲・降水の気候影響 第6回 人工衛星による気象観測・気候変動観測とその歴史 第7回 数値シミュレーションモデルによる気候変動予測と課題 第8回 最新の環境研究・気候変動研究、まとめと振り返り		
【学生へのメッセージ】 物理法則を理解するために数学の知識を用いる場合がありますが、苦手な方や事前知識がない方でも理解できるように説明を進めます。身近な現象である気象や気候に関する様々な疑問について一緒に考えてみましょう。		
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、身近な気象現象や気候変動問題について情報収集しておいてください。授業後は、学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 電卓（できれば関数電卓。スマートフォンに無料でインストール可能な関数電卓アプリで構いません。お持ちでなければ通常の電卓でも構いません。）		
【教科書】 教科書は使用しません。		

科目コード	2687771	授 業 概 要
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	水産海洋学入門	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	モチオカ ノリタカ 望岡 典隆 九州大学特任教授	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月24日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅲ	
【授業内容】 地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、環境ホルモンなど、人間活動に起因する地球規模の環境破壊が進んでいます。海は地球表面の約70%をおおっており、環境変化にはたす役割は大きいと想像されます。私たちの重要な食資源である天然の水産資源もその変化の影響を受けています。本講義では外洋から沿岸域にいたる海洋の構造と循環について理解した上で、ウナギ、イワシなど身近な水産資源の生活史、回遊生態、資源変動を解説し、これらの持続的利用をめざした資源管理について考えます。		
【到達目標】 海洋の層構造と循環について理解し、説明することができる。 沿岸生態系の海洋学的特徴を理解し、人間活動が与える影響について説明することができる。また、ウナギ、イワシなど身近な水産資源の生活史と資源状態について理解し、保護策や資源管理策について自らの意見を持つことができる。		
【授業テーマ】 第1回 海洋の成立と地球環境安定化機構 第2回 将来予測に向けた過去の海の復元 第3回 気候と海洋—海洋の層構造と循環 第4回 海洋生態系と地球環境変動の相互作用-1 エルニーニョ現象 第5回 ウナギの産卵と大回遊 第6回 海洋生態系と地球環境変動の相互作用-2 黒潮とマイワシの資源変動 第7回 沿岸海域の有機物生産の特徴と沿岸生態系の海洋学的特徴 第8回 人間活動の影響と沿岸海域の応答		
【学生へのメッセージ】 地球の表面積の約7割を占め、多様な生命を包み込み、地球環境を安定にする役割を果たしている「海」について解説します。地球規模の環境変動と人間活動による環境の攪乱について言及し、地球環境問題を考察します。		
【受講前の準備学習等】 講義で扱う水産資源に関する情報や海域の環境問題については新聞やWeb等で容易に得ることができます。シラバスから判断して、関連する内容の自己学習に努めてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。		

科目コード	2679701	授 業 概 要	【授業内容】 臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 実習を通して学ぶことで、自己理解・他者理解・相互理解につなげていき、臨床心理学の基礎を理解できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答
科目名	臨床心理学実習		【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 12~24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。
担当講師	サトウ ヒトミ 佐藤 仁美 放送大学准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月24日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2687860	授 業 概 要	【授業内容】 今回の授業では、平戸藩の史跡として「平戸八景」(国指定特別名勝「平戸領地方八奇勝」と「小麦様」(文禄・慶長の役に際し、朝鮮半島から来日した女性)の墓所(平戸市根獅子)を主に取り上げます。この2つの史跡について、平戸松浦家や平戸藩領に伝来した史資料をもとに、史跡の成立や伝来の意義を考察します。また、現代社会における史跡の利用・活用についても考えてみます。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 ・平戸藩の歴史の特徴を理解し、その概要を説明できるようになる。 ・国指定特別名勝「平戸領地方八奇勝」の構成と内容を理解し、現代社会における意義を提言できるようになる。 ・小麦様墓所の伝承・伝来を理解し、地域社会における墓所の存在意義を論じることができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 平戸藩の歴史-概要 第2回 平戸藩の歴史-対外関係と文化 第3回 平戸八景(平戸領地方八奇勝)について-八景の現状 第4回 平戸八景(平戸領地方八奇勝)について-「松浦地方八奇勝図」を読む 第5回 平戸八景(平戸領地方八奇勝)について-八景の活用 第6回 小麦様墓所について-朝鮮半島由来の文物について 第7回 小麦様墓所について-伝承と伝来について 第8回 授業のまとめ
科目名	平戸藩の史跡と史料		【学生へのメッセージ】 近世の歴史はもとより、地域の史跡巡りに関心がある方にとっても、興味を持てるような授業にしたいと思います。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 文化財オンライン (https://bunka.nii.ac.jp/) のサイトから、「平戸八景」を検索して、8箇所の史跡について、受講前に情報を入手・確認して下さい。また、関連情報として、長崎の文化財 (https://www.prefnagasaki.jp/bunkadb/) のサイトを閲覧し、「平戸八景」の8箇所の史跡の地理的な場所を確認し、理解しておいて下さい。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 特にありません。筆記用具などは、適宜、準備ください。
担当講師	イワサキ ヨシノリ 岩崎 義則 九州大学大学院 人文科学研究院准教授		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月24日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【参考書】 ・『国指定名勝平戸領地方八奇勝』(佐世保市文化財調査報告書第15集)(佐世保市/佐世保市/¥2,300) 下記の佐世保市の窓口および通販にて購入可能。 教育委員会教育総務部文化財課・電話番号 0956-24-1111
実施会場	福岡学習センター 講義室 II		

科目コード	2687798		【授業内容】 人間工学は人の取り巻く要素（製品・環境・管理など）から、人々の安全・安心・快適・健康の保持・向上に貢献する実践科学です。本授業では人間工学の歴史、基礎知識、社会における役割、具体例、実践方法について解説します。また、身近な生活用品や環境を例として、人間工学の観点から課題を抽出し、それを改善する案を受講生の皆さんと一緒に考えます。
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	人間工学		
科目区分	専門科目：生活と福祉	授 業 概 要	【到達目標】 1) 人間工学の基本的な役割、考え方、アプローチを体験を通じて理解し、取り入れられた事例を説明することができるようになる。 2) 自身の生活、学習、労働における課題に気づき、それらの解決策を人間工学の視点から積極的に考察できるようになる。 3) 人間の個々の違いを理解し、その個人差に配慮したデザインの重要性を深く認識する。
ナンバリング	320		【授業テーマ】 第1回 人間工学とは 第2回 人間の特性の理解とデザイン 第3回 ワークショップ1（設計の最適値を調べよう） 第4回 ワークショップ2（不自由を体験しよう） 第5回 身の回りの人間工学（移動円滑化、福祉用具、ユニバーサルデザイン） 第6回 身の回りの人間工学（ヒューマンエラー） 第7回 ワークショップ3（人間工学の実践、身近な製品や生活環境を例に） 第8回 まとめ（人間工学の観点から提案しよう）
定員	20名		【学生へのメッセージ】 本授業では講義に加えて、ワークショップ（演習）も行います。課題を解決するための人間工学アプローチを体験する内容になっています。また、人間工学の研究施設を紹介する時間も設けます。研究施設紹介の都合上、授業内容や順序を一部変更する場合があります。
担当講師	ムラキ サトシ 村木 里志 九州大学大学院 芸術工学研究院教授		【受講前の準備学習等】 人間工学は生活の中での「気づき」が大事です。生活の中で例えば、「使にくい」、「心地よくない」、「危ない（ひやりとした）」と感じたことがありますら、その原因を考えてみてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年6月7日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートもしくは発表の評点により行います。実習課題をグループ・個人どちらで行うか、報告はレポート・発表どちらで行うかは、受講者人数などを踏まえて調整します。
実施会場	九州大学大橋キャンパス (福岡市南区塩原4-9-1)		【受講者が当日用意するもの】 動きやすい服装 第2日目に作成するレポートもしくは発表資料は手書き作成、ノートパソコンまたはタブレット（スマートフォンは不可）での作成のどちらでも構いません。 ノートパソコン等で作成される方はご自身でノートパソコン等をご持参ください（充電可、プリントアウト不可）。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。作成にはWord、Excel、PowerPointなどがあると便利です。無線LANへのアクセスは当日にお知らせします。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・初めて学ぶ人間工学（岡田 明、後藤義明、八木佳子、山崎和彦、吉武良治／理工図書／¥3,080／ISBN=9784844608417）
			【その他（特記事項）】 授業は2日間とも九州大学大橋キャンパス内で行います（現地集合・現地解散）。受講生には別途詳細をお知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りのセンターにて加入してください。（開設科目一覧P5参照）

科目コード	2687810	【授業内容】 日本では近年、地震や豪雨等の自然災害だけでなく、COVID-19の感染拡大など、日常生活が一変する事象が多く発生しています。それらの災害が及ぼす心理的影響や災害時の心理支援の実際について紹介し、非常事態下における心理状態や心理支援について学んでいただきたいと思います。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	災害時の心理支援	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ノムラ レイカ 野村 れいか 九州大学大学院 人間環境学研究院講師	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年6月7日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I	
		【到達目標】 ・災害時に一般的にみられる心理反応を説明することができる。 ・災害時の心理支援について説明することができる。 ・有事に備えて平時からできることを考えることができる。
		【授業テーマ】 第1回 災害とは何か 第2回 非常事態下にみられる心身の反応 第3回 災害時の心理支援①基礎 第4回 災害時の心理支援②自然災害 第5回 災害時の心理支援③CBRNE災害 第6回 災害時の心理教育① 第7回 災害時の心理教育② 第8回 まとめ
		【学生へのメッセージ】 本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれます。
		【受講前の準備学習等】 これまでの日本における災害やお住まいの地域のハザードマップを調べておいてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2687836	【授業内容】 日本の犯罪動向、刑事手続、刑罰制度、犯罪行為者処遇を国際的視野から考察したとき、日本の現状はどのように位置づけられ、どのような課題が見出せるのか、また、その展望はどうかについて考察します。日本では、人口10万人当たりの犯罪認知件数が国際的に極めて低いにもかかわらず、犯罪不安が高く、厳罰化要求が強い背景や、拘禁刑創設による施設内処遇および社会内処遇の現状と改革プランを国際的動向と比較しながら課題を明らかにします。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	犯罪と犯罪行為者処遇の国際比較	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ドイ マサカズ 土井 政和 九州大学名誉教授	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年6月7日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 II	
		【到達目標】 日本の犯罪動向と刑事手続、刑罰制度、犯罪行為者処遇について、日常生活の中にあふれる諸情報のファクトチェックを行い、正確な知識を獲得する方法を学び、自分の意見を形成することができるようになる。
		【授業テーマ】 第1回 犯罪概念と犯罪動向の国際比較 第2回 刑事手続の国際比較 第3回 刑事制裁の国際比較 第4回 死刑の国際比較 第5回 自由刑の国際比較 第6回 施設内処遇と社会内処遇の国際比較 第7回 処遇思想の新たな展開 第8回 総括と質疑
		【受講前の準備学習等】 授業内容やシラバスの内容から判断して、事前に関連情報を収集し、自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2687801	授 業 概 要	【授業内容】 「健康に生きる」とは何か、その社会的条件・環境的条件は何かをめぐり知識を、自然科学的な知識のみならず人文学・社会科学の知識を踏まえて紹介しつつ、健康・病気、保健・医療に対する見方・考え方・かかわり方について学習し、議論しながら皆さんと一緒に考えていきます。さらに健康や病気・障害、それらにかかわる社会制度について理解することだけでなく、最近注目されている、ポジティブ健康学とも言える、健康に生きる力や資源、幸福感などの、ポジティブな生きる力を知り、健康的な生き方を考えていきます。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 ・「健康に生きる」とはどのようなことか自分なりの考えをもち説明することができる。 ・健康に生きるために何が 필요한のか整理し説明することができる。 ・健康に生きていく場・生き方の多様性について整理し説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 健康とは・健康に生きるとは 第2回 健康に生きる力・ストレスを乗り越える力 第3回 健康の読み書き能力“ヘルスリテラシー” 第4回 食・薬品・薬物と健康 第5回 病いや障害とともに生きるとは 第6回 保健・医療・福祉を支える社会の仕組みとルール 第7回 健康に生きる社会の実現はできるか 第8回 どのように健康に生きていくのか：まとめ
科目名	生き方としての健康科学		【学生へのメッセージ】 健康をめぐり批判的なモノの見方や考え方を身に付けていくことをねらいとしていて、医学的・生物学的な知識よりむしろ社会科学の知識の解説が多い授業となります。「〇〇健康法」のような具体的な技術の習得を目指すものではありませんので留意してください。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から該当する指定教科書の部分を判断して事前に読み込んでおいてください。 授業で学修した内容や教科書章末の「考えてみよう」の問いを活用して復習を行い理解を深めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 指定した教科書を購入の上持参のこと。
担当講師	トガリ タイスケ 戸ヶ里 泰典 放送大学教授		【教科書】 ・新・生き方としての健康科学（第二版）（山崎喜比古・朝倉隆司／有信堂／¥3,190／ISBN=9784842065960）
日程実施時間	2026年6月11日(木) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月12日(金) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2687747	授 業 概 要	【授業内容】 『論語』や『史記』に代表されるような中国の古典は、「古典中国語」と呼ばれる言語によって書かれています。日本人はそれを「漢文」として受容することを通じて、中華という文明体の一員たろうとしました。私たちの社会や文化は間違いなくそのような基盤の上に組み立てられています。 この授業では現代の私たちが古典中国語文を読むにあたって知っておくべき基本的な知識や規則についてお話しし、あわせていくつかの著名な古典と一緒に読むことを通して、その作品世界を味わっていききたいと思います。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 (1) 中国の古典に関する基礎的な知識を習得するとともに、それが日本を含む東アジア世界にどのような影響を与えたかについて理解できるようになる。 (2) 古典中国語文(漢文)の基本的な規則を理解するとともに、注釈等を用いながら、比較的平易な文章を読解できるようになる。 (3) 古代中国の文献・書物に触れながら、そこに展開された作者の思索・論理・美意識を追体験できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「中国古典」とは～古典中国語と漢文 第2回 古典中国語文の表記～漢字の形と音 第3回 古典中国語文の構造～文法規則 第4回 中国古典の伝承 第5回 『論語』を読む 第6回 『莊子』を読む 第7回 『史記』を読む 第8回 漢詩を読む
科目名	中国古典を読むために		【学生へのメッセージ】 授業ではいわゆる「書き下し文」を用いて説明しますので、現代中国語についての知識は不要です。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 漢和辞典(任意)
担当講師	ミヤモト トオル 宮本 徹 放送大学教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		【参考書】 ・漢文の読み方—原典読解の基礎—(宮本徹・松江崇/放送大学教育振興会/¥2,860/ISBN=9784595319266) ・全訳 漢辞海(第4版)(戸川芳郎監修・佐藤進・濱口富士雄編/三省堂/¥3,300/ISBN=9784385140483)
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2679183	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、基礎的な心理学実験の体験と、科学論文形式のレポートの作成を通して、心理学研究に必要な基礎的知識と技術の修得を目指します。 取り上げるテーマは、「ミューラー・リヤー錯視」、「アイコニックメモリ」、「概念学習」です。 単位の修得には原則としてすべての回に出席し、その3つのすべてのテーマに関してそれぞれレポートを作成・提出することが求められます。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験 1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヤマモト ケンタロウ 山本 健太郎 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授	
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 心理学における研究手法 第2回 ミューラー・リヤー錯視：実験・解説 第3回 ミューラー・リヤー錯視：データ整理 第4回 ミューラー・リヤー錯視：レポート作成法の解説とまとめ方 第5回 アイコニックメモリ：実験・解説 第6回 アイコニックメモリ：データ整理・レポートのまとめ方 第7回 概念学習：実験・解説 第8回 概念学習：データ整理・レポートのまとめ方 【学生へのメッセージ】 心理学では科学的な手法を用いて研究を行うことで、人のこころや行動の仕組みについて検討が行われています。この授業を通じて、心理学の方法論を学んでみましょう。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。※事前にキャンパスメール宛連絡します。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
実施会場	福岡学習センター PC実習室	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（無線LANに接続可能なもの。【受講前の準備学習等】要確認）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・講義室内にプリンターはありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで（板口典弘、山本健太郎／講談社／¥2,090／ISBN=9784061548091） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2679256	授 業 概 要	【授業内容】 心理学における実験法について学ぶため、代表的な実験を3つ実施します。受講生の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加したうえで、得られたデータの解析とレポートの作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3つの実験すべてについてのレポートの作成が必要となります。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 心理学の実験を、実験者および参加者(協力者)の観点から体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 実験法の基礎およびレポート執筆の概説 第2回 触二点閾の測定 第3回 データの解析とまとめ 第4回 ストループ効果 第5回 データの解析とまとめ 第6回 鏡映描写 第7回 データの解析とまとめ 第8回 全体のまとめ
科目名	心理学実験3		【学生へのメッセージ】 “こころ”は目で見たり手で触れたりすることができないものです。そのような“こころ”を心理学ではどのようにして捉えるのでしょうか？本講義をもとに、ともにその術を学んでいきましょう。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 触二点閾では閾値、ストループ効果では自動化、鏡映描写では転移について、それぞれ事前に調べておいてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 授業ではノートパソコンは使用しませんが、レポート作成用としてご自身でノートパソコン等(Word、Excelがインストールされたもの)を持参・使用していただいても構いません(手書き作成の場合は持参不要です)。インターネットへの接続は不要です。また、講義室内に電源設備、プリントアウトの環境がありませんのでご注意ください。
担当講師	ワケベ トシヒロ 分 部 利 紘 西南学院大学 人間科学部准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年6月20日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		【その他(特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ		

科目コード	2687755	授 業 概 要	【授業内容】 インターネットやICT技術の普及によって、サイバーセキュリティに対する重要性が日に日に高まっています。また、考慮すべき領域は、コンピュータをインターネットに接続している空間だけに留まらず、パソコンを持ち運んでいる時、あるいは銀行オンラインシステムを利用している時などを含めた、サイバー空間全体に広がっています。このような状況で我が国ではサイバーセキュリティ基本法が施行され、大学におけるセキュリティの教育に加え、国民個人のセキュリティへの対応能力の向上が求められています。本講義では、年齢・専門を問わず、今後 ICT 社会で生き抜くためのサイバーセキュリティ力を向上させることを目的として、セキュリティに関する基礎的な技術から法律、倫理まで幅広く学びます。
学習センター(コード)	40A		【到達目標】 ・サイバーセキュリティに関連する分野の基礎的な知識を身につけることができる。 ・講義で得た知識を応用して自分の生活に役立たせることができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 最近の事例 第2回 端末（パソコン・スマートフォンなど）の保護 第3回 アカウントの保護・無線LANの安全な利用 第4回 暗号技術 第5回 法律 第6回 著作権 第7回 社会科学 第8回 生成AI・情報倫理
科目名	サイバーセキュリティ 基礎論		【学生へのメッセージ】 本講義では、サイバーセキュリティに関連するさまざまな話題を少しずつ取り扱います。この講義が、みなさんのサイバーセキュリティ力向上につながれば幸いです。
科目区分	導入科目：情報		【受講前の準備学習等】 インターネットで「IPA 情報セキュリティ10大脅威」を検索し、公式の配布元である情報処理推進機構（www.ipa.go.jp）のページを見つけて、解説書「個人編」を中心に読んでおいてください（講義第1回で2026を紹介予定です）。聞いた事のない単語があったら、調べてみましょう。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		【教科書】 教科書は使用しません。
担当講師	カサハラ ヨシアキ 笠原 義晃 九州大学 情報基盤研究開発センター助教		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2687828	【授業内容】 デジタル技術の普及によって、21世紀の社会が大きく変わりました。社会が変われば、大学も変わります。日本の大学が直面する課題を、歴史的かつグローバルな文脈のなかで捉え、国際比較の視点から、日本とアメリカ、中国の大学の比較をしながら、大学教育の理念・組織、教育内容・方法の改革、現状、課題を解説し、大学の「教育力」を考えます。 講義は、コロナ禍後の大学教育におけるICT活用の進展、特にLMS（＝Learning Management System：ラーニングマネジメントシステム）の活用を中心に、アメリカの大学で活用しているLMSの最前線を担当講師の実演によって、最新システムの紹介を行います。大学教育の内容と方法の現在と未来の可能性について、比較考察を行います。 【到達目標】 日本・アメリカ・中国の三ヶ国の大学教育の課題と特徴を理解し、デジタル化社会の進展と大学教育におけるICTの活用の現状と特徴を、LMSの活用事例を通して、コロナ前とコロナ後の違いを踏まえて、説明することができる。 LMSの使い方を理解し、そのシステムの仕組みと機能を活用できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 デジタル化社会と大学教育：日本・アメリカ・中国 第2回 大学教育の理念・制度・組織改革及び政府の投資と私的負担：アメリカ・日本と中国の大学 第3回 コロナ禍後の大学授業方法の変貌と課題：アメリカと日本と中国の大学 第4回 アメリカ大学におけるLMSの普及と活用：アメリカ大学の応用事例の実演① 第5回 アメリカ大学におけるLMSの普及と活用：アメリカ大学の応用事例の実演② 第6回 アメリカ大学におけるLMSの普及と活用：アメリカ大学の応用事例の実演③ 第7回 大学教育におけるLMSの活用：日本と中国の大学の事例 第8回 まとめと討論 【学生へのメッセージ】 これから放送大学のライブWeb授業を活用して学びを深めたいと思っている方にぜひ受講していただきたいと思います。授業の中に質問、ディスカッション等意見交換を行う場を多く設けますので、積極的にご参加ください。 【受講前の準備学習等】 この授業では、米国大学の授業におけるLMS活用の実演を行います。米国大学のWeb上の授業コンテンツ、授業方法、学習方法など担当講師から解説します。最新の機械翻訳技術を利用して、レクチャーを英語から日本語への変換実演も行います。教員による日本語訳のフォローも行います。教材は英文と日本語のPPTの対訳を使用します（教材資料は当日配布）。事前学習として、サンディエゴ大学（University of San Diego）のHPもよく見ておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英和辞書（電子可）、ノートパソコン・スマートフォン・タブレット等持参推奨。 ノートパソコン等を持参される場合は、学習センターの無線LANを利用できますが、利用方法については事前にシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 講義室内に電源設備はありますが、プリントアウトの環境はありませんのでご注意ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・放送大学教材 『教育のためのICT活用』[改訂版] テレビ授業（中川一史・苑復傑／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595323515） ・放送大学教材 『情報化社会におけるメディア教育』[改訂版]（苑復傑・中川一史／放送大学教育振興会／¥3,190／ISBN=9784595324840） ・『大学の教育力一何を教え、学ぶか』（金子元久著／（ちくま新書）[新書] 筑摩書房／¥814／ISBN=9784480063847）
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	デジタル化社会における大学教育	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	エン フクケツ 苑 復 傑 放送大学教授 ジュー イン Zhi-Yong YIN San Diego University 教授	
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター PC実習室	

★福岡学習センター【ライブWeb授業】実施科目(40A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の2科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

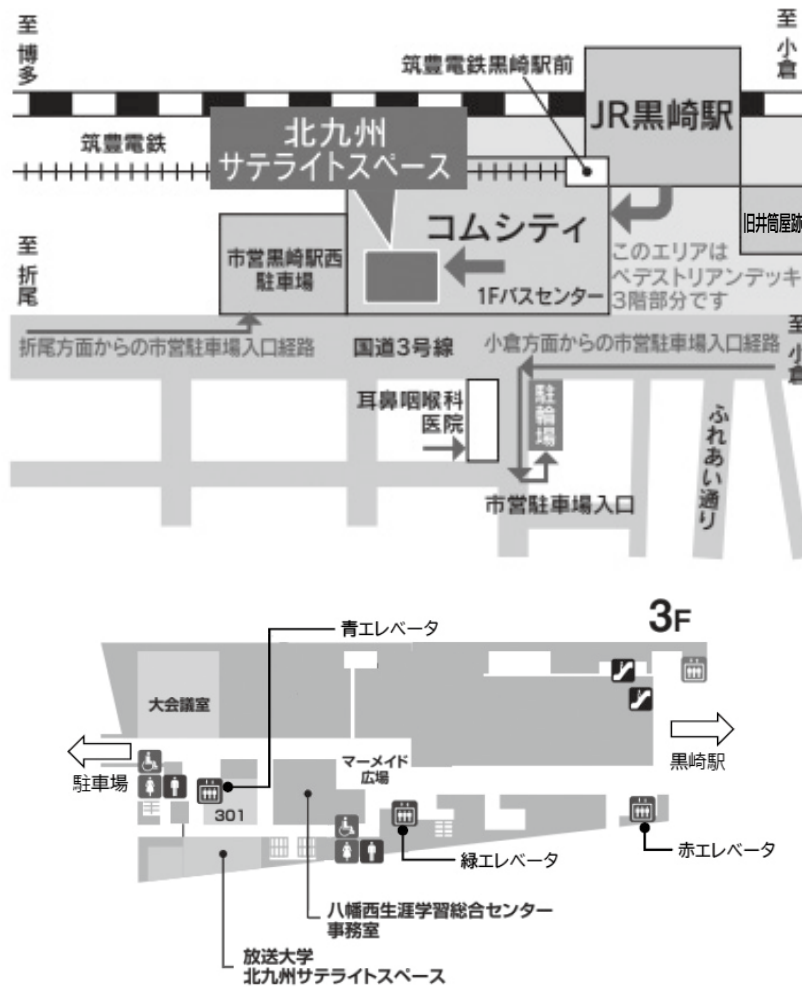
科目コード	4002547	【授業内容】 実験を中心とした心理学の基礎的な課題の実習を行います。受講生の皆さんはそれぞれに「実験参加者」もしくは「実験者」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。実習課題は日常記憶、連想プライミング、空書、思考過程のプロトコル分析(以降、プロトコル分析)の4つです。皆さんは、8コマの同時双方向授業を含む15コマの実習すべてに参加し、上記4つの課題について、心理学の標準的な様式に則った実験レポートをそれぞれ提出する必要があります。 なお、Zoom授業回・オンデマンド授業回のいずれにおいても、受講生同士でコミュニケーションをとったり、一つの作業を共同して行う機会が複数回あります。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	WK	
科目名	★心理学実験(基礎)	
科目区分	専門科目:心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	タケバヤシ ヒカリ 竹林 ひかり 立命館大学立命館 グローバル・イノベーション 研究機構専門研究員	
日程実施時間	第1回オンデマンド授業 第2回オンデマンド授業 第3回Zoom授業 5月23日(土) 第3時限 13:40~15:10 第4回Zoom授業 5月23日(土) 第4時限 15:20~16:50 第5回オンデマンド授業 第6回Zoom授業 5月30日(土) 第3時限 13:40~15:10 第7回Zoom授業 5月30日(土) 第4時限 15:20~16:50 第8回オンデマンド授業 第9回Zoom授業 6月6日(土) 第3時限 13:40~15:10 第10回Zoom授業 6月6日(土) 第4時限 15:20~16:50 第11回オンデマンド授業 第12回Zoom授業 6月13日(土) 第3時限 13:40~15:10 第13回Zoom授業 6月13日(土) 第4時限 15:20~16:50 第14回オンデマンド授業 第15回オンデマンド授業	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
授業概要	第1回 心理学の研究法 第2回 実験法の特徴 第3回 日常記憶①:実施と解説、結果の集計 第4回 日常記憶②:ディスカッション、レポートの書き方 第5回 日常記憶③:レポート作成・提出 第6回 日常記憶④:レポートの相互評価 第7回 統計的分析 第8回 日常記憶⑤:レポート再提出、連想プライミング①:実施と解説 第9回 連想プライミング②:結果の集計・ディスカッション 第10回 実験計画・立案:ディスカッションとプレゼンテーション 第11回 連想プライミング③:レポート作成・提出、空書①:実施と解説 第12回 空書②:結果の集計・ディスカッション 第13回 プロトコル分析①:実施と解説、結果の集計 第14回 連想プライミング④:レポートの相互評価、プロトコル分析②:ディスカッション 第15回 空書③・プロトコル分析③:レポートの作成・提出	【授業テーマ】 第1回 心理学の研究法 第2回 実験法の特徴 第3回 日常記憶①:実施と解説、結果の集計 第4回 日常記憶②:ディスカッション、レポートの書き方 第5回 日常記憶③:レポート作成・提出 第6回 日常記憶④:レポートの相互評価 第7回 統計的分析 第8回 日常記憶⑤:レポート再提出、連想プライミング①:実施と解説 第9回 連想プライミング②:結果の集計・ディスカッション 第10回 実験計画・立案:ディスカッションとプレゼンテーション 第11回 連想プライミング③:レポート作成・提出、空書①:実施と解説 第12回 空書②:結果の集計・ディスカッション 第13回 プロトコル分析①:実施と解説、結果の集計 第14回 連想プライミング④:レポートの相互評価、プロトコル分析②:ディスカッション 第15回 空書③・プロトコル分析③:レポートの作成・提出
	【学生へのメッセージ】 本科目を履修して合格すれば、認定心理士資格の取得に必要なc領域の認定単位2単位分を修得することができます。また、公認心理師カリキュラムの「大学における必要な科目」の「心理学実験」対応科目として利用することができます。	【受講前の準備学習等】 この授業の受講には、心理学の基礎知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 実習課題の内容について、あらかじめ学習しておく必要はありません。 シラバスの内容から判断して予習・復習に努めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)	【受講に必要な条件】 以下の①~③の条件をすべて満たした方がのみが受講可能です。 授業は各ソフトウェアの基本操作をあらかじめ身につけていることを前提に進めます。 ①必要な機器やソフトウェアが揃っていること ・キーボード及びマイクが装備されたパソコン(オンラインで実施する実験に参加する際にキーボードが付いたパソコンが必要です。マイクはZoomの同時双方向授業で使用します。) ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 ・Microsoft Office(Word/Excel)、あるいはこれらに相当するソフトウェア(レポートの作成やデータの集計等に必要ですので、使用するパソコンにインストールされていることをご確認ください。) ②Microsoft Office、あるいはこれらに相当するソフトウェアの基本操作ができること Microsoft Excelでは平均値や標準偏差等を計算するために、基本的な関数を用います。操作に自信がない方は、放送大学自己学習サイト(システム WAKABA からアクセスできます)であらかじめ自習し、ひととおりの操作ができるようにしておいてください。 ③Zoomと専用システムの基本操作ができること この科目では、Zoomと専用システムを利用して授業を行います。 「ライブWeb授業体験版」を用意していますので、事前にアクセスし、スムーズに利用できるようにしておいてください。
		【成績評価の方法】 授業中の学習状況及び4つの実験課題への参加と、それに係る作業(データの集計等)やディスカッション、及び様式に則って作成するレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 インターネットに接続可能で、Microsoft Office(Word/Excel)がインストールされたパソコン、マイク・ヘッドフォン、メモをするための筆記具と用紙(A4程度)。 Microsoft Officeについては、他社の同等ソフトの使用も認めますが、授業内で使用方法の説明はしません。またExcelでしかできない活動があることにご留意ください。(※Microsoft ExcelのVBAで動く統計分析ソフト(HAD)を使用することがあります)
		【教科書】 教科書は使用しません。
		【参考書】 ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎(日本心理学会 認定心理士資格認定委員会 編/金子書房/¥2,750/ISBN=9784760830312)
		【その他(特記事項)】 Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム(Zoom)を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 Zoom授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室(Zoomミーティング)へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。
		【単位数とコマ数について】 本科目は2単位15コマの授業です。詳細については、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。

科目コード	4002482	【授業内容】 鋼（はがね）やステンレスといった鉄鋼材料や、アルミやチタンといった軽合金材料は工業的に広く利用されています。このような金属材料は主に原子が規則的に集めた結晶構造により構成されます。材料の多結晶構造による微細組織について理解することで、金属材料の強化法について知ります。また、工業製品を作るためにどのような加工法が利用されているか、これらの知識を修得します。 【到達目標】 身の回りの金属製品について工学的な知識を深める。特に、原子レベルでの金属材料の挙動と加工プロセスについて扱う。具体的に、受講者は以下の3点について説明できるようになることを目標とする。 (1) 金属材料の変形について原子レベルでその挙動 (2) 代表的な金属加工プロセス (3) 加工時の材料素材の変化 【授業テーマ】 第1回 金属材料の結晶構造 第2回 金属材料の変形 第3回 金属結晶構造と欠陥 第4回 金属材料の強化機構 第5回 材料加工1（ casting ） 第6回 材料加工2（ plastic processing ） 第7回 材料加工3（ mechanical processing, etc. ） 第8回 振り返り 【学生へのメッセージ】 鍛冶屋さんがハンマーで叩くと金属は変形します。材料は「鍛えられ」強化されます。このとき材料の内部はどのようなになっているでしょう？上記は一例ですが、身近な金属製品について、原子レベルの挙動を含めより深く知ることを目指します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 「インターネット環境のあるパソコン（タブレット端末やスマートフォンは推奨しません）、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。」 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 専用のシステム上で資料を配布します。 Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytimeanyone-can-learn-freely/interactive/
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	WK	
科目名	★金属材料と加工	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ツモリ フジオ 津 守 不 二 夫 九州大学大学院 工学研究院教授	
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)	

北九州サテライトスペース

(コード：40S)

北九州サテライトスペース案内図 ☎093-645-3201



【所在地】 〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3
(コムシティ3階)

【交通アクセス】

- JR黒崎駅から徒歩5分
- 西鉄黒崎バスセンターから徒歩3分
- 筑豊電鉄黒崎駅前から徒歩3分

【その他連絡事項】

※会場には駐車スペースはありません。
 ※面接授業に必要な教科書は北九州サテライトスペースでは販売していませんので、各自書店等で事前に購入してください。

科目コード	2687925	授 業 概 要	【授業内容】 パソコンで計算をしたり写真を表示したりする時に、内部のどんな部品でどんなことが行われているか、を紹介します。また、最近ニュースで耳にするスーパーコンピュータや人工知能についても、仕組みを説明します。この講義を聞いてもパソコンの使い方が上手になるわけではありません。でも、もしかしたら、普段コンピュータに感じている、「なぜだろう?」、「なんだろう?」という疑問やもやもやが少しすっきりするかもしれません。 【到達目標】 コンピュータが、電気を使ってどのように情報を扱い、計算をしているのかを理解し、コンピュータの動作原理について説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 私たちの身の回りのコンピュータ 第2回 数字で情報を表す 第3回 電気で計算する 第4回 コンピュータの基本的な仕組み 第5回 プログラムの動き 第6回 コンピュータの歴史 第7回 スーパーコンピュータとパソコンの違い 第8回 人工知能とは 【受講前の準備学習等】 コンピュータに関して日ごろ感じている疑問などをメモしておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 ・コンピュータ、どうやってつくったんですか? はじめて学ぶコンピュータの歴史としくみ (川添 愛/東京書籍/¥1,870/ISBN=9784487811892)
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	コンピュータの仕組み		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	南里 豪志 九州大学 情報基盤研究開発センター准教授		
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年4月19日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室		

科目コード	2679264	授 業 概 要	【授業内容】 心理検査はパーソナリティの個人差を測定するために用いられるものです。この授業では、心理検査について3つ(自己概念尺度 パウムテスト TEG)取り上げ、心理検査の理論的背景などを解説します。また実際に心理検査を体験し、自己理解を深めます。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、3つの心理検査すべてについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理検査について 第2回 検査実習1 自己概念尺度 第3回 検査実習2 パウムテスト 第4回 心理検査の信頼性・妥当性 第5回 質問紙法・投影法・作業検査の特徴 第6回 検査実習3 TEG 第7回 テストバッテリーについて 第8回 心理検査における倫理 【学生へのメッセージ】 この授業では、様々な心理検査を体験し、自己分析していただきます。オープンで積極的な授業参加をお願いします。 【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(‘24)」、「心理学研究法(‘20)」、「心理学統計法(‘21)」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 描画法を実施するため、4Bなどの柔らかい鉛筆を用意してください。また集計のため、定規と電卓を持参してください。時間中にレポート作成をしてもらいますので、パソコンを持参してのレポート作成も許可します。しかしながら、当日は電源設備、プリントアウトの環境がありません(無線LANへのアクセスは当日お知らせします)。作成したレポートは、1週間後までに郵送もしくはメールで提出してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理検査の実施の初歩(願興寺礼子・吉住隆弘 編/ナカニシヤ出版/¥2,860/ISBN=9784779503870)
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	菊池 悌一郎 九州工業大学准教授		
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月10日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 301会議室		

科目コード	2687917	授 業 概 要	【授業内容】 アジアの物産である香辛料、綿織物、茶は、ヨーロッパの人々にとっては垂涎のまもでした。ヨーロッパでは生産することの出来ないこれらの物産は、欧州の人々にもはやされたばかりでなく、歴史を大きく動かす原動力ともなりました。そこで、本講義では、アジアの魅力的な物産に焦点を当てつつ、それを通してアジアとヨーロッパのダイナミックな世界史を論じていきたいと思います。アジア物産から見た15世紀～19世紀の世界史が本講義の内容です。
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	アジア物産とヨーロッパの世界史		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ノリマツ アキフミ 則松 彰文 福岡大学人文学部教授		
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年5月17日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 301会議室		
			【到達目標】 15世紀から19世紀における世界史を総合的に理解できるようになる。また、アジアとヨーロッパとの歴史的関係について幅広い知識を得ることができる。
			【授業テーマ】 第1回 大航海時代とアジアの香辛料 第2回 コロンブスとバスコ＝ダ＝ガマの世界史的意義 第3回 インド木綿とヨーロッパ 第4回 中国茶とヨーロッパ 第5回 ヨーロッパの生活革命とアジア物産 第6回 中国茶をめぐる中国・英国関係史 第7回 英国の中国に対するアプローチ 第8回 19世紀のアジアとヨーロッパ
			【学生へのメッセージ】 アジアとヨーロッパに対する我々日本人の印象・認識には、史実や事実と大きく異なるものが沢山あります。この講義を通じて、その先入観や誤解を払拭し、客観的な目で、また柔軟な視点で世界を見れるようになっていただきたいと思います。
			【受講前の準備学習等】 ・世界史の講義ですので、高校世界史教科書レベルの本を事前・事後に読んでおいてください。 ・講義を受講したのちに、関連する本などを読んで復習をおこなってください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 講義で使用する資料を講義中に配布します。ホワイトボードを使用して講義を進めますので、筆記用具とノート類を必ず用意してください。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2687895	授 業 概 要	【授業内容】 食品には栄養機能、感覚・嗜好機能、生体調節機能の三つの機能があります。特に健康の維持や向上に関わる生体調節作用（機能性）を活用した健康の維持・増進が注目されています。本講義では食品の持つ様々な生体調節作用やその作用が発揮される仕組みについて解説します。また、特定保健用食品や機能性表示食品など食品の表示制度についてもあわせて講義します。
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	食品機能学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	タチバナ ヒロフミ 立花 宏文 九州大学大学院 農学研究院教授		
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年5月24日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 2階 204会議室		
			【到達目標】 食品の機能性を具体的に述べることができる。また、食品の機能性に関与する食品成分とその作用に関わる仕組みについて概略を説明できる。さらに、食品の機能性の評価がどのように行われているかを述べるができる。
			【授業テーマ】 第1回 食品の機能性表示制度 第2回 食品の機能性評価の実際 第3回 食品の免疫調節作用 第4回 食品の骨代謝調節作用 第5回 食品の糖代謝調節作用 第6回 食品のがん予防作用 第7回 食品成分の食べ合わせ効果 第8回 機能性食品の開発
			【学生へのメッセージ】 健康維持や向上に関わる食品の生体調節作用について考えてみませんか？
			【受講前の準備学習等】 身近な機能性表示食品や特定保健用食品（1～2品目）に表示されている機能性とその関与成分にどのようなものがあるかを調べてください。調べた内容は授業当日に口頭でお聞きしますので提出物は不要です。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【教科書】 教科書は使用しません。
			【その他（特記事項）】 この講座は「北九州市民カレッジ」と共同企画です。同機関の受講生も参加します。

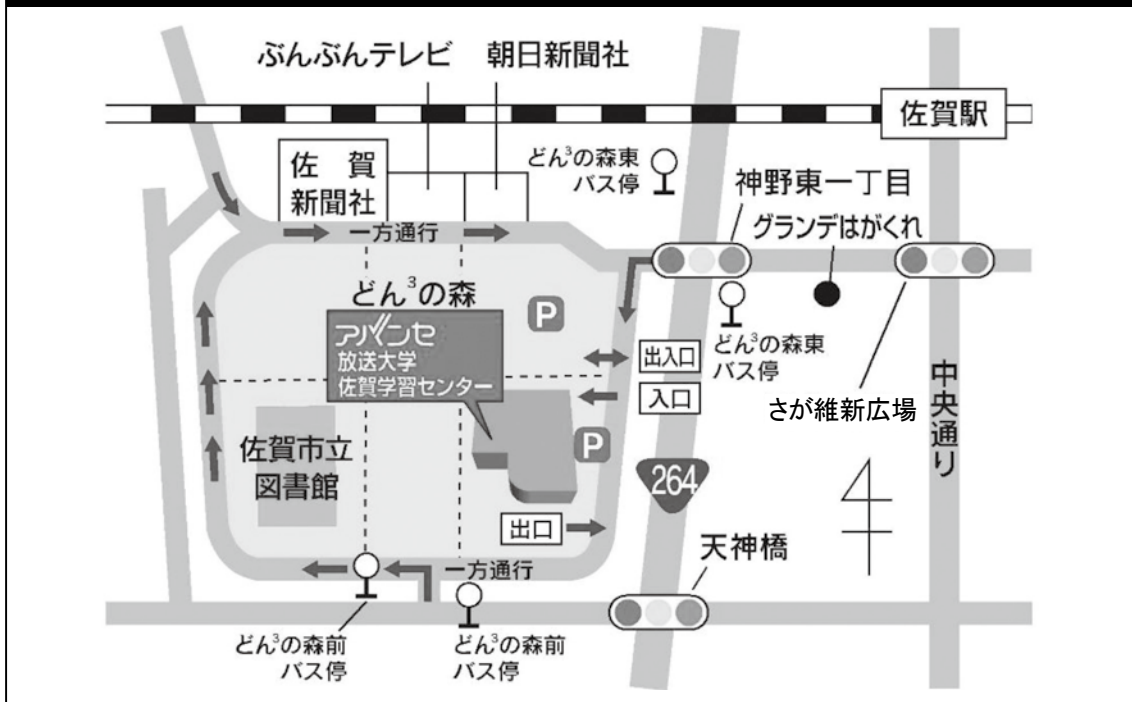
科目コード	2687909	授 業 概 要	【授業内容】 心理面接では傾聴が基本です。この授業では、心理面接における傾聴の基礎となる体験について演習を通して学ぶことをめざします。ゆっくりとじっくりと自らの心身の状態を感じる体験を通して、面接者の実感や身体感覚を大切にすることを意味について体験的理解を行っていきます。この演習ではペアやグループでの実施も予定しています。授業は臨床心理学概論程度の知識があり、心理療法の基礎的学習を行っていることを前提とします。 【到達目標】 ①自己概念について理解し、それがコミュニケーションにどのように影響を与えるかを説明できるようになる。 ②演習での課題を踏まえながら、複眼的視点の意義について説明できる。 ③演習での課題を踏まえながら、傾聴が成り立つ関係について具体的に説明できる。 【授業テーマ】 第1回 「傾聴」以前に考えたいこと 第2回 ウォーミングアップ 第3回 イメージに触れる体験 粘土造形 第4回 身体感覚を味わう (1) 身体を使ったワーク 第5回 身体感覚を味わう (2) 身体を使ったワーク 第6回 「聴き方」の違いを意識する 第7回 ことばの響きとイメージ喚起 第8回 シェアリングとまとめ-傾聴・対話・内省 【学生へのメッセージ】 本演習では様々な課題に取り組みます。受講にあたっては、体調管理を十分にしてください。授業では、簡単な動作を伴う課題のほか、発言を求める場面やグループワークを予定しています。主体的かつ積極的な姿勢でご参加ください。なお、演習の内容および進行方法については、受講者の状況を踏まえ、適宜調整する予定です。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 サインペン (黒)、鉛筆 (硬さの指定はありません)、消しゴム 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他 (特記事項)】 演習ではペアワークや4～5人のグループで取り組む課題があります。また、グループでの意見交換を行います。
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	傾聴の基礎を学ぶ		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸 放送大学教授		
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月7日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室		

科目コード	2683954	授 業 概 要	【授業内容】 生物間にはさまざまな相互の関係が存在します。その中でも共生、特に他の生物の中に別の生物が入り込む内部共生は、これ以上ない密接な関係です。本講義では、共生の発見の歴史を概観し、ヒトやさまざまな生物について、内部に共生している生物との相互の関係や、さらにはミトコンドリアや葉緑体などの細胞レベルでの共生について解説し、生物間における共生がどのように成立しているかの理解をめざします。 【到達目標】 生物学においてどのような現象を「共生」というかを説明することができる。自身が知っている生物間の関係の中から、共生に相当する現象を見出し、それを説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 共生の生物学の歴史 第2回 ヒトの関わる共生 細菌とヒト 第3回 さまざまな共生という関係 第4回 植物と共生 植物と共生するさまざまな菌類 マツタケもその一員 第5回 昆虫と細胞内共生 宿主への栄養提供や生殖操作を行う細菌 第6回 寄生者の戦略 第7回 ミトコンドリアと葉緑体の起源 共生と環境について 第8回 自然との共生を考える 【学生へのメッセージ】 身近な生物を例に説明するので、専門的な知識がなくとも受講可能です。 【受講前の準備学習等】 地衣類、腸内細菌、アブラムシ、マメ科植物、菌根菌、昆虫共生細菌、マラリア、シアノバクテリア、シカなどから興味のある生物について、書物やインターネット等で調べて事前学習を行ってください。授業で学修した内容や例示した生物について事後学習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「講義の中で興味を持った内容と、そのことに関する自身の考えや意見」です。分量はA4 1～2枚程度です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	共生の生物学		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ニコウ ナルオ 二河 成男 放送大学教授		
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室		

佐賀学習センター

(コード：41A)

佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11
(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

【交通アクセス】

●JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「さが維新広場」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

●JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

【自家用車ご利用の方】

●駐車場

アバンセ北側の駐車場(無料)をご利用ください。利用時間は、(火～土)8:30～22:00、(日)8:30～17:00です。利用時間外は施錠されます。その他、駐車場に関する件は佐賀学習センターにご連絡ください。

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2687984	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では心理カウンセリングにおける基本的な考え方や技法について、講義だけではなく、ペアワークやグループワークの演習を通して理解することを目指します。特に、心理カウンセリングを行う土台となる、カウンセラー側である自分自身について理解を深めることを目指します。具体的には自分自身の自己表現のあり方、自分自身のストレス状態の把握や付き合い方について理解を深めます。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 心理カウンセリングを行う自分自身の心理ストレス状態を的確に把握することができるようになる。また、心理カウンセリングにおける自分自身の関わりの特徴(コミュニケーションのありよう)を自覚することができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション。心理カウンセリングについて(講義) 第2回 ウォーミングアップ(演習) 第3回 ストレスマネジメント(講義) 第4回 ストレスマネジメント(演習) 第5回 心理カウンセリングにおける自己表現(講義) 第6回 心理カウンセリングにおける自己表現(傾聴)(演習) 第7回 心理カウンセリングにおける自己表現(アサーション)(演習) 第8回 まとめ(講義)
科目名	心理カウンセリング 基礎演習		【学生へのメッセージ】 心理カウンセリングにおける基礎的な演習内容です。ペアワークやグループワークを行いますので、マナーを踏まえて、他の参加者と協力しながら、主体的に参加してください。
科目区分	専門科目:心理と教育		【受講前の準備学習等】 この授業を受講する前に、学部科目「心理カウンセリング序説」等を受講するなど心理カウンセリングに関する知識をある程度得ておくことをお勧めします。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ナカシマ マサオ 中島 正雄 放送大学教授		
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年4月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2688026	授 業 概 要	【授業内容】 身近な生き物たちの不思議な生態や生き物同士の相互作用の理解を通して、生態系の仕組みや生物多様性について学びます。また、生物多様性や生態系を保全することの意義や、様々な地球環境問題に関して私たちはどんなことに留意すべきなのかを考察します。一部の回には、会場周辺での野外観察（フィールドワーク）も行います（荒天の場合を除く）。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 生物間相互作用および生態系・種・遺伝子レベルの生物多様性に関して理解し、人類による開発や気候変動、侵略的外来種などが生物多様性に及ぼす影響について説明することができる。また、生態系サービスの概念を理解し、生物多様性の保全がなぜ必要なのか、保全するためにはどのような取り組みが必要なのかを説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 地球はなぜ緑で覆われているのか：植物の被食防御戦略 第2回 生物間相互作用が産み出す生物多様性：植物と植食者の関係 第3回 宿主をたくみに操る生物たち：寄生者による宿主操作 第4回 生物たちの生き残り戦略：一見奇妙な行動の意味を理解する 第5回 生物多様性の危機1：地球温暖化が生物多様性に及ぼす影響 第6回 生物多様性の危機2：侵略的外来種が生物多様性に及ぼす影響 第7回 佐賀の貴重な生き物たち：森から海まで 第8回 生物多様性のこれまでとこれから：私たちにできること
科目名	身近な自然から考える 生物多様性		【学生へのメッセージ】 身近な生き物を対象とした研究成果を紹介しながら、生物多様性や生態系について一緒に考えてみましょう。生物に関する予備知識がなくても受講可能です。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 気候変動や侵略的外来種と生物多様性の関係について、また生態系サービスについてインターネット等で調べておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 配布した資料を参考にして毎回の授業で学修した内容に関して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 天候を見て、短時間野外に出て植物や昆虫の観察をする場合がありますので、活動できる服装や靴でお越しください（両日とも雨天の場合には室内学習のみとします）。
担当講師	トクダ マコト 徳田 誠 佐賀大学農学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年4月26日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 一部の回は どんどんの森 (佐賀県佐賀市天神三丁目)		

科目コード	2687992	授 業 概 要	【授業内容】 佐賀藩の成立と発展の歴史について学びます。城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史を中心に学びます。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせた授業です。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 佐賀藩の成立と発展の歴史、特に城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史について、説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 佐賀藩の成立 第2回 本藩と支藩 第3回 城下町の整備と長崎街道 第4回 フィールドワークの事前学習 第5回 フィールドワーク(松原神社、佐嘉神社等) 第6回 フィールドワーク(鍋島緞通、長崎街道等) 第7回 フィールドワーク(佐賀市歴史民俗館) 第8回 まとめ
科目名	佐賀の歴史と文化1		【学生へのメッセージ】 佐賀藩の成立と発展の歴史について、基礎的な内容をわかりやすく解説します。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせて理解を深めます。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 ①佐賀藩の成立と発展の歴史に関する書籍を探して読んで予習しましょう。 ②シラバスに記載されているフィールドワークを行う史跡・関連施設のホームページを閲覧して予習しましょう。 ③受講後は、受講時に配付する資料を読んで、授業内容を復習してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 5月17日はフィールドワークを行いますので、歩きやすい服装や履き物で参加してください。 雨天の場合も現地研修を行いますので、雨具を必ずご持参ください。
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香梨 佐賀大学 国際交流推進センター教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月26日(日) 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年5月10日(日) 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年5月17日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.5参照)
実施会場	4月26日、5月10日は 佐賀学習センター アバンセ第2研修室 5月17日は 佐賀市歴史民俗館 (旧古賀家1号室等) (佐賀県佐賀市柳町3-15)		

科目コード	2688000	【授業内容】 約400年前に日本最初の磁器として創始された有田焼は、国内のみならず海外にも広く流通しました。各時代に作られた有田焼の魅力を理解し、その受容の歴史をたどると各国の生活様式や文化の特徴を知ることができます。また有田に残る史跡や町並みを見学して生産地のリアルな歴史を体感します。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	【到達目標】 肥前陶磁の歴史と文化の特徴を習得するために、磁器と陶器の違い、陶磁器の製法、国内向けと海外向けの比較、肥前陶磁と外国陶磁との違い、年代による製品の変化、国内流通と海外輸出の史実等を理解し、個々の現象を的確に判断できるようになる。 具体的な陶磁器の判断基準や指標を用い、陶磁器を観察することで製作年代や用途を知り、それらが生産された歴史的背景や文化の特質、文化財としての価値を説明できるようになる。
担当講師	スズタ ユキオ 鈴木 由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館館長	
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40	【授業テーマ】 第1回 陶磁器の歴史と文化1 (肥前陶磁と国内流通) 第2回 陶磁器の歴史と文化2 (海外輸出) 第3回 町内見学 (泉山磁石場、有田町歴史民俗資料館等) 第4回 町内見学 (窯跡、街並み保存地区等) 第5回 陶磁器の歴史と文化3 (展示室の蒲原コレクション) 第6回 陶磁器の歴史と文化4 (展示室の柴田夫妻コレクション) 第7回 陶磁器の歴史と文化5 (古伊万里の見方) 第8回 陶磁器の歴史と文化6 (産地の伝統)
	2026年5月10日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀県立九州陶磁文化館 (佐賀県西松浦郡有田町戸乙3100-1)	【学生へのメッセージ】 陶磁器は単に美しいものの鑑賞に留まらず、見方が分かれば様々な情報を引き出すことができます。古陶磁の歴史的な背景を理解し、その時代の文化や人々の暮らしぶりを楽しみましょう。
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 授業1日目はフィールドスタディを行うため、歩きやすい服装で帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・常設展示ガイドブック「有田焼の歴史」～磁器が語る 奇跡のストーリー～ (佐賀県立九州陶磁文化館/佐賀県立九州陶磁文化館/¥1,000) ・古伊万里の見方シリーズ1 種類 (佐賀県立九州陶磁文化館/佐賀県立九州陶磁文化館/¥800) シリーズは2成形、3装飾、4窯詰め、5形と用途もあります。 どちらも佐賀県立九州陶磁文化会館受付で販売しています。郵送での購入方法はホームページをご覧ください。
		【その他 (特記事項)】 授業1日目の第3時限は町内の泉山磁石場で集合です。その後第4時限も徒歩で町内の窯跡や街並みを散策します。解散場所は街並みですが、車で参加される方は駐車場の関係で泉山磁石場に戻ることになります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2688018	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 医学・社会学・心理学・マーケティング・評価分析・品質管理などにおいて多種類のデータを要約したり、将来の数値を予測したりする試みが行われています。多変量解析は複数の変量のデータを解析して、変量間の関係を明らかにすることで有用な情報を抽出する手法と言えます。本授業では多変量解析の基本的考え方と基礎的手法を学び、データ分析ツールRを使った実習を通してこれらを確認します。本授業によって簡単なデータ分析が行えるようになります。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	Rで学ぶ 多変量解析入門	
科目区分	専門科目：情報	【到達目標】 多変量解析の基本的考え方と基礎的手法を理解すると共に、統計解析ツールRを使った実習を通して簡単なデータ分析が行えるようになる。具体的には以下の事項ができる。 ・ 回帰分析、主成分分析、判別分析の基本的概念を説明できる ・ 回帰分析、主成分分析、判別分析について簡単な分析を実践できる
ナンバリング	320	
定員	20名	【授業テーマ】 第1回 多変量解析とは 第2回 Rの使い方 第3回 回帰分析（1）基礎 第4回 回帰分析（2）実習 第5回 主成分分析（1）基礎 第6回 主成分分析（2）実習 第7回 判別分析（1）基礎 第8回 判別分析（2）実習
担当講師	アサイ キクオ 浅井 紀久夫 放送大学教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月17日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	【学生へのメッセージ】 多変量解析の一端を、Rで実習しながら学んでみませんか。 【受講前の準備学習等】 事前学習として多変量解析が有用な場面を探しておいてください。R実行環境としてRStudioを使います。RおよびRStudioについて調べておいてください。 また、事後学習として面接授業で学習した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 ・ この授業ではインターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・ OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・ パソコンの基本的な操作（具体的には以下）を習得している必要があります。 1) 文字入力がある程度の速さでできる 2) ファイルやフォルダの管理、圧縮・解凍ができる 3) ファイルのダウンロード、メールの送受信ができる
授業概要		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 授業中に学ぶ回帰分析、主成分分析、判別分析のいずれかについて問題を解き、その過程と結果を記述します。問題の具体的内容は授業の中で示されます。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windows（もしくはmacOS、Linux）が必要です。 3. ソフトのインストール ・ 文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。 ・ 表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません。 ・ Google Chromeブラウザが必要です。 ・ 統計解析ソフトとしてR及びRStudioを使用します。事前にインストールして動作確認をしておいてください。 4. その他 ・ ソフトバージョン指定：有り OSはWindows11以上、Rはバージョン4.4以上、RStudioはDesktop Version: 2024.04.2以降を対象とします。 ・ システムWAKABAにログインするためのIDとパスワード。 ※参考情報 Rのインストール https://sites.google.com/view/ds-zlab/R/Rinstall RStudioのインストール https://sites.google.com/view/ds-zlab/R/RStudioinstall 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2679183	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における代表的実験を2つ (ミューラー・リヤー錯視、情報伝達 (パートレットの系列的再生)) 取り上げて、心理学の実験方法、統計処理を含むデータ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生は原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者 (協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの構成 第2回 データ分析のための統計法 第3回 実験実習1 (ミューラー・リヤー錯視) 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 実験実習1のレポートへの講評 第6回 実験実習2 (情報伝達) 第7回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導 第8回 まとめ 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法 ('21)」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 無線LAN (Wi-Fi) 接続のできるノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 OSは、Windows11のみです (これは実験プログラムの都合によります)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・オフィスソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートは、原則として授業中に、Google Classroomに提出をしてもらいます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方―学生のための初歩から卒論まで (4版) (B.フィンドレイ 著、細江達郎、細越久美子 訳/北大路書房/¥1,430/ISBN=9784762820465) 【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	オカジマ イチロウ 岡嶋 一郎 西九州大学 子ども学部教授	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年5月24日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	

科目コード	2687933	授 業 概 要	【授業内容】 初めて韓国語を学ぶ人、またはもう一度しっかり基礎から学び直したい人のための授業です。短時間で、速く、できるだけ楽に、基礎が身につくように指導します。とにかく楽しくわかりやすい授業を目指します。K-POPや韓国ドラマをもっと楽しむための第一歩を踏み出しませんか？
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 韓国語の基礎を身につけ、簡単な会話ができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 基本母音 第2回 9つの基本子音 第3回 5つの激音 第4回 5つの濃音 第5回 合成母音 第6回 パッチム 第7回 二重パッチム 第8回 韓国語の「てにをは」
科目名	楽しい韓国語(入門編)		【学生へのメッセージ】 韓国語は発音も文法も日本語に近いので、最もマスターしやすい外国語です。短時間で速く楽しく基礎を身につけることが可能です。ぜひ一緒にチャレンジしましょう。
科目区分	基盤科目：外国語		【受講前の準備学習等】 ①シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ②受講後は授業で学んだ内容を復習しましょう。
ナンバリング	110		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	24名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香梨 佐賀大学 国際交流推進センター教授		【教科書】 ・ゼロからはじめる 韓国語書き込みレッスン (キム・スノク/アルク/ ¥1,870/ISBN=9784757433786) ドリルの問題を解くことが大切ですので、ドリルの問題がすでに書き込まれている中古品は避けてください。
日程実施時間	2026年5月24日(日) 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年5月31日(日) 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月7日(日) 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月14日(日) 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第5研修室		

科目コード	2687950	授 業 概 要	【授業内容】 情報と情報システムを理解するために、情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムについて基礎的事項を概説します。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムに関する基礎的事項について応用例を示して説明できる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 情報と問題解決 第2回 メディアと情報技術の発展 第3回 情報のデジタル化 第4回 コンピュータの構成 第5回 アルゴリズムとプログラミング 第6回 モデル化とシミュレーション 第7回 データベースとデータ活用 第8回 情報システムの信頼性と安全性
科目名	情報科学入門		【学生へのメッセージ】 現代社会において私たちは情報と情報システムによって支えられています。私たちがより充実した安全な毎日を送るために、情報と情報システムについて幅広く学びます。
科目区分	導入科目：情報		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	210		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ホリ ヨシアキ 堀 良彰 佐賀大学理工学部教授		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年5月31日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2679221	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験4つ（印象形成、自由再生による記憶の系列位置効果、アフォーダンス、顔面フィードバック）を取り上げ、実験の実施、関連事項の解説とレポートの書き方の説明を行います。受講生の皆さんは、実験では実験者や実験参加者の役割を果たし、その後、得られたデータの集計や分析を行った上で、レポートを作成します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、4つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
定員	24名	
担当講師	ヒダカ モトノブ 日高 茂暢 佐賀大学教育学部准教授	【授業テーマ】 第1回 ガイダンス・顔面フィードバックの実施 第2回 顔面フィードバックの解説・レポート指導 第3回 自由再生による記憶の系列位置効果の実施 第4回 自由再生による記憶の系列位置効果の解説・レポート指導 第5回 アフォーダンスの実施 第6回 アフォーダンスの解説・レポート指導 第7回 印象形成の実施 第8回 印象形成の解説・レポート指導
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月31日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55	【学生へのメッセージ】 実験結果を記録・集計・保存するために、ノート、電卓、USBメモリを持参してください。またレポート作成やグラフ作成などで、パソコンを使った作業もあるため、ワードやエクセルに慣れている事が望ましいです。なお、顔面フィードバック、アフォーダンスの実験では持ち物・服装に指定がありますので、「受講者が当日用意するもの」欄を確認の上、準備をしてください。
授業概要	シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。なお、レポートのテーマは授業内で実施した実験に関するものです。 レポートは、後日提出とします。
		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 WindowsまたはmacOSのいずれかが必要です。 3. ソフトのインストール ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・USBメモリーを必ず持参してください。 ・必要な人はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 5. 実験にて必要な物 ・筆記用具、電卓、定規、太めの軸のサインペン（1日目1コマ目の実験で口にくわえます） ・動きやすい服装と靴（2日目5コマ目の実験でハードルをまたいだり、くぐったりします） ※レポートを手書きで作成する場合は、方眼紙、のり、はさみを持参してください。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会、認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） ・心理学実験法・レポートの書き方（西口利文、松浦均／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779502378）
		【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照） 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2679256	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間で、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 講義：心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験：「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験：「ストループ効果」 第5回 講義：実験の計画立案 第6回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめとレポートの作成指導 【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっともらしいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 統計学の基礎知識（t検定・有意水準・帰無仮説など）と表計算ソフトの操作（データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど）を学んできてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	24名	
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはMac OSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ChromeやSafariなどのブラウザが必要です。 4. その他 ・マウスを持っている方はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・初心者でもすぐのできるフリー統計ソフトEZR（Easy R）で誰でも簡単統計解析（改訂第2版）（神田 善伸／南江堂／¥4,620／ISBN=9784524218615） 無料で使える統計ソフトのマニュアル本です。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 ・色識別を要する実験課題があります。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月7日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	授 業 概 要

科目コード	2687968	授 業 概 要	【授業内容】 佐賀県では、米、大豆、みかん、海苔など多くの農林水産物が生産されています。この授業では、佐賀の特産物を中心に、それぞれの食べ物に含まれる特徴的な成分や病気を予防するような機能性について学びます。また、地域の特産品に付加価値を付け、地域の活性化に繋げる取り組みが活発に行われています。その事例として、これまで私が行ってきた商品開発プロジェクトについて紹介します。そして、実際に佐賀の特産品を用いた商品開発に挑戦してみましょう。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 佐賀県特産の食べ物について、特徴的な成分や機能性について科学的な視点で説明することができ、それを活かした商品企画を提案することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 穀類の科学 第2回 イモ類と豆類の科学 第3回 野菜と果物の科学 第4回 魚介類と藻類の科学 第5回 肉類と卵類の科学 第6回 佐賀の特産品を用いた商品開発プロジェクトの紹介（ヒシ、キクイモなど）
科目名	佐賀の食べ物学		第7回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（企画会議） 第8回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（プレゼンテーション）
科目区分	専門科目：生活と福祉		【学生へのメッセージ】 「佐賀の特産品」や「食べ物と健康」にご興味がある方は、ぜひ受講してください。また、商品開発も行いますので、一緒に楽しく魅力的な商品を考えましょう。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 佐賀の特産品について調べておいてください。また、商品開発も行いますので、様々なアイデアを考えておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
定員	40名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、商品開発での積極性を評価に加えます。
担当講師	ヤスダ ミドリ 安田 みどり 西九州大学 健康栄養学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月14日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2688034	授 業 概 要	【授業内容】 CMやPV、映画等における映像表現を巧みに用いた作品を鑑賞し、優れた構成や演出から映像デザインとしてメッセージの伝達や個性的な着想や表現が生まれることを理解してもらいます。また、CGやVR、デジタルファブリケーション等、デジタル表現がもたらすサイバー空間とフィジカル空間を結ぶ概念を大学のスタジオ見学やVR体験等により体感してもらいます。映像文化と社会との関係性、テクノロジーの発達と映像表現の可能性を紐解き、映像デザインの現在を考えていきます。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 1) 映画、CMやPV、MV等、優れた映像作品を鑑賞することで、企画、構成や演出から映像デザインとしてメッセージの伝達や個性的な表現が生まれることを理解でき、適切に説明できる。 2) 映像文化と社会との関係性、テクノロジーの発達と映像デザインの関係性を理解し、適切に説明できる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「泣ける動画は何故泣けるのか？」 第2回 「CMから社会と自分を視る」 第3回 「映像文法と映画技法」 第4回 「ドキュメンタリー&モキュメンタリー」 第5回 「VR、イメージと物語を考える」 第6回 「リアルとヴァーチャルを往還する」 第7回 「光を紡ぐ、空間に配置する」 第8回 「映像収録スタジオ、ファブリケーションスタジオ見学」
科目名	映像デザイン ー映画からVRまで		【学生へのメッセージ】 映像は視覚情報として絶えず私たちと繋がっています。視るから体感するに変化してきた映像の多様性を知り、デザインするという能動的な行為は今後必要なスキルです。楽しみながら受講していただければ嬉しいです。
科目区分	総合科目		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 例えば、受講者が好きな映画、ミュージックビデオ、CM等を客観的な視点で視聴しておいてください。
ナンバリング	420		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。
担当講師	ナカムラ タカトシ 中村 隆敏 佐賀大学 芸術地域デザイン学部教授		【その他(特記事項)】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.5参照)
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月14日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀大学 (佐賀県佐賀市本庄町1) 芸術地域デザイン学部 総合研究1号館 デジタルデザイン演習室		

科目コード	2687976	授 業 概 要	【授業内容】 レオ・カナーの報告から始まった自閉スペクトラム症（自閉症）に対する捉え方と療育の展開について、心理学・教育学・社会福祉的視点から検討し、その障害を軽減し、発達を促進するために不可欠となる社会性を高める療育のあり方、および発達の視点による支援について明らかにします。なお、授業は講義形式で行います。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 自閉スペクトラム症（ASD・自閉症）に対する捉え方の変遷と支援方法の展開について理解したうえで、自閉スペクトラム症に対する理解を深め、適切な支援のあり方について説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 自閉症（自閉スペクトラム症）の最初の報告 第2回 心因論と遊戯療法 第3回 認知障害説と行動療法 第4回 受容的交流療法・感覚統合療法 第5回 生活療法（表象能力・象徴能力・観察能力・模倣能力の向上） 第6回 太田ステージ・SCERTSモデル 第7回 セルフマネジメント・サイコドラマ（心理劇） 第8回 社会適応能力を高める療育方法・まとめ
科目名	自閉スペクトラム症の 理解と支援		【学生へのメッセージ】 パワーポイントを使って講義をします。また、当日講義資料も配布します。受講した後で、授業内容を整理すると、どのようなことが大事なのかが掴めますので、講義をしっかりと聞いていただければと思います。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。
担当講師	マツヤマ イクオ 松山 郁夫 鎮西学院大学 総合社会学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月21日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

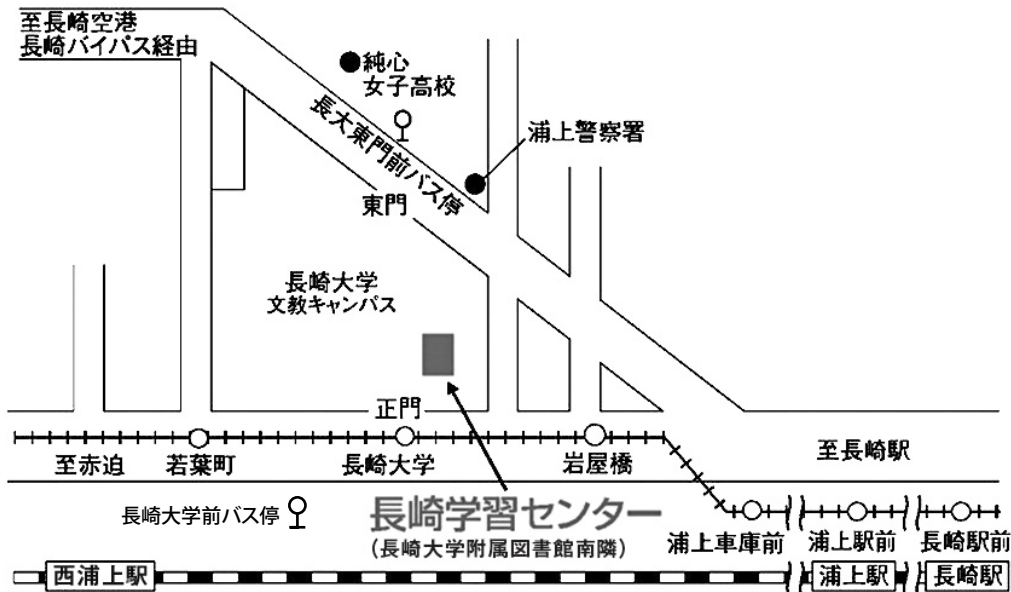
科目コード	2687941	【授業内容】 演劇の手法による身体表現について、実技を通してさまざまなアプローチを体験します。身体表現理論に基づき、場面作業やゲーム、即興、演技などの表現方法を用いながら、多様な感情に向き合い、想像力を働かせることを実践します。身体表現のトレーニングを通して、自分の思いや考えを伝える力を養い、他者とのつながりに自信を持って、より円滑にコミュニケーションがとれるようになることを目的としています。 【到達目標】 学生は、演劇的手法による表現や他者との協働を通して、自分の気持ちや考えを伝える力を養い、自信や肯定感を高めることができるようになる。多様な人と関わる中でコミュニケーション力を育み、将来に活かす力を身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 イントロダクション（諸注意など）、コミュニケーションに関してのレクチャー、アイスブレイク 第2回 アイスブレイク、チームビルディング 第3回 身体表現理論レクチャーと実践、自己身体分析 第4回 チャップリンについて、身体コメディシーン 第5回 最終課題シーンの説明、創作・練習・リハーサル 第6回 最終課題シーンの創作・練習・リハーサル 第7回 集大成として最終課題シーン発表 第8回 まとめ・振り返り 【学生へのメッセージ】 学生の皆さんは毎回違う人とグループを組み、自ら積極的に関わるのが大切です。相手は自分が思う以上に受け入れてくれます。気持ちを身体や表情、言葉でしっかり形にして伝え、伝わる喜びを味わいましょう。 【受講前の準備学習等】 参考文献の平田オリザの著書などを通じて、演劇の手法がコミュニケーション能力の育成にどのように寄与するかについて触れておいてください。具体的には、演技や身体表現を通じて他者との対話力や自己表現力を高める手法の効果を探ります。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点より行います。なお、レポートのテーマは『授業の活動を通じて表現をすることについて、感じたことや考えたことを書いてください。』です。 【受講者が当日用意するもの】 スーツやヒールは控えていただき、動きやすい服装と運動靴での参加をお願いいたします。講義資料や課題はプリントで配布します。水分補給をこまめにしてください。水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か（平田オリザ／講談社／¥968／ISBN=9784062881777） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	身体表現入門	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	210	
定員	40名	
担当講師	アオヤギ タツヤ 青柳 達也 佐賀女子短期大学 地域みらい学科准教授	
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月28日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

長崎学習センター

(コード：42A)

長崎学習センター案内図

☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
 - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
 - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約40分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に関り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業で使用する教科書は販売していません。

各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。

科目コード	2688131	【授業内容】 長崎市の鎮西大社諏訪神社（以下、諏方社と略称）において、同社に伝わる史資料をくずし字で読み解き、また同社の境内をフィールドワークすることにより、江戸時代の長崎の地に何故諏方社が勧請されたか、その謎に迫ります。具体的には、まず入門編として江戸時代長崎の名所案内記『長崎土産』に描かれた諏方社のあらましを読み、その後諏方社蔵『鎮西大社名鑑』『鎮西大社記』『諏方社草創炎焼略記』等の縁起をもとに諏方社勧請の謎を解明します。さらに、和漢の文化交流が盛んに行われていた諏方社の模様を考察し、その立役者として活躍した大宮司青木永章の伝記を明らかにします。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	くずし字で読む 諏方社の歴史	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	キラ フミアキ 吉良 史明 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	鎮西大社諏訪神社 (長崎県長崎市上西山町18番15号)	
概要	【到達目標】 この講義では、様々な資料を読み解いて、いまだ知られていない諏方社の歴史文化の一面に触れられるようになることを大目標として掲げる。そして、大目標に到達するために以下の小目標を設定する。 ①変体仮名の読解ができるようになる ②古典籍資料(和本)の取り扱いができるようになる ③読解した資料に基づき、諏方社の歴史文化の特質を主体的に検証することができるようになる	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 磯野信春『長崎土産』に描かれた諏方社をくずし字で読む 第2回 江戸時代の諏方社における異文化交流 第3回 くずし字で諏方社の縁起を読む 第4回 神功皇后伝説と諏方社 第5回 くずし字で読む諏方社大宮司青木永章の伝記 第6回 諏方社大宮司青木永章のこゝろ—江戸時代後期長崎文苑の先導者— 第7回 諏方社の境内を実地踏査する—フィールドワーカー— 第8回 講義総括—長崎と諏方信仰—	
要	【学生へのメッセージ】 この講義では、江戸時代の諏方社の魅力をくずし字で読み解きます。諏方社の魅力を存分に味わってみませんか。くずし字を読んだ経験のない方も大歓迎です！読解のための手ほどきを一から丁寧に行います。また、座学のみではなく、諏方社の境内をフィールドワークすることにより諏方社の歴史と文化を体感します。 江戸時代の史資料、また境内の文化財に触れて、その隠された魅力とともに掘り起こしてみましよう。	
	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。なお、1日目の講義日終了後は、授業中に学習したくずし字を復習して、字母とくずし方を覚え、2日目の講義に御出席ください。	
	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。	
	【受講者が当日用意するもの】 くずし字の読解にアプリを利用しても構いません。その場合、スマートフォン・タブレット等の端末をお持ちください。AIくずし字認識アプリ「みを」をインストールして、くずし字を読解できます。なお、パケット通信量に制限等がある方は、当日諏方社においてWi-Fiが使用できませんので、御注意ください。	
	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
	【参考書】 ・今と昔の長崎に遊ぶ(増崎英明/九州大学出版会/¥2,640/ISBN=9784798503103)	
	【その他(特記事項)】 本授業は諏訪神社で実施します。諏訪神社は入口から拝殿まで階段が多いため、昇降に不安のある方は事前にご確認ください。詳細は 諏訪神社公式サイト(https://www.osuwasan.jp/)をご参照ください。なお、車での乗り入れは可能です。 「学生教育研究災害傷害保険(100円)および「学生教育研究賠償責任保険(340円)」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照	

科目コード	2688140	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、デジタルメディアや情報通信技術（ICT）といった技術の活用・普及が社会にどのような影響を及ぼしているのか、また、逆に、社会や文化がデジタルメディアの活用・発展にどのような影響を及ぼしているのかについて考えていきます。さらに、実際にインターネット上で無料で提供されているリソースを閲覧・活用することで、デジタルメディア活用の可能性を体験していただきます。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	デジタルメディアと社会	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	24名	【到達目標】 本授業では、デジタルメディアが社会に与える影響を多角的に理解できるようになり、その変化を批判的に分析する力を養うことができるようになる。受講者は、メディア技術の進化、情報流通の特性、社会的・文化的影響、倫理的課題を学び、デジタル社会における主体的なメディア利用と情報リテラシーを高めることができるようになる。最終的に、デジタルメディアの役割を総合的に捉え、持続可能なメディア環境を考察できる力を身につけることができる。
担当講師	アオキ クミコ 青木 久美子 放送大学教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	【授業テーマ】 第1回 メディアの変遷とインターネット 第2回 モバイルメディア 第3回 ソーシャルメディア 第4回 ジオメディア 第5回 デジタルエコノミー 第6回 オンライン学習 第7回 デジタルメディアとプライバシー 第8回 人工知能（AI）と未来社会
授業概要		【学生へのメッセージ】 この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思います。
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して事前学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 インターネットとシステムWAKABAへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 GoogleのブラウザであるChromeをダウンロードしておいてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	長崎学習センター 講義室	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましい）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール Chromeブラウザが必要です。 4. その他 最新のものにアップデートしておいてください。 放送大学のシステムにログインするためのパスワードをご用意ください。
		【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。
		【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2679256	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間で、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
定員	20名	
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	【授業テーマ】 第1回 講義：心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験：「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験：「ストループ効果」 第5回 講義：実験の立案について 第6回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめ
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	長崎学習センター 講義室	【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっとも正しいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。
		【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 ・統計学の基礎知識（t検定・有意水準・帰無仮説など）と表計算ソフトの操作（データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど）を学んでおいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・システムWAKABAのログインIDやパスワードを再確認しておいてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはmacOSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZR（Easy R）で誰でも簡単統計解析（神田 善伸／南江堂／¥4,180／ISBN=9784524261581） 無料で使える統計ソフトのマニュアル本です。
		【その他（特記事項）】 ・色識別を要する実験課題があります。 ・心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2688115		【授業内容】 1858年（安政5年）の開港で長崎は貿易港としての独占的地位を失います。しかし、町は衰退することなく石炭・造船などの近代産業が興り、都市基盤も急速に整備されていきます。そのこともあり、第1回国勢調査がおこなわれた1920年時点で長崎は九州で最大の人口を誇る都市となりました。この講義では主として明治期における長崎の諸産業の発展を解説します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	明治期における 長崎経済		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320	授 業	【到達目標】 ①明治期における長崎の経済発展について、その特色を説明することができる。 ②明治期における長崎の経済発展が日本経済に及ぼした影響を説明することができる。
定員	60名		【授業テーマ】 第1回 江戸時代の長崎と明治時代の長崎 第2回 市街地形成と都市生活基盤の整備 第3回 港湾改良事業 第4回 鉄道敷設 第5回 石炭産業 第6回 造船業 第7回 近代的水産業 第8回 長崎の近代的経済成長の意義
担当講師	ミナモリ シゲタ 南 森 茂 太 長崎大学 人文社会科学域 (経済学系)准教授	概 要	【受講前の準備学習等】 高等学校の日本史の教科書で幕末・明治時代について復習しておいてください。 参考文献に挙げた図書を読んでください。
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	長崎学習センター 講義室		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・今と昔の長崎に遊ぶ（増崎英明 著／長崎大学地域文化研究会 著／九州大学出版会／¥2,640／ISBN=9784798503103） ・グラバー家の人々（ブライアン・バークガフニ 著／長崎文献社／¥1,980／ISBN=9784888511728） ・リンガー家秘録 1868-1940（ブライアン・バークガフニ 著／長崎文献社／¥2,640／ISBN=9784888512152） ・松田源五郎（藤本健太郎 著／長崎文献社／¥1,980／ISBN=9784888513692） ・岩崎彌太郎：「会社」の創造（伊井直行 著／講談社／¥924／ISBN=9784062880510）

科目コード	2688085	授 業 概 要
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	クラシック音楽、 アナザースカイ	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	36名	
担当講師	ホリウチ イブキ 堀内 伊吹 長崎大学名誉教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎大学 長崎創楽堂 (長崎市文教町1-14)	
【授業内容】 現代にいたるまでのおよそ300年間に作られてきたクラシック音楽。世界中のオーケストラが、そしてベテランから若手のアーティストたちが、世界の劇場で今日も精魂込めて演奏し続けるクラシック音楽。その魅力について、少し視点を変えて探ってみようと思います。 キーワードは、「名演(迷演)、対旋律、幕間の音楽、映像と音楽、新たなアレンジ、作曲家の癖、器楽の曲に歌詞をつける」です。ちょっとだけ視点を変えて、楽曲を聴いてみると、思わぬ発見があったりするものです。さあ一緒に、音楽アナザースカイの旅に出かけてみませんか。		
【到達目標】 常日頃親しんでいるクラシック音楽について、異なる視点から、例えば映像と音楽、演奏者による解釈の違い、原曲とアレンジされた作品を比較する等、作品の魅力について、独自の観点で鑑賞、そして説明することができる。		
【授業テーマ】 第1回 同じ曲なのにこんなにも違う演奏スタイル、名演(迷演)聞き比べ 第2回 脇役に光を！メロディー以外(主に対旋律)に耳を傾けてみる 第3回 幕間の音楽、「序曲」「前奏曲」「間奏曲」。その魅力に迫る 第4回 クラシックとジャズはなぜ相性が良いか？アレンジを楽しむ 第5回 クラシック、映像と出会う。映画、ドラマそしてCMの音楽たち 第6回 作曲家の個性(癖)を楽しむ。いかにも〇〇らしいフレーズとは？ 第7回 器楽曲に歌詞をつけて演奏。これは邪道か、作品の変容か？ 第8回 まとめとピアノによるアナザースカイ・コンサート		
【学生へのメッセージ】 普段聴いている音楽で、お気に入りの曲があったら、それをメモしておいてください。授業中に発表していただきます。		
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 普段何気なく見ているドラマやCM、その中でどんな音楽が流れているか、少しだけ気にかけてみてください。もちろんオリジナルのテーマ曲や、挿入曲もありますが、クラシック音楽のみならず、様々なジャンルの音楽が効果的に使われているのが分かります。発見したら、メモをしておいてください。授業がより面白く受講できると思います。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。また、会場の椅子が固いので、必要な人は座布団等を持参してください。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 会場の椅子が固いので、必要な人は座布団等を持参してください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照。		

科目コード	2688093	授 業 概 要	【授業内容】 口の中（口腔）の状態は全身の状態に大きく影響することが明らかとなっ てきています。特に歯周病による感染や歯が欠損したまま放置しておく と全身に大きな問題を引き起こすことがあります。また、噛み合わせも 体にいろいろな影響を及ぼします。 本授業では口腔や歯科治療に関する知識を整理し、口腔環境が全身に 及ぼす影響に関して理解し、そうならないための対処を学修します。
学習センター(コード)	42A		【到達目標】 以下のことを理解し、口腔の問題を改善するための治療法や、自己管理 の方法を説明できる。 ・口腔の基本的構造や機能 ・口腔の状態は全身に影響を及ぼすので、口腔環境を整えることが健康 のためには重要性である ・一般的な歯科治療の流れ ・歯周病、インプラントや矯正治療の注意点
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 口腔について（鵜飼） 第2回 むし歯の治療（鵜飼） 第3回 入れ歯、インプラント治療（黒木） 第4回 咀嚼・嚥下に関して（黒木） 第5回 矯正治療に関して（吉松） 第6回 口腔状態と全身の病気の関連1（鵜飼） 第7回 口腔状態と全身の病気の関連2、歯周病治療（鵜飼） 第8回 口腔管理の方法（鵜飼）
科目名	全身に影響する口腔と 歯科治療		【学生へのメッセージ】 歯周病、インプラント、矯正治療に関しての予備知識を入れておいて ください。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し自己学習をお願いします。特に歯周病、イン プラントや矯正治療に関しての自己学習をお願いします。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	60名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具以外特にありません
担当講師	ウカイ タカン 鵜飼 孝 長崎大学病院 口腔管理センター教授 クロギ タダフミ 黒木 唯文 長崎大学病院 口腔管理センター講師 ヨシマツ マサコ 吉松 昌子 長崎大学病院 口腔管理センター助教		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2679264	【授業内容】 心理検査の基礎理論を概論的に学ぶとともに、人格検査領域の代表的な心理検査を取り上げ、心理検査とはどのようなものか、その理論的背景を理解した上で基本的な知識を習得し、いくつかの検査を実際に体験的に実施することで実施法と結果の解釈を身に付け、理解を深めることを目的としています。また、その結果を通して、自己理解及び他者理解に役立てることをめざします。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習のそれぞれについてレポートの提出が必要になります。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	<small>ホソノ ヤスフミ</small> 細野 康文 長崎純心大学 人文学部准教授	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	長崎学習センター 講義室	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 心理検査とは：標準化、信頼性と妥当性、代表的な心理検査 第2回 心理検査の実施：検査倫理、テストバッテリーとレポートの書き方 第3回 心理検査の実習：PHRFストレスチェックリスト・ショートフォーム（今津、2006）心理測定尺度集VIより 第4回 心理検査の実習：Y-G性格検査 第5回 心理検査の実習：バウムテスト 実施編 第6回 心理検査の実習：バウムテスト 解釈編 第7回 模擬事例からみる心理検査の活用（WISC等） 第8回 心理検査のまとめ	
	【学生へのメッセージ】 心理検査は、信頼性と妥当性に裏付けられた科学的ツールであり倫理的配慮も求められます。真摯に、誠実な態度で主体的に臨んでいただけることを期待します。	
	【受講前の準備学習等】 ・パソコンの持参は任意です。本講義では受講者自身のパソコンを持参して、レポート作成やインターネット検索を行っていただいても構いません。パソコンを持参してのレポート作成の場合は、メールでの提出となりますので、キャンパスメールが使用できるようにしてください。なお、パソコンを持参しインターネット検索をされる方は、事前に学習センターでの無線LAN利用について、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。その他、OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。	
	【成績評価の方法】 授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価を行います。 特に、レポートの評価については、3つの実習課題（心理検査）ごとに小レポートを課します。その上で、その小レポート3本を踏まえた最終レポートが課されます。合計4つのレポートがそろわないと評価ができません。小レポートは、その実習課題ごとにその場で作成することが求められます。	
	【受講者が当日用意するもの】 ・実習のある回ではHBから2Bの鉛筆が1本あると望ましいです。 ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。	
	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
	【参考書】 ・心理検査の実施の初歩（心理学基礎演習Vol.5）（願興寺礼子・吉住隆弘編／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779503870）	
	【その他（特記事項）】 パソコン等を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2679019	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。学習センターにご自身のパソコンを持参して、その操作方法とともに、放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイトの閲覧方法、学生用電子メールの送受信方法、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法、附属図書館の電子情報サービスによる情報収集方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストの閲覧と動画の視聴、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート課題ファイルの提出を体験します。 【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめ振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出） 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティーガイドラインを読んで理解しましょう。自分用パソコン等を使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、受講内容を復習してください。 ・システムWAKABAのログインやパスワードを再確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windows11が必要です。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 配付資料をPDF形式ファイルで提供しますので、Adobe Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4. その他 ・Microsoft Office 2016以降またはMicrosoft 365のWordを対象とします。 ・マウス ・USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） ・学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。 ・イヤホン 【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学） 授業当日に配付します。 【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学） PDFダウンロード方法は授業で説明いたします。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済の方は登録できません。 ・『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	24名	
担当講師	フジムラ マコト 藤村 誠 長崎大学 総合生産科学域 (情報データ科学系)准教授	
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
授業概要		
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2688042	授 業 概 要	【授業内容】 このコースは、初心者から中級レベルの英語学習者の言語スキルを向上させることを目的とし、多様な文化テーマに関する講義とディスカッションを通じて実施されます。話す、聞く、読む、語彙のスキルを向上させる一方で、学生は言語、文化、アイデンティティの多様な側面を探求していきます。
学習センター(コード)	42A		【到達目標】 この講義で行う講義、小グループでのディスカッション、およびミニ問題解決演習を通じて、学生は次のことができるようになる。 ・言語、文化、社会とのつながりを理解し、英語と日本語のコミュニケーションの違いを説明する。 ・言語がアイデンティティ、性別、ユーモア、タブー、および社会の他の重要な側面とどのように関連しているかを説明する。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 Course and Self-Introductions 第2回 Language, Culture, and Society 1 第3回 Language, Culture, and Society 2 第4回 Language and Identity 1 第5回 Language and Politeness 第6回 Language and Metaphors 第7回 Language and Identity 2 第8回 Identity Presentations and Course Review
科目名	言語、文化、 アイデンティティ		【学生へのメッセージ】 この授業は英語力の向上だけでなく、興味深く楽しい教室環境の中で異文化を学ぶことを目的としています。英語でのコミュニケーションに自信のない方もお気軽にご参加ください。
科目区分	基盤科目：外国語		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業テーマに関連する資料(写真、雑誌、本など)、またはパソコン、タブレット、スマートフォンなどを授業に持参してください。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
ナンバリング	120		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	60名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ダッツマン プライアン ダッツマン プライアン 長崎大学 言語教育研究センター助教		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688050	【授業内容】 本講義は、高齢社会における高齢者支援の重要性を理解し、実践的な知識と対応力を身につけることを目的としています。8回にわたる授業では、高齢者の心身の変化、認知症、虐待、介護者支援、多職種連携、関連制度などを幅広く学びます。視聴覚教材や事例を活用し、グループワークやディスカッション、発表を通じて理解を深めます。 【到達目標】 ・高齢化社会の現状と課題を理解し、社会全体での支援の必要性を説明できる。 ・高齢者の心身の特性や認知症に関する基礎的な知識を修得し、適切な理解と対応ができる。 ・高齢者虐待予防や介護者支援の重要性を理解し、支援の視点から事例を考察できる。 ・地域包括ケアや多職種連携の仕組みを理解し、説明することができる。 ・学んだ知識をもとに、自らの立場で高齢者支援にどのように関わらべきかを言語化し、発表・共有できる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーションと高齢社会の現状 第2回 高齢者の心身の変化と理解 第3回 認知症の理解と支援 第4回 高齢者虐待の現状と対応 第5回 家族支援と介護者の負担 第6回 地域包括ケアシステムと多職種連携 第7回 高齢者支援プレゼンテーション 第8回 まとめと振り返り 【学生へのメッセージ】 私は普段、高齢者看護の教育に携わっております。 本講義では、皆さんが生きる中で感じる「老い」について考え、明確な答えのない支援について、皆さんと共に学び合える時間にできればと考えております。 講義内では適宜、学生間でのディスカッションや視聴覚教材による学習を行います。 【受講前の準備学習等】 授業内容を確認し、取り扱うテーマについて図書や文献、インターネット等を使って調べてください。また、授業で学修した内容を資料等で復習し、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 必須ではありませんが、お持ちの方はスマートフォンまたはタブレットをご準備ください。授業中にQRコードを用いた回答を行う場面があり、インターネット接続が必要となる場合があります。ただし、端末をお持ちでない方も受講には支障ありません。パケット通信量に制限のある方や通信環境が整っていない方は、学習センターで提供されている無線LANをご利用ください。接続方法については、システムWAKABA学内リンクの「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 端末等を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	高齢社会の問題 について考える	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	210	
定員	60名	
担当講師	ヨシダ コウジ 吉田 浩二 長崎大学 生命医科学域 (保健学系)准教授	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2688158	授 業 概 要	【授業内容】 私の身の回りにある物は、化学反応で作られたものが大半を占めます。その多くは、無機材料と有機材料に分けることができます。この講義では、無機材料に焦点をあて、無機材料の構造と機能について学修します。化学物質は元素から構成されていますが、その集まり方によって、構造や機能が変化します。それらを体系的に学修したあと、機能や応用例について紹介します。身の回りにあるいろいろな材料がどこに使われ、どのように働いているのか、その謎に迫ります。 【到達目標】 化学結合について理解し、種類や違いについて説明できる。無機材料と有機材料の違いを理解し、説明できる。無機材料の特徴を理解し、利用方法について説明できる。 【授業テーマ】 第1回 原子と分子の構造について 第2回 化学結合の仕組み 第3回 固体の構造と電子の構造 第4回 無機材料と有機材料の違い 第5回 金属とそのはたらき 第6回 セラミックスとそのはたらき 第7回 触媒とそのはたらき 第8回 無機材料をつくる 【学生へのメッセージ】 身の回りの無機材料について、その仕組みや働きについて学修します。高校の化学の知識が必要です。事前に勉強しておいてください。 【受講前の準備学習等】 高校の化学の教科書などで、事前に化学の基礎を学修しておいてください。教科書がない場合は、Webで事前に用語を調べるなどの事前学修をしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具などが必要です。講義中に用語を調べたい場合は、スマートフォンやタブレット、ノートパソコンなどを持参しても構いません。ただし、端末の持込は必須ではありません。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターでの無線LANの利用についてはシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	無機材料の構造と機能		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	60名		
担当講師	タナベ シュウジ 田邊 秀二 長崎大学 大学教育イノベーション センター教授		
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688123	授 業 概 要	【授業内容】 民法は「法的権利や義務の主体となるのは誰か」や「どの範囲の人が法的に親戚となるのか」等、日常生活に大変関わる法律です。条文は1050条もあり、独学で勉強することは難しい上、条文自体も簡潔に書かれているものが多く、条文を読んだだけでは具体的な内容の理解が難しい場合も多くあります。 そこで、今回は、民法領域において裁判で論点となり、裁判所が出した判断、それに関連する学説も併せて、解説することとしました。民法の内容をより深く学習することが出来ると思います。 【到達目標】 ・民法の枠組みを理解することができる。 ・民法の条文のどの部分がどのような理由により論点となっているかを理解し、判例・学説の解釈を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 民法総則(1) 第2回 民法総則(2) 第3回 物権 第4回 債権(1) 第5回 債権(2) 第6回 親族(1) 第7回 親族(2) 第8回 相続 【学生へのメッセージ】 民法は日常生活に直結する法律であり、知っておけば、大変役に立ちます。通常、判例研究は中級程度ですが、初心者にも分かるように詳しく説明します。一緒に社会のルールを学んでみませんか。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	民法判例研究		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	イケヤ カズコ 池谷 和子 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授		
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688107	授 業 概 要	【授業内容】 一口に微生物と言っても細菌やウイルス、真菌など、様々な種類が存在しています。これらの微生物は基本的な構造や食べ物、増え方などが私たちの細胞と大きく異なります。これらの特徴を正しく把握することは、感染症やその治療法の理解につながります。また、微生物は医療や食品、環境など様々な領域で役立っています。さらに、皆様の体の中や身の回りにも多種・多様な多くの微生物が存在して、それぞれ大切な役割を果たしています。その世界の一端を覗いてみてください。
学習センター(コード)	42A		【到達目標】 微生物とは何か説明できる。 微生物に特徴的な構造とその役割について説明できる。 微生物が何を食べてどのように増えるのか説明できる。 微生物が関与する病気とその制御方法を説明できる。 食品生産やバイオテクノロジーにおける微生物の利用例を挙げるができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 微生物の世界 第2回 微生物と私たちの細胞の違い 第3回 微生物の食べ物と増え方 第4回 細菌だけの情報源 第5回 微生物と病気 第6回 微生物だけを取り除く方法 第7回 微生物の活躍の場 第8回 まとめ
科目名	微生物学の基礎知識		【学生へのメッセージ】 一方的な講義ではなく、受講生のグループワークを積極的に取り入れます。グループワークには事前学習が必要なので、シラバスの内容を見て、インターネットなどで下調べをしてください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、インターネットなどで関連する事項を調べておいてください。 授業で学修した内容をもとに自ら問題点を抽出して解決する努力を続けてください。
ナンバリング	310		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	25名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具は必ずご持参ください。また、必ずしも必要ではありませんが、必要と思われる方はスマートフォン等の端末を持参してインターネット検索しても構いません。なお、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
担当講師	イシイ ヨシカズ 石井 良和 広島大学 IDEC 国際連携機構 PHIS 特任教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688069	【授業内容】 私は2025年に放送大学へ着任するまで、研究所を中心に活動し30年以上にわたって脳科学研究をしてきました。ほぼ、同じ年月を精神科医としても働いてきました。本講義では私のこうした履歴を生かして、脳科学と臨床医学をむすぶような視点から、心とはなにか、病とはどういうことかを論じてみたいと思います。心に脳が深くかかわることは間違いありませんが、脳はあくまで心の一部でしかありません。尊厳や自尊心という神経細胞もたんぱく質もありません。人が健やかに過ごすには物語を生きる必要があることを、具体的な例を示してお話ししたいと思います。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	メンタルヘルスの脳科学	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	210	
定員	60名	
担当講師	イトカワ マサナリ 糸川 昌成 放送大学教授	
日程実施時間	2026年7月4日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年7月5日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	
		【到達目標】 脳科学の基礎知識を臨床医学の事例と関連付けて説明できる。脳と心の関係について、具体例を挙げて考察し、日々の学習や生活に役立つ脳科学に基づいた実践法を立案できる。自身が健やかであるために、脳科学の知識を活用した生活の工夫が立案できる。
		【授業テーマ】 第1回 統合失調症の脳科学研究とは 第2回 脳と心の旅路 第3回 内科の病気と精神科の病気はどこが違うのか 第4回 心はどこまで脳なのだろうか 第5回 脳科学からみた心の健康とは 第6回 記憶と発語の脳科学 第7回 倫理的ふるまいとは 第8回 精神療法とはどのようなことか
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、参考になりそうな資料をあたって事前学習を行ってください。また、事後学習として授業で学習した内容は不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【教科書】 教科書は使用しません。
		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

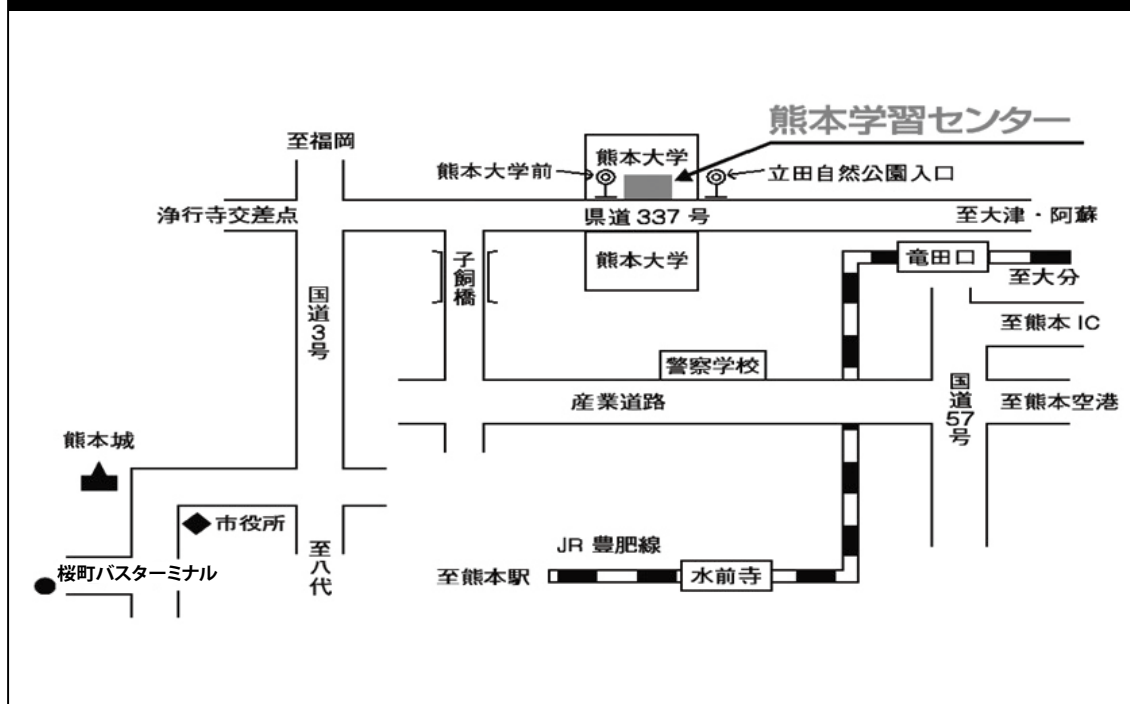
科目コード	2688077	【授業内容】 日常生活での「心理」は「知・情・意」の「情」、つまり感情状態ととらえられることが多いですが、「知」も心の重要な要素です。認識や知識といった知の側面にスポットを当てた認知心理学について考えていきましょう。理解を深めるために、さまざまな映像を視聴し解説していきます。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	映像で学ぶ認知心理学入門	
科目区分	導入科目：心理と教育	
ナンバリング	210	
定員	60名	
担当講師	カク ヒデトシ 加来 秀俊 活水女子大学名誉教授	
日程実施時間	2026年7月4日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年7月5日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	
		【到達目標】 認知心理学についての理解を深め、日常生活の出来事を心理学的に考えることができるようになる。
		【授業テーマ】 第1回 認知心理学とは 第2回 知覚の基礎 第3回 視知覚の不思議 第4回 表情の認知 第5回 記憶の心理 第6回 言葉、文字、数字 第7回 思考の心理 第8回 映画と心理学
		【学生へのメッセージ】 日頃あまり気に留めないことがらも、注意深く観察したりいま一度じっくり考えてみたりすると、新しいものが見えてくることもあるかもしれません。映像を参考にしながら、人間の知的な活動について興味をもち認知心理学について考えてみましょう。
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

熊本学習センター

(コード：43A)

熊本学習センター案内図

☎096-341-0860



【所在地】〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2F)

【交通アクセス】

路線等は変更する場合がございますので、各社ウェブサイトを必ずご確認ください。

- (1) JR熊本駅→九州産交バス等: 2番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約30分
 - (2) 桜町バスターミナル→九州産交バス等: 16番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約20分
- 「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車 徒歩2分

- (3) 熊本学習センターに専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
ただし、熊本大学黒髪北キャンパス駐車場を1日1,000円でご利用いただけます。

【その他連絡事項】

- ・自然災害等の影響で授業の実施について変更が生じた場合は、熊本学習センターウェブサイトにて、最新情報を掲載いたしますのでご確認ください。
- ・ホテルの手配や予約状況に関するお問い合わせには対応いたしかねます。各自お早目のご予約をお願いいたします。(熊本学習センターウェブサイトにて近隣情報を掲載していますのでそちらを参考にしてください。)
- ・昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には熊本大学黒髪北キャンパス学生食堂(日曜定休、その他臨時休業あり)の他、近隣にコンビニエンスストアもございます。
- ・講義中は学生証を携帯してください。

科目コード	2688212	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では、解決志向アプローチ（Solution-Focused Approach：SFA）を、初学者にもわかりやすく学びます。SFAは問題の原因よりも、うまくいくきっかけやその人の持つ強さ（リソース）に注目するカウンセリングアプローチです。授業では、座学はもちろんのこと、ペアやグループワークなど体験を通して学び、理解を深めます。代表的な質問技法だけでなく、解決志向アプローチの考え方やものの捉え方を学ぶことで、講義後に自他や様々なことに対して、少し前向きに感じられるようになることを目標にします。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 講義を通し、解決志向アプローチの基本的な考え方と主要技法を理解し、リソースや肯定的な資質を考えられるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 解決志向アプローチとは 第2回 解決志向アプローチの面接の流れ 第3回 リソースやストレングスについて 第4回 様々な質問技法について 第5回 コンプリメントと介入 第6回 解決志向アプローチのメガネ 第7回 解決志向アプローチの実際 第8回 講義の振り返り
科目名	やさしく学ぶ 解決志向アプローチ		【学生へのメッセージ】 本講義では、座学以外に個人やペア、グループでのワークも行います。それらの話し合いや活動が苦手な方もいらっしゃるかもしれませんが。苦手な方は自分のペースで、得意な方は上手にサポートをしていただければ幸いです。ほんのちょっとした気配りで、相互の学びをより深めることにつながると思います。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ハシグチ マサヒト 橋口 真人 東海大学九州キャンパス 学生総合支援室		【参考書】 ・＜森・黒沢のワークショップで学ぶ＞解決志向ブリーフセラピー（森俊夫、黒沢幸子／ほんの森出版／¥1,980／ISBN=9784938874278）
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2688271	授 業 概 要	【授業内容】 底知れぬ深淵の海、たぎりたつ熱水噴出域、広大な海の砂漠－外洋域、凍てつく氷の海、貧酸素水塊や有害物質の蓄積した海底、人にとっては身近だが水棲生物にとっては過酷な環境である潮間帯・・・様々な極限環境に生息する生き物たち（主に水棲）の多様性や生態について紹介します。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 深海や熱水噴出域など、主として水域における様々な極限環境の特徴と、そこに生息する生物の生理・生態・多様性などを理解し、説明することができる。これらの知見を元に、人間にとって「快適な環境」が、他の生物にとっては生息が困難な「極限環境」になりうることも考察し、具体的に説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 深海Ⅰ（深海の定義と生物の生態） 第2回 深海Ⅱ（熱水噴出域と熱水域固有生物） 第3回 外洋－広大な海の砂漠 第4回 閉鎖性海域と貧酸素水塊 第5回 凍てつく海－北極・南極 第6回 水と陸の狭間－潮だまり、苔など 第7回 寄生vs宿主－性の進化 第8回 水平線の彼方には何が待っているのか？ （演者による実際の調査の体験談の紹介）
科目名	極限環境と水棲生物		【学生へのメッセージ】 講義では、各テーマに沿ったDVDなどを鑑賞する予定です。場合によっては講義中に生物標本などをお見せします。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具とメモ帳を用意してください。なお講義中のスライドなどの撮影はご遠慮ください。
担当講師	シマナガ モトヒロ 嶋 永 元 裕 熊本大学 くまもと水循環・減災研究 教育センター教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【その他（特記事項）】 貴重な標本には、こちらが指示しない限り触らないようにお願いします。
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2688174	授 業 概 要	【授業内容】 ドイツ語初心者、またはゼロから始めたい方のための授業です。発音を練習し、基礎的な文法を習います。現在のドイツ語圏の社会、経済や政治などの問題をテーマとしたリーディングに挑戦します。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 学生はドイツ語の発音を学び、文法と言語の基本的な仕組みを理解する。学生が現代ドイツ語圏の社会、政治や経済などの課題を知り、批判的思考に基づいた文化比較をできるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 ドイツ語圏の地理 第2回 家族の形 第3回 お金は天下の回り物 第4回 移民と難民 第5回 進展する少子高齢化 第6回 「スイスに死す」 第7回 クリーンエネルギーと持続性の話 第8回 戦争と平和
科目名	現在のドイツ語圏 を見る		【学生へのメッセージ】 各テーマの枠内、発音の練習と文法の説明を行います。
科目区分	基盤科目：外国語		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、現在のドイツ語圏の事情について情報を収集しておくことに努めてください。
ナンバリング	120		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	コイケ ウルスラ ヘレナ 小池 ウルスラ ヘレナ 熊本大学大学院 人文社会科学部教授		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2679183	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における実験的研究を3つ（ミュラー・リヤーの錯視、ワーキングメモリ、心理尺度）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	テラモト ワタル 寺本 渉 熊本大学大学院 人文社会科学研究部教授	
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	
授業概要	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス（心理学実験とは） 第2回 実験1 ミュラー・リヤー錯視実験の実施 第3回 実験1 ミュラー・リヤー錯視実験の結果の整理 第4回 レポートのまとめ方 第5回 実験2 ワーキングメモリ実験の実施 第6回 実験2 ワーキングメモリ実験の結果の整理 第7回 実験3 心理尺度実験の実施 第8回 実験3 心理尺度実験の結果の整理 【学生へのメッセージ】 心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 インターネットに接続できるノートパソコンを持参してください。インターネット接続に関しては「授業前の準備学習等」も参考にしてください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・電子媒体でレポート提出してもらいます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2688220	【授業内容】 この授業では、水を介した人と人との関係に焦点をあてて、日本と世界の水の問題を解説します。また、人間社会の側から環境の課題を考える視点についても紹介します。 【到達目標】 人々の生活場面を通して水に関する問題を発見し、適切に判断する力を養う。具体的には、水を媒介とした人間関係の変化や、水と人との疎遠化がもたらす問題について、その内容および構造的背景を説明できるようになることを目指す。また、博物館での実習を通じて、一見水と無関係に見える事象が実は水と深く関わっていることを理解する。到達目標は、これらの授業内容を自らの言葉で的確に説明できるようになることである。 【授業テーマ】 第1回 日本と世界の水の環境問題 第2回 アジア途上国の水問題の諸相 第3回 流域社会の現在 第4回 「上流」社会の課題 第5回 博物館で学ぶ水と人との関係（1） 第6回 博物館で学ぶ水と人との関係（2） 第7回 熊本の水から世界の水問題を考える 第8回 水との関係は環境について何を教えるか 【学生へのメッセージ】 この授業では、水と人との関係について学びながら、最終的に人にとって環境とは何かを理解する授業です。内容としては、環境社会学の入門となります。 【受講前の準備学習等】 余裕があれば、『入門・環境社会学 現代的課題との関わりで』（牧野厚史・藤村美穂・川田美紀、学文社、2024）を眺めてみてください。イメージがつかめると幸いです。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具を持参ください。 2日目は徒歩移動を伴いますので、歩きやすい服装、靴、帽子等着用してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 授業はパワーポイントとプリントで進めます。 2日目の授業は、熊本博物館を見学します。 詳細については後日、受講生に案内を送付します。（別途博物館入場料300円が必要です。） この授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	水の社会学	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	マキノ アツシ 牧野 厚史 熊本大学大学院 人文社会科学部教授	
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1 および 熊本博物館 (2日目1・2限) (熊本市中央区古京町3-2)	

科目コード	2688239	授 業 概 要	<p>【授業内容】 本授業では、私たちの日常生活に関わる事柄を定めている「民法」という法律について、契約を中心に解説します。具体的には、まず①民法とはどのような法律かという仕組みを概観した上で、②契約の流れ、③誰が契約できるのか、④契約の効果がなくなるのはどのようなときか、ということを行います。その後、代表的な契約として売買、賃貸借、雇用・請負契約についてそれぞれ学び、契約を通じて私たちが権利と義務を取得する場面について考えます。最後に、消費者問題に関する法律を紹介します。</p> <p>【到達目標】 契約に関わる民法の規定について、条文を参照しながら、具体例を挙げて説明することができる。また、日常生活における契約上の紛争について、法的知識を踏まえて論理的に思考し、解決策を説明することができるようになる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 民法の構造 第2回 契約の成立・終了 第3回 契約の主体 第4回 契約の無効と取消し 第5回 売買契約 第6回 賃貸借契約 第7回 役務提供型契約 第8回 消費者契約法、まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 法律は抽象的に規定されていることから、具体例を挙げて分かりやすく説明します。初めて法律を学ぶ方も遠慮なく受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業中、民法の条文が確認できるようにしてください。 ●方法1：書籍の六法をご準備いただく→例えば『ポケット六法』（有斐閣）、『デイリー六法』（三省堂）など、どの出版社のものでもかまいません。ただし、法律は改正されて内容が変わるので、可能であれば最新である【令和8年版】、そうでなくても【令和5年版】以降の新しい書籍をご準備ください。 ●方法2：スマートフォンやタブレット等で条文を確認いただく→事前にインターネットサイトをご確認ください(例：サイト「e-Gov法令検索」)。インターネットを利用する場合、最新の条文を確認できます。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・契約法入門－を兼ねた民法案内（窪田充見／弘文堂／¥2,530／ISBN=9784335359033) 事前学習の一例として、初めて民法を学ぶ方でも読みやすい参考書です。関心のある方はご一読ください。なお、授業で利用することはないため、購入する必要はありません。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	契約からみる民法		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	ハマダ エミ 濱田 絵美 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授		
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2688280	授 業 概 要	【授業内容】 「小学校は計算」「中学校は文字式・平面図形の論証」「高校は科学を学ぶ基礎科目」と積み重ねてきたと思います。本講義は「数学の面白さ」を伝えるのが目的です。「現代数学とは何か」を理解することが目標です。「大学数学」の見地から数学を学び直し、現代数学の手ほどきをします。講師の専門は「代数」です。「代数的なもの見方」を通して、数学を伝えたいと思います。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 受講者の到達目標は、大学数学のいくつかの話題に対して、きちんと自分の言葉で説明することである。具体的には、「実数とは何か、有理数と無理数の違いを説明できること」「無限集合についての理解を持つこと」「倍数・約数を説明でき、合同式を理解すること」「オイラーの多面体定理を説明できること」「作図問題を代数的にとらえること」を到達目標とする。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 整数・有理数・実数 -0.9999...とは何か、n進数 第2回 集合論入門 -現代集合論に迫る 第3回 合同式と初等整数論 -フェルマーの小定理 第4回 剰余類と中国の剰余定理 -「剰余類」から中国文明の定理へ 第5回 オイラーの多面体定理 -オイラーの業績からプラトン多面体へ 第6回 正多面体群 -正8面体を8色で塗ると何通り? 中間まとめと質疑応答 第7回 作図と正多角形 -正5・6角形は作図可能だが、正7角形は不可能 第8回 ユークリッドの互除法 -有理化のしくみと連分数 総まとめと質疑応答
科目名	数学と文化		【学生へのメッセージ】 「数学のファン獲得」が講師の目標です。大学数学の一端に触れて、現代数学の考え方を話します。各講義は、積み重ねでなく、1・2回の読み切りとして組み立てています。質疑応答などを通して、興味を持つ分野を作っていたかとありがたいです。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 高等学校1、2年生の数学の知識があることが望ましいです。講義は「その場で理解する」ことをモットーにしています。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具・ノート
担当講師	ミヤザキ チカシ 宮崎 誓 熊本大学名誉教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2688247	授 業 概 要	【授業内容】 皆さんの身の周りに、「この問題、何とかならないかな」という社会課題、いろいろありませんか。ニュースでは聞くものの、当事者としてどう動けばいいのかわからない。そういうことが多くないですか。この授業では、持続可能な社会を共創するために、グローバルないし地域の社会課題を自ら発見するとともに、それらを解くべき課題として再設定し、周りを巻き込みながら解決していく考え方への理解を深めるのを目的とし、地域が抱える社会課題を事例に、グループで考え、議論し、人をまとめていくやり方を学んでいただきたいと思ひます。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 持続可能な社会を共創するために、グローバルないし地域の社会課題を自ら発見するとともに、それらを解くべき課題として再設定し、周りを巻き込みながら解決していく思考法について理解し、社会課題を当事者として考え、行動できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 ロジカルシンキングとアートシンキングの考え方と使い方 第2回 少子高齢化問題 概要 第3回 少子高齢化問題 グループワークとディスカッション 第4回 地域経済・社会の持続可能性問題 概要 第5回 地域経済・社会の持続可能性問題 グループワークとディスカッション 第6回 地域の国際化と多文化共生問題 概要 第7回 地域の国際化と多文化共生問題 グループワークとディスカッション 第8回 まとめ
科目名	社会課題解決学入門		【学生へのメッセージ】 グループワークのやり方については、安斎勇樹・塩瀬孝行『問いのデザイン』学芸出版社を読んでみることをお勧めします。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 グループワークの素材として使うので、テレビや新聞、ネットで、自分が気になる社会課題に関する記事を5つ選んできてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 グループワークとディスカッションへの取組み状況で評価します。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記具とスマホを持参してください。
担当講師	ミズモト トヨフミ 水元 豊文 熊本大学理事・副学長		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2688298	【授業内容】 我々ヒトなどの真核生物では、生命の設計図である遺伝子は体を構成する細胞の核内に存在しています。この面接授業では、細胞と遺伝子（化学的自体はDNAです）、さらには遺伝子が働く際に遺伝情報を伝えるRNAを対象とした実験を行い、生命科学への理解を深めます。実験の前半では、自分の口内上皮細胞を採取し1人1台の顕微鏡を使用して細胞や核を観察します。さらに細胞核からDNAを抽出し自身のアルコール代謝遺伝子についてPCR法を用いて解析します（個人情報保護下で実施）。後半の実験では、パンやお酒造りなどで使用される酵母を実験材料に用い、酵母細胞の観察、発酵に関わる遺伝子の働きとRNAの関連について解析し結果を考察します。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	分子生物学実験：DNAの解析2	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	タニ トキオ 谷 時 雄 熊本大学名誉教授	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	【到達目標】 ・細胞の構造について説明できるようになる。 ・DNAやRNAの細胞内での役割について理解し説明できるようになる。 ・PCR法の原理を理解し、医療や社会での応用について説明できるようになる。 ・生命科学実験の基礎的操作ができるようになる。
実施会場	熊本学習センター 大講義室 および 熊本大学理学部1号館 2階生物実習室 (熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)	【授業テーマ】 第1回 (講義) ①今回の実験の概要と原理 ②細胞、DNA、RNAについて 第2回 (実験) 口内上皮細胞の採取と顕微鏡観察及びDNA抽出 第3回 (実験) PCR法によるアルコール代謝遺伝子の増幅実験 第4回 (実験) アクリルアミドゲル電気泳動による増幅DNAの解析 第5回 (実験) 酵母細胞の顕微鏡観察とRNA抽出 第6回 (実験) 酵母RNAのRT-PCR実験 第7回 (実験) アガロースゲル電気泳動による遺伝子発現解析 第8回 (講義) 実験結果の考察とまとめ
		【学生へのメッセージ】 生物学実験が全く初めての方でも、原理を含めてわかりやすく指導しますので、安心して受講ください。休憩時間は、実験の進み具合により適宜取ります。
		【受講前の準備学習等】 細胞の構造、DNA、RNA、PCR法などについて、インターネット、高校の生物教科書や基礎的な分子生物学の本で、事前に読んだり、調べておいてください。実験の内容がより良く理解できます。また、授業後には、実験で得られた結果を整理し、理解を深めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「分子細胞生物学実験の結果と考察」です。
		【受講者が当日用意するもの】 実験を行いますので、動きやすく汚れても良い服装や靴を用意してください。もし白衣やエプロンがあればお持ちください。また、手洗い用のタオル、筆記用具、ノートをご持参ください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【その他(特記事項)】 ※「学生教育研究災害傷害保険」および「学生教育研究賠償責任保険(付帯賠償Aコース)」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照) ※前講義「分子生物学実験：DNAの解析」を受講している必要はありません。

科目コード	2688255	授 業 概 要	<p>【授業内容】 日本のマンガ文化は、戯画や浮世絵・ポンチ絵、諷刺画などを源流とし、海外からの影響を受けながら、戦後の手塚治虫の活躍、月刊・週刊マンガ誌や「少女マンガ」の隆盛、映画やアニメとのコラボなどの歴史を経て、現代日本の文化資源を代表する存在となっています。この授業では、マンガ史におけるさまざまなトピックをとりあげ、マンガ研究の展開についての基本的な内容を把握し、研究史上の方法的特質や研究領域についての理解を深めます。</p> <p>【到達目標】 授業でとりあげられたトピックを中心として、マンガ研究の展開についての基本的な内容を把握し、研究史の流れをふまえたうえで、新たな課題や研究の視座を提案することができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 少女マンガのジャンルとしての自立化（日高） 第2回 ラブコメの台頭と少年マンガへの広がり（日高） 第3回 マンガが映画になるとき（1）－マンガからアニメーション映画へ－（伊藤） 第4回 マンガが映画になるとき（2）－マンガから実写映画へ－（伊藤） 第5回 手塚治虫とその受容史－「巨人」をどう見るか－（池川） 第6回 マンガ雑誌とマンガ産業のビジネスモデル（池川） 第7回 少年マンガと「巨人の星」－梶原一騎の時代－（鈴木） 第8回 妖怪マンガの系譜－水木しげるの作品世界を中心に－（鈴木）</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業の中で、自分自身の「マンガ」体験について振り返っていただく機会がありますのでご準備をお願いします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、関連する用語をインターネット等で調べておくなど、自己学習に努めてください。また、講義や討論の内容を踏まえて、改めて作品に触れてみてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び担当講師ごとに実施する課題・レポートの評点により行います。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	「マンガ学」入門		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	<p>スズキ ヒロユキ 鈴木 寛之 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授</p> <p>ヒダカ トシヤス 日高 利泰 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授</p> <p>イトウ ヒロノリ 伊藤 弘了 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授</p> <p>イケガワ ヨシヒロ 池川 佳宏 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授</p>		
日程実施時間	<p>2026年5月30日(土)</p> <p>第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10</p> <p>2026年5月31日(日)</p> <p>第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10</p>		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		
		<p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具をご準備ください。</p> <p>【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【参考書】 ・マンガって何？ マンガでわかるマンガの疑問（京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター 監修・編集／青幻舎／¥1,980／ISBN=9784861529504）</p>	

科目コード	2688166	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 もし自分の手でホームページを作成することができて、インターネットを通して公開することができたら、どんなに楽しいことでしょう。 この授業は、ホームページをこれまで作成したことがないあなたに、ウェブページ作成を基礎から学んでいただくためのものです。授業に沿って実際に手を動かして理解していただきます。あなたの手に情報公開の確かな力がつくでしょう。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	ウェブページ作成の基礎	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	クボタ シンイチロウ 久保田 真一郎 熊本大学半導体・デジタル研究教育機構准教授	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 実習室	【到達目標】 HTML (Hyper Text Markup Language) の主な要素についての書式や、HTMLでの画像ファイルの埋め込み方法、ハイパーリンクを設置する方法など、ウェブページ作成に必要な基礎知識を修得する。自分でウェブサイトをセットアップし、文章や画像や動画を組み合わせて所望のコンテンツを構成し、一般に公開することができる。 【授業テーマ】 第1回 HTML「ハイパー・テキスト・マークアップ・ランゲージ」 第2回 画像を表示する 第3回 世界から見える書式のHTMLファイルを作る 第4回 「リンク」を張る 第5回 Googleサイトへログインし、これまでのページをサイトで実現する 第6回 GoogleサイトへYouTubeの動画を埋め込む 第7回 Googleサイトの各種機能を使ってみる、自由作品を作る（1） 第8回 自由作品を作る（2） 【学生へのメッセージ】 放送大学のキャンパスメールを使うことができる人を対象としています。 【受講前の準備学習等】 放送大学のキャンパスメールにログインし、キャンパスメールが使用できることを確認しておいてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 学習センターの無線LANに接続したことがない方、登録していない方は、所定の手続を面接授業の実施前日までにを行う必要があります。システムWAKABAからオンラインで申請できます。 また、授業実施前日までは、接続テストをしておくことを強く推奨します。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び、自由作品として構築したウェブサイトのURL（アドレス）を共有・提出していただき、ウェブサイト上に授業で学んだ要素が含まれているかどうかを確認して評価します。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンとACアダプタ（重要：授業中は、ずっとパソコンを使用します）を持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用します。種類は問いませんが、Chromeブラウザを推奨しますので、可能な限りインストールしておいてください。 テキストエディタを使用します。種類は問いませんが、ほとんどのOSでは最初からインストールされているものがあり、それで十分です。Windowsの「メモ帳」、macOSの「テキストエディット」、ChromeOSの「Text」が相当します。 4. その他 ・Windows11以上、macOS Ventura以上を対象とします。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2688182	授 業 概 要	【授業内容】 がん療養では、さまざまな場面で意思決定を求められます。我が国のがん医療や看護の現状とともに、意思決定の場面を理解し、意思決定を行う上での視点について理解を深めます。そして、がん療養における意思決定支援について検討します。看護や医療の専門知識がなくても、受講生それぞれの立場で学べるように授業を進めていきます。授業は、講義形式を中心に行いますが、授業中に受講者間の意見交換の時間を設け、学習が深まるようにします。
学習センター(コード)	43A		【到達目標】 1. がん医療やがん治療の動向についての概要を説明することができる。 2. がん療養における意思決定の視点について、説明することができる。 3. 若年がん患者・高齢がん患者・がんゲノム医療に関する意思決定の課題を理解し、具体的な意思決定支援について考えを述べるることができる。 4. 模擬事例に対して意思決定の課題を明らかにし、具体的な意思決定支援について記述することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 がん医療やがん治療の動向 第2回 がん療養と意思決定1 第3回 がん療養と意思決定2 第4回 若年がん患者の療養における意思決定支援 第5回 がんゲノム医療に関する意思決定支援 第6回 高齢がん患者の療養における意思決定支援1 第7回 高齢がん患者の療養における意思決定支援2 第8回 がん療養における意思決定支援（グループワーク）
科目名	がん療養における意思決定支援		【学生へのメッセージ】 日本では2人に1人はがんに罹患する時代と言われています。自分や、身近な人ががんに罹患した時、一緒に考えていけるよう意思決定支援について学んでみませんか。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
担当講師	ヒグチ ユキ 樋口 有紀 前熊本大学助教		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2679256	【授業内容】 心理学における実験的研究を3つ（ストループ効果、囚人のジレンマ、SD法）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ヤスムラ アキラ 安村 明 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授	
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	熊本学習センター 講義室1	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
		【授業テーマ】 第1回 心理学研究と統計的分析（1） 第2回 心理学研究と統計的分析（2） 第3回 ストループ効果：実験とデータ整理 第4回 ストループ効果：解説とレポートの書き方の説明 第5回 囚人のジレンマ：実験とデータ整理 第6回 囚人のジレンマ：解説とレポートの書き方の説明 第7回 SD法：実験とデータ整理 第8回 SD法：解説とレポートの書き方の説明
		【学生へのメッセージ】 期日までにレポートを提出してください。実験は基本的に小グループで行いますので、他の受講生と協力して進めてください。
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を取得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規、電卓（「√」（ルート）のボタンがあるもの（スマートフォンの電卓機能でも可）、パソコンでレポートを作成したい人はノートパソコンとUSBメモリを持参してください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【その他（特記事項）】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2688263	授 業 概 要	【授業内容】 中高生でも理解できるくらいの平易さで、哲学的思考のエッセンスを学んでいきます。人生の問題を解決するための思考法から、信念対立の克服の仕方、またこれからの社会を構想するための思考法まで、哲学には2500年以上にわたる叡智の蓄積があります。本授業では、その粋を学ぶとともに、さらに哲学的思考の奥義とも言うべき「本質観取」の哲学対話も体験していただくことで、哲学するとはどういうことかを体得していただきたいと考えています。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	はじめての哲学的思考		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	310		
定員	30名		
担当講師	トマノ イットク 苦野 一徳 熊本大学大学院 教育学研究科准教授		
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室	【到達目標】 ・哲学的思考のエッセンスを理解し、日常生活に応用できるようになる。 ・本質観取の哲学対話ができるようになる。	
		【授業テーマ】 第1回 哲学ってなんだ？ 第2回 哲学的思考の奥義(1) 第3回 哲学的思考の奥義(2) 第4回 哲学対話と本質観取 第5回 本質観取について(1) 第6回 本質観取について(2) 第7回 やってみよう！本質観取(1) 第8回 やってみよう！本質観取(2)	
		【学生へのメッセージ】 グループディスカッションと全体ディスカッションをメインに行う授業になります。ぜひ積極的に参加して、楽しく、贅沢な、知的興奮に満ちた時間を一緒につくっていただければ幸いです。	
		【受講前の準備学習等】 以下の2冊を事前に読み、疑問点や、みんなでディスカッションしたいテーマなどを章ごとにメモしてご参加ください。 1日目：苦野一徳『はじめての哲学的思考』（ちくまプリマー新書、2017年） 2日目：苦野一徳、岩内章太郎、稲垣みどり『本質観取の教科書』（集英社新書、2025年）	
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
		【教科書】 ・はじめての哲学的思考（苦野一徳／筑摩書房／¥968／ISBN=9784480689818） ・本質観取の教科書（苦野一徳、岩内章太郎、稲垣みどり／集英社／¥1,056／ISBN=9784087213898）	

科目コード	2688190	授 業 概 要	【授業内容】 みなさん、どんな形であれ「薬」と呼ばれるものを使用したことがあると思います。では、そもそも「薬」とはどのようなものなのでしょうか？この授業では、特に、“こころ”や“からだ”に効く薬について学び、その有用性や危険性の理解を深めます。将来、どのような「薬」が求められるようになるかについて考えましょう。 授業は講義形式で行い、パワーポイントと配布資料を活用します。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	こころとからだの薬		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	54名		
担当講師	クラウチ ユウキ 倉内 祐樹 熊本大学大学院 生命科学部准教授		
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室	【到達目標】 薬がどのようなものか理解し、各疾患に対する治療薬の作用機序を説明することができる。また、薬の危険性について説明することができる。	
		【授業テーマ】 第1回 「薬」とはどのようなものか？-薬の形、薬の効き方について- 第2回 「薬」はどのように作用するのか？-薬の作用機序について- 第3回 からだの薬①-循環器系に作用する薬（自律神経系の働き、高血圧、不整脈、狭心症）- 第4回 からだの薬②-代謝系に作用する薬（糖尿病）- 第5回 こころの薬①-こころとは何か？- 第6回 こころの薬②-中枢神経系に作用する薬（うつ、不安、統合失調症、睡眠障害、頭痛、アルツハイマー病）- 第7回 ちょっと変わった薬-漢方薬、食事、デジタル薬- 第8回 こころの薬③-中枢神経系に作用する薬（薬物乱用について）-	
		【学生へのメッセージ】 自分の“からだ”や“こころ”、そして「薬」に少しでも興味のある方を歓迎します。健康に生きることにについて、一緒に考えましょう。	
		【受講前の準備学習等】 受講生みなさんが理解できるように授業をしますが、専門用語や薬の名前がたくさん出てきます。シラバス内容から、興味のあるキーワード・疾患・治療薬などについて調べ、それがどのようなものかを自分の言葉で説明できるように自己学習に努めてください。	
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。	
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	

科目コード	2688204	【授業内容】 医療職は生活者を支援する専門職です。しかしその前提として「生きている」生命体である「人間」を観察できるフィジカルアセスメント能力が不可欠です。本講義では、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点をまとめ、急変時のバイタルサインをどのようにアセスメントとして活かしていくかについて再確認し、生死に直結する呼吸・循環を中心にした実践的なフィジカルアセスメントを学習していきましょう。 【到達目標】 生活者を支援する専門職である医療職にとって、前提として「生きている」生命体である「人間」について観察するために不可欠なフィジカルアセスメント能力を振り返ることができる。その上で、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点を理解することができ、生命を護るために有用な実践的なフィジカルアセスメントを身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 臨床推論 第2回 アセスメントをどう進めるか 第3回 急変時のみかた 第4回 意識障害のみかた 第5回 呼吸のみかた 第6回 呼吸の聴診 第7回 循環のみかた 第8回 腹部のみかた 【学生へのメッセージ】 臨床実践者として必要となる解剖生理学・病態生理学などの関連分野の知識を統合するため、既知の学習内容を振り返ることも求めます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 医療系の資格習得に必要な程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 (レポート課題) 本講義を終えて、それまでの自己の臨床実践を振り返りどうであったかと、フィジカルアセスメントを今後の臨床実践にどう活かすかについてまとめてください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる(第2版)(山内豊明/医学書院/¥2,640/ISBN=9784260013840) ・緊急度を見抜く!バイタルサインからの臨床推論(山内豊明/医学書院/¥2,530/ISBN=9784260050326) 【その他(特記事項)】 医療系の資格習得に必要な程度の身体の構造・機能並びに病態についての基礎知識があることを前提とします。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	身体を診る ～生命を護るために	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ヤマウチ トヨアキ 山内 豊明 放送大学教授	
日程実施時間	2026年7月2日(木) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年7月3日(金) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

★熊本学習センター【ライブWeb授業】実施科目(43A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

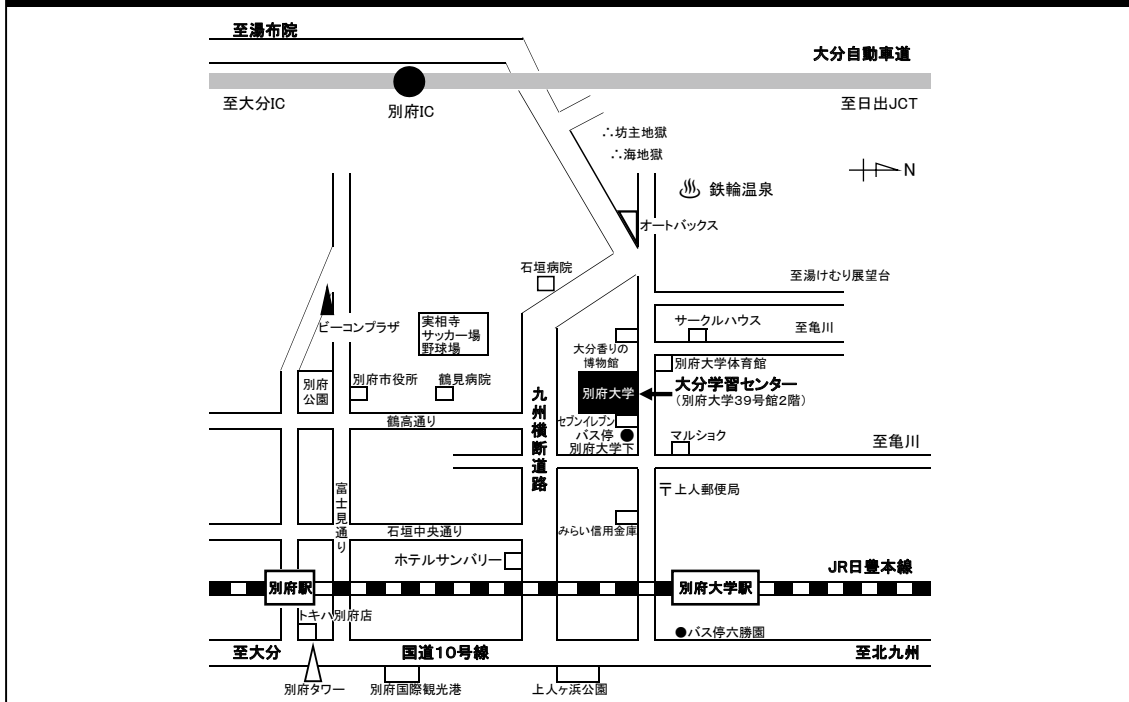
対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4002490	【授業内容】 「食育」はその言葉の認知度が上がってきているものの、捉え方は人それぞれです。本講義では「食育」の基本を学ぶとともに、様々な側面から見た「食育」の現状と課題を整理しつつ、必要とされる「食育」について考えましょう。なお、本講義は熊本を題材として構成しています。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	WK	
科目名	★食育の現状について考える	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	20名	
担当講師	トモヨリ ヒロコ 友寄 博子 熊本県立大学 環境共生学部教授	
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	【到達目標】 食育の法的位置付け、実施例や具体的な取り組みおよび概念や方法などの全体像を理解することができる。さらに実施例を具体的に提案し、様々な場面での食育活動を設計し、提案することができる。
	2026年7月4日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
概要		【授業テーマ】 第1回 食育とはー食育の基本を食育基本法で確認しましょうー 第2回 家庭における食育ー子供を中心にー 第3回 学校および保育所等の食育ー給食を中心にー 第4回 地域における食育(レポート課題あり) 第5回 生産者から見た食育 第6回 食文化継承と食育 第7回 食品の安全性と食育 第8回 自分にもできる食育を考える
		【学生へのメッセージ】 本講座を通して食育の基本を理解していただくことで、自分にもできる食育と一緒に考えていただければと思います。具体的には、講義の中で使用するワークシートに取り組むことで、ご自身の食育を明確にいただき、実践へとつなげるイメージをつかんでいただきたいと考えています。また、具体的な実施例(主に熊本を題材としています。)も示しながら食育のヒントもお伝えしたいと思っています。
授業		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して指定の教科書(ウェブサイトからダウンロードした資料)を使い自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容やワークシートなどは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。 なお、レポートの課題(講義で使用するワークシート)は1日目、2日目それぞれで提出いただきます。 課題の提出期限は、以下のとおりとします。 1日目の課題：授業の翌日まで 2日目の課題：授業の当日中
要		【受講者が当日用意するもの】 配布資料はあらかじめ印刷し、書き込みながら受講することをお勧めします。テキストの代わりにダウンロードした資料(テキスト)を参考にする場合は別途モニター等で確認できるようにしてください。 講義中ワークシートを記載していただきます。期限内に提出できるようにパソコンでの記入をお勧めします。なお、Wordファイルで配布しますので、バージョン指定はありませんが、docx/doc形式のものを使用してください。 インターネット環境のあるパソコン(タブレット端末やスマートフォンは推奨しません)、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備してください。
		【教科書】 ・令和7年版 食育白書(農林水産省編/日経印刷株式会社/¥2,530/ISBN=9784865794755) ※同じ資料は農林水産省のウェブサイトでも入手可能です。電子媒体の方が良い方はそちらをご利用ください。(https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/attach/pdf/r6_wpaper-33.pdf: ウェブサイトでは令和6年版と表記されています) 冊子体を購入される方は各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等(学習センターでの受講は不可)	【その他(特記事項)】 専用システム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を推奨します。 個人ワーク・グループワーク・発表等の時間を織り交ぜながら、講義を行います。 最終課題(2日目ワークシート)のほかに、1日目の授業中作成したワークシートの提出をしていただく予定です。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム(LMS)上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題(レポート等)を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/

大分学習センター

(コード：44A)

大分学習センター案内図 ☎0977-67-1191



【所在地】〒874-8501 別府市北石垣82(別府大学39号館2階)

【交通アクセス】

①JR利用の場合(最寄駅は別府大学駅)

JR日豊本線別府大学駅より徒歩10分

②バス利用の場合(JR日豊本線別府駅から:所要時間20分)

〔東口バス停〕

20 亀の井バス<別府大学経由鉄輪行>「別大前」で下車

23 亀の井バス<石垣経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

〔西口バス停 2のりば〕

6 亀の井バス<鶴見丘高校経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

【その他連絡事項】

【昼食】

昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には、コンビニエンスストア、弁当店等もごさいます。

【駐車場】

駐車場は駐車台数に限りがありますので、原則公共交通機関をご利用ください。

科目コード	2688352	授 業 概 要	【授業内容】 現在、災害の脅威を無視して社会生活を営むことはもはや不可能です。大分県においても、県土の約7割が森林に覆われ、急峻な地形が多いことから、土砂災害警戒区域の数は全国で7番目に多い状況にあります。さらに、南海トラフ地震の影響に加え、内陸部には中央構造線の延長上に位置する多数の活断層が存在しており、大規模な被害が想定されています。本講義では、大分県における災害の特性を理解したうえで、被災地の実情や復興過程を現地学習を通じて把握し、「自助」「共助」「公助」の各役割を踏まえた防災・減災の視点から、持続可能な社会システムの構築について考察・議論します。
学習センター(コード)	44A		【到達目標】 社会生活を営むなかで、災害の脅威から防災や減災について理解し、災害リスクに応じた対応策を的確に判断できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 近年の災害とその特徴 第2回 自然現象と災害(土砂災害・洪水) 第3回 自然災害と災害(地震・津波) 第4回 防災と減災について 第5回 災害から復興を学ぶ現地学習1 第6回 災害から復興を学ぶ現地学習2 第7回 災害から復興を学ぶ現地学習3 第8回 災害から復興を学ぶ現地学習4
科目名	大分の防災と減災		【学生へのメッセージ】 本講義は2日間の集中講義で実施します。初日は座学や受講生とのディスカッション、2日目は被災地域での災害から復旧・復興過程を学ぶ現地学習を行います。特に2日目については4月中旬のフィールドワーク(1~2kmの徒歩)となることをあらかじめご理解ください。
科目区分	導入科目:社会と産業		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	25名		【受講者が当日用意するもの】 ・2日目は現地学習(日田市天ヶ瀬温泉)を行います。バス代などのため、授業料とは別に合計1,500円を授業初日の朝、徴収します。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。 ・2日目は現地で昼食となります。各自弁当を持参してください。 ・2日目は現地で研修を行いますので、野外で活動する支度(服装、運動靴等)をしてください。また、バス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。
担当講師	ツルナリ ヨシヒサ 鶴成 悦久 大分大学減災・復興デザイン 教育研究センター教授		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年4月19日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照) ・2日目も9:45に大分学習センター教室2に集合してください。点呼を取り次第出発します。 ・現地での研修は、1~2kmほど歩きます。体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。
実施会場	大分学習センター教室2 および 日田市天ヶ瀬温泉街 (2日目)		

科目コード	2679183	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本講義では、受講者自身が心理学実験を体験することで、心理学の実験がどのように実施されているのか理解を深めてもらいます。講義の基本的な流れは、実験を体験してもらいます→データ収集を行います→統計解析を実施します→実験結果の解釈をディスカッションします→レポートを作成し提出してもらいます。実験内容は、「ミューラー・リヤー錯視実験」、「ワーキングメモリ実験」、「心理尺度実験」を予定しています。 受講生の皆さんには、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験のすべてにレポートを提出していただきます。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験 1	
科目区分	専門科目：心理と教育	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	20名	【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、コミュニケーションゲームで心理学実験の基礎を学ぶ 第2回 ミューラー・リヤー錯視実験を行う 第3回 ミューラー・リヤー錯視実験のデータを収集し、統計分析を行う 第4回 レポートの作成方法を学習する 第5回 ワーキングメモリ実験を行う 第6回 実験データを収集し、統計分析する 第7回 心理尺度の実験を行う 第8回 実験の解説及びディスカッションを行う
担当講師	ヤジマ ジュンペイ 矢島 潤平 別府大学教授	
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年4月19日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	【学生へのメッセージ】 グループで行う実験もありますので、受講者間でのコミュニケーションを是非とってください。積極的に参加して、心理学実験に触れてください。
実施会場	大分学習センター 教室1	授業概要
		【受講前の準備学習等】 ・錯視、記憶、心理尺度について事前に調べておいてください。 ・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 ・メールでレポート等を提出するために、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 ・パソコン ・電卓（スマホアプリなどの電卓機能のあるものでも可） ・ストップウォッチ（スマホアプリ可） 1. 持参する端末 レポートが作成できる端末であれば種類は問いませんが、ノートパソコンを推奨します。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・文章作成ソフト（WordやGoogleドキュメント）が必要です。 ・表計算ソフト（Excel）が必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・統計解析のためにインターネット上の解析ソフト（Js-STAR）を使用しますので、インターネットが閲覧できる状態にしておいてください。 ・マウスを持参してください。
		【教科書】 教科書は使用しません。
		【その他（特記事項）】 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 ・心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2688328	授 業 概 要	【授業内容】 大分県域の方言の先行研究を踏まえながら、さらに追究していく授業です。資料として、方言会話調査データや大分市の『野津原方言集』を使います。会話の中に出てくる「アンタ」、「イーグレナコッチャネー」、「ビラビラ」、「ムゲネコサレ」などが何を表しているのかを、用例を比較しながら明らかにしていきます。さらに、大分方言の特徴とは何なのかを、他方言と比較して浮彫りにします。最後に、大分方言の口承話芸である「豊後浄瑠璃」を味わいながら、大分方言に残る古典語・古典文法を確認します。
学習センター(コード)	44A		【到達目標】 人とことば、人と方言の関係について深く考えるために、音声学、談話研究、方言地理学の知識に基づいて会話資料や『野津原方言集』や「豊後浄瑠璃」の成り立ちや内容を理解し、大分方言の特徴について説明できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 ガイダンス、会話に見る大分方言 第2回 依頼と受諾の大分方言 第3回 感動詞「アンタ」と大分方言 第4回 大分方言の文末詞 第5回 『野津原方言集』の成り立ちと現在 第6回 『野津原方言集』の中のオノマトペ・感動詞 第7回 『野津原方言集』に見る大分方言の特徴 第8回 「豊後浄瑠璃」に生きる古典語
科目名	大分方言の追究		【学生へのメッセージ】 この科目の特徴は、実際の方言会話や方言話を聴いたり読んだりすることから始める点にあります。大分方言を知らない人も、最初は苦戦しても、次第に聞いてわかり、読んでわかるようになります。それは、みなさんが現在使っていることばと大分方言がつながりを持っているからです。とにかく楽しく学びましょう！
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
担当講師	マツダ ミカ 松田 美香 別府大学文学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年4月26日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【参考書】 ・コミュニケーションの方言学 (小林隆編/ひつじ書房/¥6,380/ ISBN=9784894768970) ・全国調査による感動詞の方言学 (小林隆編/ひつじ書房/¥5,500/ ISBN=9784823411670) ・全国調査による言語行動の方言学 (小林隆編/ひつじ書房/¥5,500/ ISBN=9784823411670)
実施会場	大分学習センター 教室2		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2688336	授 業 概 要	【授業内容】 読み聞かせの基礎を学びながら、一人一人に最適な発声法と表現法を探っていきます。本授業の受講によって、音声表現には様々な種類があること、楽な発声、声（息）の使い方とともに、基礎的な表現技法を学ぶことができるでしょう。授業の後半には、文体の異なる教材を用いて、自分の声にいつそうの磨きをかけていきます。他者の読み聞かせに感想を伝えるなどの相互交流によって、よりよい表現法の追究にも取り組みます。
学習センター(コード)	44A		【到達目標】 1) 基礎的な音読発声法について理解し、実演することができる。 2) 基礎的な音読表現法について理解し、実演することができる。 3) 様々なジャンルの音声表現法があることを理解し、その違いを実演によって表現することができる。 4) 他者の音声表現を聞き、その良さや改善点を指摘することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 1文読みを通して、自分の声を知る 第2回 発音の基礎を学び、声に磨きをかける 第3回 音読の3つの型によって、呼吸を鍛える 第4回 表現技法を学びながらの小括 第5回 穏やかな声が好き文章の読み上げ 第6回 勇ましい声が好き文章の読み上げ 第7回 文体の特徴に応じた読み分け 第8回 声の魅力を探り合う
科目名	読み聞かせのための 音声表現法		【学生へのメッセージ】 声を出すことを中心とした実践的授業になります。「理解して試す」のではなく、「試しながら理解していく」という方法の授業です。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	210		【成績評価の方法】 成績評価は、筆記試験及び試験時間に行う実技テストにより行います。
定員	25名		【受講者が当日用意するもの】 小さな鏡があることが望ましい（ご自身の表情筋の動きを確認していただきます）
担当講師	ハナサカ アユム 花坂 歩 大分大学教授／絵本専門士		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年4月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	大分学習センター 教室1		

科目コード	2688360	【授業内容】 この授業は、香り、特に、フレグランス（化粧品や日用品の香り）とフレーバー（食品の香り）の初歩を取り扱います。受講生の皆さんは、香水の歴史、においの科学、発酵/醸造と香りの講義に加えて、大分香りの博物館の見学と香水の調香、香り分析や試香も体験できます。初めて香りを学ぶ方も興味を持って理解を深められるように、体験学習を織り交ぜて授業を進めていきます。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	はじめて学ぶ 香りの科学	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	210	
定員	30名	
担当講師	<small>サカモト コウジ</small> 坂本 幸司 別府大学食物栄養科学部 発酵食品学科教授 <small>スヤマ アキコ</small> 陶山 明子 別府大学食物栄養科学部 発酵食品学科教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年5月17日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2、 大分香りの博物館 および別府大学36号館 発酵食品学科実験室	
		【到達目標】 ・香りと香料の関係を理解し、香料の利用方法や製造方法を説明することができる。 ・香りの歴史を把握し、香りとヒトとの関わりや香りの持つヒトへの効果を説明することができる。 ・発酵食品と酒類に含まれる香り成分を理解し、フレーバーの特徴を説明することができる。
		【授業テーマ】 第1回 香りへの招待(坂本) 第2回 嗅覚のしくみと香りの評価(坂本) 第3回 博物館で学ぶ香りの歴史(坂本/場所:大分香りの博物館) 第4回 香りを創る(坂本/場所:大分香りの博物館) 第5回 フレーバー -発酵食品と香り- (陶山) 第6回 フレーバー -お酒の香り- (陶山) 第7回 においや香りの科学的な分析方法(陶山・坂本/場所:別府大学36号館 発酵食品学科実験室) 第8回 においや香りの機能性(坂本)
		【学生へのメッセージ】 私たちは、たくさんのにおいや香りに囲まれて暮らしています。一方、嗅覚のしくみがわかってきたのは、比較的、最近のことです。こんなに身近で不思議な側面も持つ香り的一端を一緒に覗いてみましょう。
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容を確認して、自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 大分香りの博物館での調香体験料として、授業料とは別に2,800円(30ml瓶、税込み)を授業初日の朝、徴収します。おつりのないようにご準備ください。(博物館の入場は、無料です)
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照) ・1、2日目とも教室2にお集まりください。「大分香りの博物館」「別府大学36号館発酵食品学科実験室」へは一緒に移動します。

科目コード	2688387	授 業 概 要	【授業内容】 日本の伝統医学である東洋医学の概略を学び、現代の鍼灸と漢方の成り立ちについて紹介します。また、東洋医学を理解するために必要な思想と歴史についても解説します。 「はり・きゅう」の古代から現代までの変遷、材料と使い方などを理解し、実技授業では簡易的な鍼法・灸法を体験・練習します。また、実際の鍼灸治療を解説を交えながら行います。 食養生の授業では、東洋医学の考えをベースに季節や体質にあわせた食材について学び、毎日の食事に活かすことで体の調子を整え、健康的な食生活を送れるようになります。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	東洋医学・鍼灸と食養生		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	スギワカ コウキ 杉若 晃紀 大分医学技術専門学校 鍼灸師科専任教員／学科長 コバ ヨシト 木場 由衣登 大分医学技術専門学校 鍼灸師科専任教員		
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年5月17日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1		
		【到達目標】 ・東洋医学の思想と歴史を学び、鍼灸と漢方の成り立ちを理解する。鍼灸の古代から現代までの変遷を知り、治療法の違いを理解する。 ・鍼と灸の材料と製法、使用法、施術時の使い分けを理解し説明することができる。 ・自分の身体の状態を知り、病気の予防に役立てられるように、東洋医学的な身体診かた・予防法・季節や体質にあわせた食材を理解し説明することができる。	
		【授業テーマ】 第1回 東洋医学概論1 (概説・歴史・陰陽五行説) (木場) 第2回 東洋医学概論2 (五臓六腑・気血・病因) (木場) 第3回 東洋医学概論3 (経絡と経穴〔ツボ〕について) (杉若) 第4回 「はり」と「きゅう」について (杉若) 第5回 東洋医学と食養生 (東洋医学の考えに基づいた食事、季節と体調にあわせた食材の紹介) (木場) 第6回 はり実技 (はりを使用した刺鍼練習)、鍼灸治療の実際 (杉若) 第7回 きゅう実技 (もぐさを使用した施灸練習)、鍼灸治療の実際 (木場) 第8回 マッサージ (家庭でできるツボ療法) (杉若)	
		【学生へのメッセージ】 日本は世界一病人が多い国と言われています。東洋医学を学ぶことで自分の身体を知り、病気の一手手前で立ち止まることができます。この機会に東洋医学的な身体診かた・治療法・予防法・食養生を学んでください。	
		【受講前の準備学習等】 東洋医学と西洋医学を比較し、両者の特徴と違いを考えてください。	
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。	
		【受講者が当日用意するもの】 2日目の第8回は、パウダーやジェルを使用しますので、汚れても良い服でお願いします。また、手を拭くタオルを持参してください。	
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
		【その他(特記事項)】 ・試験問題は、講義した内容から出題します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)	

科目コード	2688310		【授業内容】 近年、訪日外国人観光客が増加することにより、インバウンド市場が急速に拡大しています。都市部だけでなく地方にも注目が集まり、地域固有の文化や自然、食が新たな観光資源として評価されています。地方観光を活性化することは、地域経済を振興することや人口減少に対策することにつながり、持続可能な観光を実現するための鍵となります。 この授業では、世界の観光の現状を把握すること、日本のインバウンド観光の動向を理解すること、九州地域の観光を分析すること、さらに大分県におけるインバウンド観光の現状とその対策を検討することを学習します。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	インバウンドと 地方観光の可能性		
科目区分	導入科目：社会と産業	授 業 概 要	【到達目標】 インバウンドと地方観光の現状や課題を理解できる。地域資源を活用した観光振興の方法について、理論と事例の両面から考察できるようになる。九州・大分県の具体的な事例を通して、地域経済の活性化や人口減少への対応策を含めた持続可能な観光の在り方を多角的かつ実践的に探求できるようになる。
ナンバリング	220		
定員	25名		
担当講師	スズキ ショウ 鈴木 晶 別府大学 国際経営学部教授		
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年5月24日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【授業テーマ】 第1回 グローバル観光の最新動向 第2回 日本のインバウンド観光の現状及び課題 第3回 大分県におけるインバウンド観光資源の新たな発掘 第4回 おんせん県・大分の温泉観光資源の可能性―別府、九重温泉郷、長湯温泉を事例として― 第5回 現地学習：大分県竹田市歴史文学館・由学館 第6回 現地学習：旧竹田荘 第7回 現地学習：滝廉太郎記念館 第8回 現地学習：岡城跡
実施会場	大分学習センター教室2 および 竹田市(2日目)		【学生へのメッセージ】 遠く離れた九州・大分には、まだ知られていない観光の宝が眠っています。観光学の視点でその魅力を発見し、地域の未来を考えるきっかけになれば嬉しいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 ・2日目は現地学習(竹田方面)を行います。バス代、2日目の昼食代(現地の食堂と一緒に取ります)、入場料などのため、授業料とは別に合計4,000円を授業初日の朝、徴収します。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。 ・2日目は現地で研修を行いますので、野外で活動する支度(服装、運動靴等)をしてください。また、バス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照) ・2日目も9:45に大分学習センター教室2に集合してください。点呼を取り次第出発します。 ・現地での研修は、2~3kmほど歩きます。体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。

科目コード	2688344	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 わたしたちの生活の様々な場面で、対話型生成AIが活用されるようになってきました。本科目では、生成AIの基本的な仕組みから具体的な活用方法、さらには社会的・倫理的な影響まで、幅広いテーマを扱います。生成AIの活用事例を学びながら、実践的な演習を通じてその効果的な活用法を習得します。また、得た知識やアイデアを共有し、意見交換を行うことで、生成AIの活用アイデアを発展させることを目指します。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	生成AIの活用	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	20名	【到達目標】 ・対話型生成AIから正確かつ適切な出力を得るための効果的なプロンプトを作成できる。 ・生成AIのリスクや倫理的課題を認識し、それらがもたらす影響を具体例を用いて説明できる。 ・生成AIの仕組みや活用事例を踏まえたうえで、その効果的な活用アイデアを提案できる。
担当講師	スズキ ユウセイ 鈴木 雄 清 大分大学准教授	【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、対話型生成AIの体験 第2回 生成AI技術と大規模言語モデルの仕組み、倫理的・社会的影響 第3回 対話型生成AIの基本的な活用法と演習 第4回 画像・動画・音楽・音声の生成AI 第5回 学習・教育における生成AI活用 第6回 ディープリサーチ（調査支援機能）と関連ツール（NotebookLMなど）の活用 第7回 生成AI活用アイデアの検討と意見交換 第8回 総まとめ
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年5月24日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	【学生へのメッセージ】 Google Workspaceを利用します。キーボードで日本語の文字入力やパソコンの基本操作ができることと、キャンパスメール（Gmail）を使うことができることを前提条件とします。
実施会場	大分学習センター 教室1	【受講前の準備学習等】 ・システムWAKABAやキャンパスメール（Gmail）にログインするための、ユーザIDとパスワードを確認しておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 インターネットに接続可能なノートパソコンと、スマートフォンの両方をご持参ください。 2. OSの指定 操作説明は Windows 11を想定していますが、Mac OS、Chrome OS、Linux OSでも受講可能です。 3. ソフトのインストール ・Chromeブラウザを前提とします。 ・配布資料の一部はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 ・文書作成ソフトが必要です。WordまたはGoogleドキュメントを使用します。
		【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。
		【参考書】 ・生成AIで世界はこう変わる（今井翔太／SBクリエイティブ／¥990／ISBN=9784815622978） ・生成AI時代を勝ち抜く事業・組織のつくり方（梶谷健人／日経BP／¥1,980／ISBN=9784296204267）
		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2688301	【授業内容】 読めるけれど話せない、そんなふうには思っていませんか？せっかく読むことのできる力があるのなら、それを使う方法も身に付けていきましょう。この授業では、英語を使ってコミュニケーションをするのに必要な文法知識を、英語学習者用に比較的やさしい英語で書かれた物語を読みながら復習し、その文法知識をもとに英語を話す練習をします。物語を楽しみながら使える英語をめざしましょう。 【到達目標】 ・英語の基本的な文法構造を理解して、英文を読むことができる。 ・基礎的な文法にのっとって英文を組み立てて話すことができる。 【授業テーマ】 第1回 物語を楽しむ：Chapter 1-2 第2回 物語について話す：英語の基本構造を知る 文型と句・節 第3回 物語を楽しむ：Chapter 3-6 第4回 物語について話す：英語の基本構造を知る 前置詞の使い方 第5回 物語を楽しむ：Chapter 7-9 第6回 物語について話す：英語の基本構造を知る 接続詞と関係詞 第7回 物語を楽しむ：Chapter 10-11 第8回 物語について話す：物語のラストパートについて話してみる 【学生へのメッセージ】 授業内でできることは限られていますが、英語がいまひとつ完全に理解できていない、苦手意識がある、という方が、楽しみながら英語の基礎を学べる授業を目指しています。授業内では英語を口に出して練習します。間違ってもよいので、積極的に取り組んでください。 【受講前の準備学習等】 8回のレッスンで物語を読んでしまうことは難しいので、授業の中では物語の一部を取り上げながら進めます。授業までに一度物語に自分で目を通し、わかりにくいところがあればそれを授業内で質問してください。授業内で学習する文法の基礎のプラクティスを繰り返し練習して使えるようにしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 ・教科書 ・英語辞書（電子辞書やスマホアプリ、インターネット上の辞書でも可能） 【教科書】 ・The Prince and the Pauper (Mark Twain (adapted by Alex Raynham) /Oxford University Press/¥847/ISBN=9780194237895) ・各自購入してください。(オックスフォード大学出版局HP>ご購入についてを参照) ・金額は、シラバス作成時点の参考価格(税込)です。 【参考書】 ・王子と乞食(マーク・トウェイン/岩波書店/¥1,001/ISBN=9784003231128) オリジナルの小説の翻訳です。テキストはこの小説をやさしく書き直したものです。 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	やさしい物語で学ぶ 英語の基礎	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	30名	
担当講師	三重野 佳子 ミエノ ヨシコ 別府大学教授	
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年5月31日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室1	

科目コード	2688395	【授業内容】 本授業は、毎日の生活に必須である「記憶」について、最新の脳科学的・心理学的知見に基づき、多くの映像も示しながら、わかりやすく解説します。まず、記憶がコピーではなく「脳によって作られる」ものであることを示す様々な事実を紹介し、記憶が持つ不思議な性質についてお話しします。また、記憶が脳のどこでどのように作られ、どのような実体として存在しているのかについても、最新の研究成果を踏まえ説明します。さらに、記憶の個性と脳の個性の関係や、記憶に影響する生活習慣、および記憶と脳にまつわる様々な迷信も取り上げます。最後に、記憶を失う病気について、特にアルコール依存症と認知症（アルツハイマー病）における記憶の崩壊に焦点を当て、その原因と治療法の現状などを解説します。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	記憶と脳	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	サクライ ヨシオ 櫻井 芳雄 京都大学名誉教授	
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年5月31日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 記憶の不思議な性質－記憶の変容と創造、目撃証言の信憑性、他 第2回 記憶は脳のどこで作られるのか？－記憶を作れない人達、二種類の記憶、他 第3回 記憶の実体は何か？－記憶物質、神経細胞の活動、他 第4回 記憶の個性と脳の個性－記憶力の個人差、超記憶の人々、他 第5回 日常生活に関わる問題－記憶と年齢、記憶と睡眠、勉強法、他 第6回 記憶を失う病1－脳振盪、アルコール依存症 第7回 記憶を失う病2－認知症とアルツハイマー病 第8回 講義全体についての質疑応答	
授業概要	【学生へのメッセージ】 記憶と脳に関する予備知識は必要ありません。文系・理系も関係ありません。様々な動画も活用しながら、アカデミックな話と実用的な話を取り混ぜて、できるだけわかりやすく解説します。積極的な質問を歓迎します。	
授業概要	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。	
授業概要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
授業概要	【受講者が当日用意するもの】 筆記用具	
授業概要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
授業概要	【参考書】 ・まちがえる脳（櫻井芳雄／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784004319726） 2023年に出版した岩波新書です。事前に読んでおくと、授業の内容がより理解しやすいと思います。（必須ではありません）	
授業概要	【その他（特記事項）】 一方向の授業にならないように、質疑応答の時間を十分設けます。記憶と脳に関し、日頃疑問に思っていることを質問してもかまいません。	

科目コード	2688409	授 業 概 要	【授業内容】 私たちは生きていくために食事をします。食べ物は安全でなければ、安心して食べることはできません。安全な食べ物も私たちの対応が不適切であれば、健康を害することも発生します。このことを食中毒と言います。食中毒の原因を知ること、その対策を考え、適切に対応することで食の被害を防ぐことができます。これらのことを基礎から応用まで、身近な事例をあげながら解説していきます。一緒に考えていきましょう。
学習センター(コード)	44A		【到達目標】 ・食中毒の原因別分類ができる。 ・食中毒を起こさないための対応ができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 食中毒とは？原因を探ろう。 第2回 食中毒に関わる細菌の性質を知ろう。 第3回 食中毒にはどんな物があるの？(分類) 第4回 細菌性食中毒(感染型)の対策を考えよう。 第5回 細菌性食中毒(毒素型)の対策を考えよう。 第6回 ウイルス性の食中毒が最も多いよ。 第7回 自然の食べ物からの食中毒って何だろう。 第8回 その他の食中毒を知ろう。全体のまとめ。
科目名	食中毒と食品衛生		【学生へのメッセージ】 常備薬を点検してみよう。胃腸薬はありますか？これまでの人生でお腹の具合が悪くなったことはありませんか？ムカムカしたり、吐き気がしたり、下痢をしたことはありませんか？身近なことから食中毒を考えてみましょう。この講座を受講すると食事が楽しくなりますよ。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 新聞やニュースなどで食中毒の話題が掲載されることがあります。インターネットなどで調べてみましょう。 食中毒防止の3原則を調べておきましょう。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 ・筆記用具 ・ノート
担当講師	マキ マサオ 牧 昌生 別府溝部学園短期大学教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		【その他(特記事項)】 授業中に食中毒の関係用語や事例をインターネット接続して調べていただく事があります。スマートフォンもしくはインターネット接続が可能なパソコン等を持参してください。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 上記をお持ちでない場合は不要です。
実施会場	大分学習センター 教室2		

科目コード	2679256	【授業内容】 心理学の研究法の1つである実験的方法の考え方や手続きを体験的に学習することを第1の目的とします。第2の目的は、実験を通して心理学レポートの作成方法(問題と目的・方法・結果・考察)を学習することです。授業では、個人で行う実験と、グループを組んで実験者と実験参加者の両方を体験する実験を行います。受講生の皆さんには、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出していただきます。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	アソウ リョウタ 麻生 良太 大分大学教育学部教授	
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 2026年6月14日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	大分学習センター 教室1	
授業概要	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 講義：心理学実験に関する基礎知識 第2回 講義：実験計画の立て方、実験データの整理の方法 第3回 実験1：鏡映描写(両側性転移) 第4回 レポート執筆指導：実験1のレポート執筆指導 第5回 実験2：SD法 第6回 レポート執筆指導：実験2のレポート執筆指導 第7回 実験3：社会的判断(ヒューリスティック判断) 第8回 レポート執筆指導：実験3のレポート執筆指導	
授業概要	【学生へのメッセージ】 この授業は、心理学実験の中級編です。3つの実験実習メニューはいずれも実験の組み立て方(実験計画)がわかりやすい構成になっています。	
授業概要	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(‘24)」、「心理学研究法(‘20)」、「心理学統計法(‘21)」を視聴してください。	
授業概要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
授業概要	【受講者が当日用意するもの】 電卓・時計(できればストップウォッチ機能がついているもの)をご持参ください。 この授業はレポート作成のために自分用パソコン持ち込むことが可能です。パソコンを持ち込む方は次の1~4を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 レポートが作成できる端末であれば種類は問いません。 OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 ソフトのインストール 特別なソフトのインストールは不要です。 その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・メールでレポート等を提出する場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・PC上で作成したレポートを紙媒体で提出したい方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 ・端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 	
授業概要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
授業概要	【参考書】 ・心理学基礎実験と質問紙法(石原 治編著/培風館/¥1,925/ISBN=9784563057091) ・心理学基礎実習マニュアル(宮谷真人・坂田省吾 代表編集/北大路書房/¥3,080/ISBN=9784762826658) ・心理学実験法・レポートの書き方(西口利文・松浦 均編/ナカニシヤ出版/¥2,420/ISBN=9784779502378)	
授業概要	【その他(特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。	

科目コード	2688379	授 業 概 要	【授業内容】 生物多様性（多様な生物がいること）は、現在、急激に減少しており、私たちの生活にもその影響があらわれてきています。そのため、生物多様性の回復と保全は喫緊の地球環境問題であります。この「生物多様性」について、地域の環境を調査したり、身近な生物を観察したりしながら学びを深めていきたいと思っております。
学習センター(コード)	44A		【到達目標】 生物多様性の意味やその恩恵について理解し、地域の生物多様性の保全のために行動を起こすことができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 地球、日本、大分県の生物多様性の現状 第2回 生物多様性とは？～3つの多様性～ 第3回 身近な生物多様性の野外観察（足下の生物多様性） 第4回 身近な生物多様性の野外観察結果のまとめ 第5回 生物多様性のめぐみ～生態系サービス～ 第6回 生物多様性を危機に追い詰めている要因 第7回 生物多様性の保全に向けた世界の動向 第8回 生物多様性の保全に向けた日本と大分県の動向
科目名	地域に学ぶ 生物多様性		【学生へのメッセージ】 「生物多様性」（の保全）は、聞き慣れない言葉かもしれませんが、それは私たちの生活にはなくてはならない存在であります。身近な生物・環境から生物多様性を知ってもらい、生物多様性の視点から、大分県の自然や生き物により一層の興味関心を高めていただければと思っております。
科目区分	導入科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 ・身近な自然や生き物に関心をもって観察してください。 ・新聞等で環境問題に関する記事に目を通してください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 外を散策できる服装（運動靴、長袖、長ズボン）
担当講師	ナガノ マサヒロ 永野 昌博 大分大学准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 2026年6月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
実施会場	大分学習センター教室1 および別府大学周辺		

宮崎学習センター

(コード：45A)

宮崎学習センター案内図

☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510 日向市本町11番11号(日向市役所隣)

【交通アクセス】

- (1) JR日豊線 日向市駅下車 徒歩7分
- (2) 宮崎交通バス(延岡線・宇納間線)「商工会館通りバス停」下車 徒歩3分
- (3) 駐車場 日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】

面接授業は宮崎学習センター会場と宮崎市内会場で開催します。面接授業時間割表より、実施会場を事前にご確認のうえ、お間違えのないようにご注意ください。

科目コード	2688425	授 業 概 要	【授業内容】 大学で必要となる論理的な文章の読み書きの手ほどきを目的とします。他人の論理的な文章を批判的に読み、みずから論理的な文章を書くために必要な技法について講義します。最終的には500字程度のミニレポートを書く能力を身につけるのが目標となります。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 大学で必要となる論理的な文章を批判的に読むことができる。 論理的思考について学び、論証とは何かを理解したうえで、論理的な文章を書くことができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 論理的思考とは何か1 第2回 論理的思考とは何か2 第3回 論理的思考とは何か3 第4回 論理的思考とは何か4 第5回 論証文を読む 第6回 論証文を書く 第7回 論証型レポートの基本 第8回 論証型ミニレポートの作成方法
科目名	論理的な 読み書きの技法		【学生へのメッセージ】 講義中にワークを行う機会がありますので、心しておいてください。事前に授業で使用する資料を配付しますので、一読しておくことが望ましいです。
科目区分	基盤科目		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	110		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、日本語辞典（電子辞書可）
担当講師	カンワバ タケヒデ 柏葉 武秀 宮崎大学 教育学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年4月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【参考書】 ・思考の教室(戸田山 和久/NHK出版/¥1,980/ISBN=9784140818336) この講義はこの書籍の一部に沿って進みます。購入する必要はありません。
実施会場	宮崎サザンビューティ専門学校 501号室 (宮崎市老松2-1-17)		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2688450	授 業 概 要	【授業内容】 数学で使う言葉には日常の言葉とは違い、独特の言い回しがあります。従って数学を「言語」という観点から捉え直します。外国語を初めて学ぶように、a、b、c、から始め文法を学びます。これらは他の言語と違い単純な構造をもっています。また証明とは何か、正しいとはどういうことか、といった基本的なことを再考します。予備知識は仮定しませんし、自然と環境以外の学生向けの授業でもあります。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 日常使われる言語には、論理的思考を行う際に、よく使われる言葉、言い回しがあり、これらは、数学の言葉としても使われていることを認識することができる。そして、この数学で使われる言葉は、論理学でいう命題論理と述語論理の枠組みの中で説明されることを概観し、その言葉の意味や役割を理解し、身近なものとして捉えてもらうことができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 数学で使う言葉とは 第2回 数学独特の言葉使いについて その1 第3回 幾つか練習をおこなう その1 第4回 数学独特の言葉使いについて その2 第5回 幾つか練習をおこなう その2 第6回 数理的思考について学ぶ 第7回 数学の推論、証明について考える 第8回 証明できること、できないことについて考える
科目名	数学の言葉		【学生へのメッセージ】 予備知識は仮定しません。数学に親しみのない学生さんも受講してください。
科目区分	導入科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 事前配布資料をお送りしますので、分かる範囲で構いませんので、資料を読んでおいてください。シラバス、学生への皆さんへのメッセージの内容から判断して、自己学習に努めてください。また授業後に、配布資料の中から授業内容にあたる部分を再度読んで、復習をしてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	25名		【受講者が当日用意するもの】 学生証
担当講師	クマベ マサヒロ 隈部 正博 放送大学教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年4月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2681854	【授業内容】 この授業では、私たちが暮らす地域社会について、主に都市社会学の観点から学びます。「そもそも都市とは何なのか」、「都市での生活と村落での生活とは何が違うのか」、「町内会とはどのような組織なのか」、「日本の都市や地域社会はどう変わってきているのか」などのテーマについて、できるだけ身近な話題と関連づけながら論じていきます。 【到達目標】 都市社会学が都市や地域社会を研究対象とする際の基本的な視点や問題関心、研究上用いられる概念の意味などについての確に理解し、説明できるようになる。また、それらの視点や概念を活用して、身近な都市や地域の現状や特徴、問題や課題などについて考察・説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 近代大都市は「発見」された：都市社会学の誕生 第2回 都市空間はどのようにかたちづくられるか：同心円地帯モデルとその検証 第3回 都市の生活とは（1）：生活様式としてのアーバンイズムとコミュニティ問題 第4回 都市の生活とは（2）：都市的生活様式論 第5回 町内会という地域組織 第6回 都市社会のしくみ：都市類型と社会構造 第7回 都市とグローバリゼーション（1）：世界都市仮説 第8回 都市とグローバリゼーション（2）：工業都市と日系人 【学生へのメッセージ】 できるだけ入門的な内容を予定していますが、社会学についての基礎知識を学習されているとより理解しやすくなると思います。 【受講前の準備学習等】 皆さんがお住まいの地域あるいは住んだことがある地域（市町村など）についての解説レポートを書いていただく予定です。地域の特徴について自治体のwebサイトなどで調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・都市と地域の社会学（森岡清志・北川由紀彦／放送大学教育振興会／¥2,640／ISBN=9784595318856） 放送授業科目「都市と地域の社会学（'18）」の印刷教材です。 ・都市と地域の社会学（北川由紀彦・玉野和志／放送大学教育振興会／¥2,970／ISBN=9784595324796） 放送授業科目「都市と地域の社会学（'24）」の印刷教材です。 ・よくわかる都市社会学（中筋直哉・五十嵐泰正編／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623065059） 【その他（特記事項）】 都市社会学に関連する放送授業（「都市社会の社会学（'12）」「都市と地域の社会学（'18）」「都市と地域の社会学（'24）」など）と部分的に内容が重なる可能性があります。
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	都市を社会的にとらえる	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	北川 由紀彦 <small>キタガワ ユキヒコ</small> 放送大学教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年4月26日(日) 第1時限 09:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	

科目コード	2688468	授 業 概 要	【授業内容】 文法に対して「おもしろくない」とか「難しい」といったイメージを抱いている人は、少なくないのではないのでしょうか。なかには、小学校や中学校、高校の国語の時間に品詞や活用形を暗記させられて困ったという経験がある人もいるかもしれません。ですが、そもそも文法とは「覚える」ものではなく、「考える」ものです。私たちが普段使っていることばには、規則性があります。ことばを観察し、その規則性について考えるのが文法研究です。本講座では、実際にさまざまな日本語の文を観察し、日本語が持つ文法規則について考えていきます。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 ①ことばを意識的に捉えることができる。 ②格助詞・テンス・ヴォイスといった日本語の文法上の特徴を理解することができる。 ③さまざまな日本語の文を観察し、文法規則について考えることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 はじめに 日本語文法と学校文法 第2回 日本語の文と助詞 (1) 第3回 日本語の文と助詞 (2) 第4回 日本語の文と助詞 (3) 第5回 視点に関わる表現 ヴォイス (1) 第6回 視点に関わる表現 ヴォイス (2) 第7回 時に関わる表現 テンス (1) 第8回 時に関わる表現 テンス (2)
科目名	日本語の文のしくみ		【学生へのメッセージ】 ことばは私たちにとって空気のような存在です。そのため、自分が使っていることばを意識することはあまりないかもしれません。自分の言語直観を働かせて、普段自分が使っていることばについて考えてみてください。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	35名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
担当講師	タナカ リサコ 田中 利砂子 南九州大学短期大学部 准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年5月10日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【参考書】 ・日本人のための日本語文法入門 (原沢伊都夫/講談社/¥1,012/ ISBN=9784062881739)
実施会場	南九州大学 宮崎キャンパス講義室 (宮崎市霧島5丁目1番地2)		

科目コード	2682761	【授業内容】 この授業では、大学での学びを進める上で役立つ問題解決の基本的な手法を学習します。問題発見から目標設定、解決策の考案に至るまでの一連の技法について学びます。授業の前半では、問題解決の考え方や、その振り返りまでの手法を、グループ演習を行いながら学びます。後半ではグループに分かれ、それぞれが設定したテーマについて問題点と解決策の立案を行い、成果をまとめ発表し合います。その後振り返りを行います。これらの演習を通して、授業で得た知識を今後の仕事や学びに活かせることを目指します。
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	演習・問題解決の進め方	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	24名	
担当講師	アキミツ トシオ 秋光 淳生 放送大学准教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年5月17日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	
		【到達目標】 ・問題発見から解決に至る一連の手順を習得できる。 ・自身の思考やアイデアを図解を用いて明確に表現できるようになる。 ・グループで協力し、質の高い情報を収集し、それに基づいて自身の意見を論理的に再構成し、正確に発信できる。 ・多様な意見が交錯するグループ討議の中で、効果的な解決策を導き出すスキルを身につけることができる。
		【授業テーマ】 第1回 アイスブレイク・問題とは何か 第2回 問題発見・目標の設定・振り返り 第3回 アイデアの図解化・グループでのアイデアの整理 第4回 グループワーク(1) 第5回 グループワーク(2) 第6回 グループワーク(3) 第7回 グループワーク・発表 第8回 振り返り
		【学生へのメッセージ】 放送大学には年齢や職業も多様な学生がいます。面接授業はそうした学生が直接話し合う大切な機会です。講義とグループワークを通して今後の学びに活かしていただきたいと思っています。
		【受講前の準備学習等】 事前学習として、放送大学の「学生生活の葉」を読み、放送大学での学び方について理解を深めておいてください。また、シラバスをもとに、「問題」とはどのようなものかを考察し、自分が現在、「問題だ」と思うことを1つ挙げ、その解決策について検討しておいてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・問題解決の進め方(改訂新版)(秋光淳生、門奈哲也/放送大学教育振興会/¥2,420/ISBN=9784595325243)
		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。 「改訂・問題解決の進め方」と一部内容が重複します。

科目コード	2688433	授 業 概 要	【授業内容】 糖尿病、高血圧、脂質異常症等の生活習慣病の予防、低体力者や高齢者の介護予防など、健康志向の運動が地域で活発に行われています。しかし、運動により健康障害を引き起こすこともあるため、運動実践においては基本的な知識と技術が必要となります。本講義では、健康について考えながら自身の健康状態や体力を知り、その上で自身に適した運動の種類や方法を理解できるように、健康運動に関する講義と実技を行います。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 自身の健康状態や体力を知ることができる。 自身に適した運動の種類や方法を理解することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 健康について考える。わが国の健康づくり施策の変遷(担当:吉永) 第2回 体力について考える。体力測定の項目と目的(担当:吉永) 第3回 身体活動のためのエネルギー産生のしくみ(担当:吉永) 第4回 運動とエネルギー消費(担当:吉永) 第5回 体力の測定と評価(担当:畠山) 第6回 目的別運動の選択と評価の視点(担当:畠山) 第7回 健康づくり運動の実践法①(担当:吉永) 第8回 健康づくり運動の実践法②(担当:吉永)
科目名	健康志向の運動実践2		【学生へのメッセージ】 皆さん、小・中・高等学校で体力テストを行ったことがあると思います。過去と現在の自分の体力比べをしてみませんか。現状を知り、健康づくりの運動と一緒に実践しましょう。
科目区分	基盤科目:保健体育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	110		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 体力測定・運動を行いますので、運動できる服装でお越しください。シューズは室内用の運動靴をご準備ください。また、水分補給のための飲み物を持参してください。
担当講師	ヨシナガ サオリ 吉永 砂織 宮崎大学 医学部准教授 ハタケヤマ ヨシアキ 畠山 芳彰 宮崎大学 医学部助教		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月7日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目:保健体育」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
実施会場	宮崎大学清武キャンパス 総合教育研究棟 (宮崎市清武町木原5200番地)		

科目コード	2688476	授 業 概 要	【授業内容】 宮崎県の代表的な博物館である宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館で、コレクションの見学やバックヤードツアーを交えながら、文化芸術について体験的に学びます。1日目の宮崎県総合博物館では地域の歴史と神楽をはじめ特色ある民俗文化や有形文化財について、2日目の宮崎県立美術館では本県出身で日本の現代美術の先駆者である瑛九や、彼に影響を与えたシュルレアリスムの国内外作家の名作コレクション等について、各館の学芸員が専門的な講義や展示解説を行います。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館のコレクションを通して、宮崎の歴史や各地域で育まれた民俗文化、宮崎の近現代美術と同時代に展開された国内外の美術との関係について理解し、関心を持った資料や作品について説明できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館のコレクションと宮崎の文化芸術の特色とは(石川) 第2回 日向国の歴史について(宮地) 第3回 宮崎県の民俗文化について(宮田) 第4回 宮崎県の有形文化財について(酒井) 第5回 宮崎県立美術館の誕生から現在地(梅田) 第6回 瑛九について(小林) 第7回 宮崎の美術について(木村) 第8回 特色ある教育普及活動から(簡単な造作体験を含む)(平田)
科目名	博物館で宮崎の文化芸術を学ぶ		【学生へのメッセージ】 宮崎の文化芸術というとまっさきに思い浮かぶのは神楽でしょうか。古より地域に根差した民俗文化から、日本の現代美術をけん引した瑛九まで、個性的な文化財や美術作品がたくさん存在しています。近接した宮崎県総合博物館と宮崎県立美術館の学芸員の講義と共にコレクションを堪能することで、地域の文化に対する新しい視点が得られるにちがいありません。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 授業が行われる二つの館については、各館のHP等で事前に調べておいてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	イシカワ チカコ 石川 千佳子 放送大学特任教授 サカイ リュウジ 酒井 隆治 宮崎県総合博物館学芸課長 ミヤタ ヤソハチ 宮田 八十八 宮崎県総合博物館主査 ミヤジ キワ 宮地 輝和 宮崎県総合博物館主任主事 ウメダ カズアキ 梅田 一明 宮崎県立美術館副館長 キムラ ユキヒサ 木村 幸久 宮崎県立美術館専門主幹 ヒラタ トモミ 平田 智美 宮崎県立美術館学芸課長 コバヤシ ミキ 小林 美紀 宮崎県立美術館学芸リーダー		【その他(特記事項)】 特別展を観覧する場合は、入場料が発生する場合があります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧(P.5参照))
	日程実施時間		2026年6月6日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10
実施会場	6月6日(土) 宮崎県総合博物館 (宮崎市神宮2丁目4-4) 6月7日(日) 宮崎県立美術館 (宮崎市船塚3丁目210)		

科目コード	2688484	授 業 概 要
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	身の回りのあっと驚く 化学体験5	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	スガモト カズヒロ 菅本 和寛 宮崎大学 工学部准教授	
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月14日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎大学 木花キャンパス講義棟 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)	
<p>【授業内容】 私たちの身の回りは化学物質に満ちており、皆さんは、知らず知らずのうちに色々な化学反応を利用して生活しています。今回は光(可視光線と紫外線)。光を使った色々な化学実験を体験し、身近な光が関わる化学現象を理解していきます。本講義では、あっと驚く楽しい化学実験を体験し、その原理(化学反応など)をわかりやすく解説します。</p> <p>【到達目標】 光(可視光線と紫外線)が関わる身近な化学現象の原理を理解し、自分自身で化学実験をできるようにする。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 CD-Rで光の正体を暴く 第2回 花の色素で謎の白い固体の正体を暴く(手作りバスボムも作成) 第3回 砂糖の秘密? 第4回 あんかけのとりみがサラサラに? 第5回 見えない光(紫外線)の秘密 第6回 輝く植物を探せ 第7回 色々な植物から輝く成分を取り出す 第8回 コーヒーフィルターで植物の輝く成分を分離する</p> <p>【学生へのメッセージ】 簡単に手に入る身近な物を使ってあっと驚く楽しい化学実験を体験します。本講義では、化学実験を体験後、その原理(化学反応など)をわかりやすく説明します。原理を理解すれば自宅でも家族が驚く化学実験を再現できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 汚れても良い服装で来てください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)</p>		

科目コード	2679183	授 業 概 要	【授業内容】 3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。予定している実験は、情報伝達（パートレットの系列的再生）、ミュラー・リャーの錯視、概念学習です。授業時間中にデータ整理、レポート作成をおこないますが、間に合わない場合は、後日レポートを提出していただきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 情報伝達（パートレットの系列的再生） 第2回 論文・レポートの書き方、データ整理、レポート執筆指導 第3回 ミュラー・リャーの錯視 第4回 データ整理、レポート執筆指導 第5回 概念学習 第6回 概念学習 第7回 データ整理、レポート執筆指導 第8回 各レポートの再考・修正
科目名	心理学実験1		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 レポートは、手書きでもノートパソコンを使用して作成してもかまいません。空き時間等で自分のノートパソコンを使用してレポートを作成される方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ナイトウ ケンイチ 内藤 健一 九州医療科学大学 臨床心理学部講師		【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月21日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2688492		【授業内容】 宮崎大学の臨海教育研究施設に1泊し、様々な方法で海の生物を採集し、その多様性を知ること、神秘的なウニの発生現象やプランクトン生物について学ぶ合宿形式の授業です。海の生物を自らの手で採集し、自らの目で観察することの重要性と楽しさを実地で学ぶ授業です。その様な学びを通じ、海洋環境と生物との関わりを理解し、海洋生態系と人間、食資源との関わりについて理解を深めます。 海の生物の面白さをじっくり味わいましょう。実物に勝るものなしです。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	海洋生物学実習2		
科目区分	専門科目：自然と環境		【到達目標】 生物を採集し、実際に手に取って観察することで、海洋生物の多様性や進化についての基礎知識を得ることができるようになる。また、これらの学習を通じて、海洋環境に関する知識や食糧生産の諸問題を解決する能力を身につけることができる。この科目は「地球環境保全」「水圏環境と生物の多様性に関する基礎知識」「環境と食糧生産に関する分析力」についても身につけることができる。
ナンバリング	320		
定員	25名		【授業テーマ】 第1回 動物の系統進化と多様性（講義） 第2回 ウニの人工授精と初期発生の観察 第3回 潮間帯における動物の生態、無脊椎動物の不思議（講義） 第4回 カキ殻に潜む生物の採集と観察 第5回 埠頭におけるプランクトン採集と観察（一部、講義） 第6回 磯での海洋生物の採集 第7回 磯採集生物の同定と観察① 第8回 磯採集生物の同定と観察②、まとめ
担当講師	ウチダ カツヒサ 内田 勝久 宮崎大学 農学部教授		
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 2026年6月28日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	授 業	【学生へのメッセージ】 実習を主体とする2日間の授業を通じ、仲間と協力し、たくさんの海洋生物を集め、自身の目でじっくり観察し、楽しく学びましょう。特別な予備知識はいりません。海の生き物に興味を持たた、大好きになれたと実感できる授業としたいです。
実施会場	宮崎大学 農学部附属次世代農学教育研究 センター・延岡フィールド (水産実験所) (延岡市赤水町376-6)	概	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
		要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 授業の一部に磯採集を含みます。長袖シャツ・長ズボン、履き古した靴下、日除け帽子（または日除けタオル）、濡れてもよい運動靴またはマリンスーツや長靴など、野外観察と採集ができる服装を準備してください。磯での野外観察では、できるだけ素肌を露出させない工夫が必要です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・海に暮らす無脊椎動物のふしぎ（中野理枝 著、広瀬裕一 監修／ソフトバンククリエイティブ／¥1,048／ISBN=9784797363005）
		【その他（特記事項）】 ・延岡フィールドでの宿泊は、2~4名が利用可能な宿泊室の相部屋利用となります。原則、延岡フィールドに宿泊して授業に参加を希望していただきたいですが、宿泊を希望しない方は、近隣のホテル等をご自身で予約し、実験所に通学して参加もできますので、宮崎学習センターに問い合わせてください。また、感染症等の状況により、延岡フィールドに宿泊できない場合も想定されます。その場合、施設近隣のホテル等から延岡フィールドに通学していただくことも想定されます。あらかじめ、ご了解ください。 ・延岡フィールドに宿泊した場合、授業料とは別に、参加費として5,000円程度（食費、布団レンタル代、宿泊料、雑費等）が必要です。参加費は当日現金で徴収します。 ・受講できなくなった場合は、事前に宮崎学習センターに連絡してください。 ・野外での活動、磯採集のできる服装を持参してください。後日、野外での活動時の注意事項や実験所の宿泊利用などをまとめたガイダンス資料を、案内文と共に送付いたします。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）	

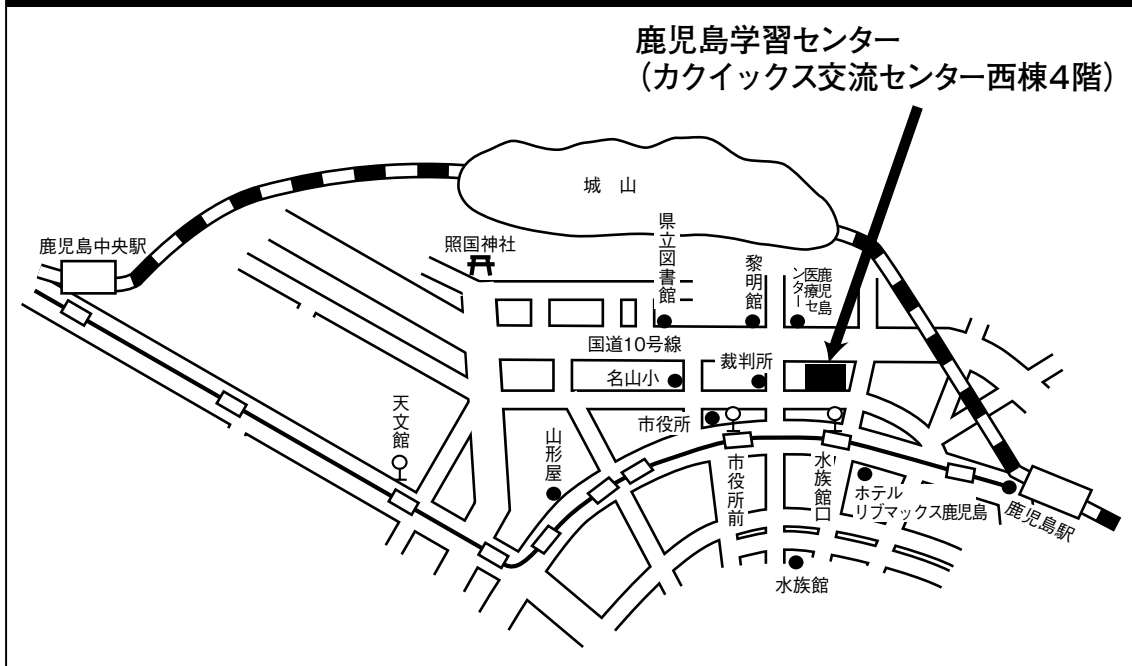
科目コード	2679221	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この授業では3つの心理学実験を行い、得られたデータを分析し、レポートを作成します。予定している実験は、「印象形成」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」です。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
担当講師	オザワ タクヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授	
日程実施時間	2026年7月4日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年7月5日(日) 第1時限 09:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、心理学実験についての概説 第2回 実験1「印象形成」実施・データ整理 第3回 実験1「印象形成」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第4回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」実施・データ整理 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第6回 実験3「メンタルローテーション」実施・データ整理 第7回 実験3「メンタルローテーション」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第8回 実験における倫理的配慮、まとめ、レポート執筆指導等
実施会場	宮崎県婦人会館3F 「さくら」 (宮崎市旭1-3-10)	【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作は習得されていることを望みます。 【受講前の準備学習等】 会場のWi-Fiからインターネットへの接続が必要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、会場にプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2688441	授 業 概 要	【授業内容】 「認知症のことをもっと知ろう」では、認知症の原因となる主な病気や症状の特性など、基本的なことを理解し、それによって引き起こされる認知症の人の心理や行動の変化、認知症の人から見た世界、日常生活への影響について学びます。また、認知症の人のケアの歴史、そして「今」のケア法、認知症本人のみならず介護する家族を含めた支援のあり方や認知症の予防について学びます。
学習センター(コード)	45A		【到達目標】 我が国における認知症ケアは、認知症の人が尊厳を保持しつつその人らしく希望をもって、住み慣れた地域で生活できるよう支援していくことを基本理念としている。そのためには、認知症や認知症の人のことを理解していなければなりません。認知症になる病気や特性、認知症の人の内的世界や具体的なケアの方法、介護する家族の心理等を理解し、認知症の人とその家族に対する支援のあり方について、説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 認知症の基本的理解 第2回 認知症の人の特性と行動の変化の理解 第3回 認知症の人から見た世界と心理 第4回 認知症の人を介護する家族の心理と社会的支援 第5回 認知症のケアの歴史とケアの現在 第6回 認知症ケアの現在 第7回 軽度認知障害と認知症の早期発見・予防 第8回 総括
科目名	認知症のことをもっと知ろう		【学生へのメッセージ】 認知症の人は、2025年には471万人、2035年には565万人になるとわれています。認知症や認知症の人を理解し、認知症の人の意思が尊重され、自分らしく暮らしていくことができる社会（認知症になってもよい社会）、そして認知症にならないよう、どのように生活していけばいいのか考えていきましょう。
科目区分	導入科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	210		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	25名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	イナダ ヒロコ 稲田 弘子 九州医療科学大学 社会福祉学部教授		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	2026年7月11日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年7月12日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

鹿児島学習センター

(コード：46A)

鹿児島学習センター案内図 ☎099-239-3811



【所在地】〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(カクイックス交流センター西棟4階)

【交通アクセス】

- (1) JR九州
鹿児島駅から徒歩10分
鹿児島中央駅から電車・バス約15分
- (2) 電車・バス
水族館口下車徒歩4分

【駐車場】

- ・カクイックス交流センターの地下1階、地下2階が駐車場になっています。
(館内の行事等によっては、満車になる場合もあります。)
- ・放送大学鹿児島学習センター事務室(西棟4階)で学生証を提示し、駐車券の認証を受けると、駐車料が無料になります。
(無料の取り扱いは、放送大学鹿児島学習センター事務室の閉所後、30分までです。)

【その他連絡事項】

面接授業は鹿児島会場(※カクイックス交流センター内)と奄美会場(県立奄美図書館4階)で開講します(一部例外あり)。面接授業時間割表をよく確認し、受講会場を間違えないように注意してください。

- ※カクイックス交流センター内会場
鹿児島学習センター講義室(西棟4階)
大研修室第1(東棟3階)
大研修室第3(東棟4階)

科目コード	2679183	授 業 概 要	【授業内容】 心理学の2つの実験（ミュラー・リヤー錯視、社会的促進）を取り上げます。それらを通して、心理学実験の方法論、データ分析の仕方、レポートの書き方を学ぶことを目的とします。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、すべての実験それぞれにレポートを作成・提出する必要があります。
学習センター(コード)	46A		【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理学実験の基礎知識（統計検定の考え方を含む） 第2回 ミュラー・リヤー錯視の実験① 第3回 ミュラー・リヤー錯視の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第4回 ミュラー・リヤー錯視の実験③（レポート作成法を含む） 第5回 社会的促進の実験① 第6回 社会的促進の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第7回 社会的促進の実験③（グループディスカッションを含む） 第8回 まとめ（レポートの書き方のコツを含む）
科目名	心理学実験1		【学生へのメッセージ】 心理学の基礎的な実験を学ぶ中で、「心」という曖昧な対象に対して科学的にアプローチする視点を修得してほしいと思っています。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることをご了承ください。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、電卓（スマートフォンの電卓機能があれば可）
担当講師	オオゾノ ヒロキ 大 園 博 記 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年4月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2679019	【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	17名	
担当講師	オカムラ ヒロアキ 岡村 浩昭 鹿児島大学 学術研究院理学系教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年4月26日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	
授業概要	【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。	
	【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）	
	【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。	
	【受講前の準備学習等】 「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。	
	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。	
	【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。	
	【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0） 授業当日に配布します。	
	【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0） PDF/ダウンロード方法は授業で説明します。	
	【その他（特記事項）】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。	

科目コード	2679264	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、実際の検査体験を通して、心理検査への理解を深めることを目的としています。特に検査者や被検査者双方の体験を通して、検査実施の意義を学ぶことが中心となります。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、すべての実験それぞれにレポートを作成・提出する必要があります。
学習センター(コード)	46A		【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、心理検査の成り立ち・検査倫理 第2回 心理検査の信頼性・妥当性・テストバッテリー 第3回 検査実習1 知能検査 WISC-IV 実施 第4回 検査実習1 知能検査 WISC-IV 解説 第5回 知能・発達検査・質問紙法・投影法の解説 第6回 検査実習2 質問紙法 Big Five尺度 第7回 検査実習3 投影法 バウムテスト 実施・解説 第8回 心理検査のまとめ、レポート執筆指導
科目名	心理検査法基礎実習		【学生へのメッセージ】 この実習は、検査者や被験者体験を重視します。心理検査の実施者側と実施される側の両方を経験することで、心理検査についての体験的理解を深める機会になればと考えています。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	26名		【受講者が当日用意するもの】 鉛筆、消しゴム、ボールペン、電卓を用意してください。
担当講師	ヒラタ ユウタロウ 平田 祐太郎 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年4月26日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	カクイクス交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50）		

科目コード	2688557	授 業 概 要
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	情報ネットワーク論	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	210	
定員	40名	
担当講師	イチカワ ヒデタカ 市川 英孝 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授	
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年5月10日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	
<p>【授業内容】 インターネットは私たちの生活に不可欠となっています。そのテクノロジーはますます進化、発展していますが、それを有効に、安全に使用する環境となっていないのはなぜでしょうか。 この授業では、情報という概念をしっかりと整理し、SNSやAIなどのテクノロジーとどう上手く付き合うのか、そしてインターネットの使い方の本質について考えていきます。</p> <p>【到達目標】 新しいテクノロジーやサービスが次々生まれ、それが社会にいろいろな影響を与えるなかで、その仕組みの本質を捉え説明できる。多くの人々がどのように情報に接し、行動につながっているのかを理解したうえで、自身の情報の取得と、その活用する方法について考え、自分の考えを説明できる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 情報とは 第2回 インターネットのリスクとメリットを考える 第3回 企業がインターネットをどのように利用しているのか 第4回 インターネットと社会との関係 第5回 スマホを便利な道具にするには 第6回 SNSやAIはどうやって運用されているのか 第7回 テクノロジーを上手に利活用するには 第8回 情報との向き合い方考える</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業では情報について考えてもらいます。インターネット上の情報だけでなく、社会一般の情報も含めて授業を進めます。授業では他の受講生の意見を聞いて、情報について自身の考えの整理を心がけてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 新聞・テレビ・インターネット等、普段自分はどうのように情報に接しているか考え、整理しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 ・「ネット世論」の社会学 データ分析が解き明かす「偏り」の正体（谷原つかさ/NHK出版/¥1,023/ISBN=9784140887257）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。</p>		

科目コード	2688565	【授業内容】 雨はなぜ降るのか。風はなぜ吹くのか。雲はどこからやってくるのか。日常で当たり前のことを「なぜ？」と不思議に思って突きつめると、自然を解明する面白さを味わえます。気象学を学ぶことは地球の営みと暮らしのかかわりを考えることで、気象学の基礎が分かれば天気予報など気象情報を一層読み解くことができるようになります。さらに最近の気象災害や防災に関する番組を視聴し、今後の地域防災にとって重要なことを一緒に考えましょう。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	くらしのお天気学	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	<small>カメダ コウイチ</small> 亀田 晃一 (株)南日本放送報道制作局 次長兼ウェザーセンター長	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年5月17日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿兒島学習センター 講義室	【到達目標】 ・天気図を見て、自分の今後の天気変化が理解できる。 ・温帯的気圧、高気圧、台風の構造が理解できる。 ・様々な種類の雲がどうしてできるかを説明できるようになる。 ・気象災害が起こるメカニズムが分かる。 ・地域防災の課題を理解し、今後何が重要なのか議論できる。
		【授業テーマ】 第1回 天気図の見方 第2回 天気に関する物理現象の基礎 第3回 高気圧、低気圧、台風の仕組み 第4回 気象観測技術の発達 第5回 天気予報の仕組み 第6回 気象情報の理解と活用 第7回 気象災害・地域防災の番組視聴 第8回 気象災害の減災に向けて
		【学生へのメッセージ】 天気予報や気象情報への理解を深めていただき、いざという時に主体的に考え行動できるようになりましょう。
		【受講前の準備学習等】 気象現象への疑問、理解できない気象情報、これまで身の回りで起こった気象災害を調べておいてください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 赤青の色鉛筆。また可能であれば、ノートPC、タブレット端末、スマートフォンを持参ください。気象に関するHPを見たりします。ただし、なくても授業に差し支えありません。
		【教科書】 教科書は使用しません。
		【参考書】 ・新 百万人の天気教室（2訂版）（白木正規／成山堂書店／¥3,630／ISBN=9784425513536）
		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2688603	授 業 概 要	【授業内容】 現代の心理学は、測定されたデータから法則や理論を導き出すことと、これら法則や理論が正しいとすればきつこうなるはずだといった予測を測定したデータによって確かめてみることに、この循環によって、生体行動を体系的に理解しようとしています。 この授業では、心理学の基本的な研究方法や測定法について学びます。心理学の歴史は測定の歴史とも言われますが、心理学で用いられる基本的な研究方法や測定法、方法論について学ぶことは、心理学の本質的な理解に役立つと考えています。
学習センター(コード)	46A		【到達目標】 ・心理学の研究方法に係る基本的な用語や概念を理解し、適切に説明できる。 ・科学的実証のロジックについて理解し、説明できる。 ・基本的な研究方法について理解し、説明できる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理学研究法イントロダクション 実証のロジック 第2回 心理学研究法概説1 データを集める、実験法、観察法、調査法 第3回 心理学研究法概説2 実証のためのプロセスと考え方、実験的研究と相関的研究 第4回 実験的研究法1 独立変数の操作、従属変数の測定、測定の信頼性と妥当性 第5回 実験的研究法2 剰余変数の統制、得られたデータの解釈と記述 第6回 相関的研究法 因果関係と相関関係 第7回 調査法の基礎 質問票の構成、リサーチ・リテラシー（データを読み取る力） 第8回 総まとめ
科目名	心理学研究法の基礎		【学生へのメッセージ】 この授業の内容は、方法論（研究法や測定法）から学ぶ心理学という見方もできます。受講に際しては、数学等の特別な知識は必須ではありません。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び第8回授業後半に行う試験の評点により行います。（試験では、講義ノートや配布資料を参照することを妨げません。）
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等
担当講師	カミヅノ ヨシユキ 神 菌 紀 幸 志学館大学 人間関係学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年5月24日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		【その他（特記事項）】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究、統計学など）を受講し、2単位程度を修得済みであることが望ましいですが、必須ではありません。
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2688573		【授業内容】 海洋から食料を供給する水産業は、わたしたちが生きていく中で重要な役割を担っており、海の豊かさを守りながら持続的に利用していくことが求められます。 鹿児島大学大型練習船「かごしま丸」における1泊2日の乗船中に、航海技術や海洋観測などの実習や食料生産に関する講義を行います。 世界の海に数多くの船舶が航行する中での航海士の役割、気候変動や海洋環境の変化を知る手掛かりになる海洋観測を実体験して、海洋の持つ役割について理解を深めます。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	鹿児島湾洋上実習		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220		
定員	20名	授業概要	
担当講師	<p>ハバノ アキマサ 幅野 明正 かごしま丸船長/ 鹿児島大学准教授</p> <p>フクダ リュウジ 福田 隆二 かごしま丸航海士/ 鹿児島大学助教</p> <p>マキノ フミヒロ 牧野 文洋 かごしま丸航海士/ 鹿児島大学助教</p> <p>ハタバ カナコ 畑辺 佳奈子 かごしま丸航海士/ 鹿児島大学助教</p> <p>エバタ ケイゴ 江幡 恵吾 鹿児島大学 学術研究院水産学系准教授</p>		
日程実施時間	<p>2026年5月30日(土)</p> <p>第1時限 10:00~11:30 第2時限 13:00~14:30 第3時限 14:40~16:10 第4時限 18:00~19:30</p> <p>2026年5月31日(日)</p> <p>第1時限 8:50~10:20 第2時限 10:30~12:00 第3時限 12:50~14:20 第4時限 14:30~15:15</p> <p>試験・レポート等 15:15~16:00</p>		
実施会場	鹿児島大学水産学部 附属練習船かごしま丸 (鹿児島市南栄5丁目29)		
	【到達目標】 大型船舶の航海技術、CTD観測、採泥、プランクトン採集などの海洋観測に関する実習、および魚の獲り方と海洋環境に関する講義を通して習得したことをもとに、海洋と人間との関係について、自らが付いた点や問題点を整理したうえで、今後、取り組んでいかなければならないことを提案できること。		
	【授業テーマ】 第1回 (室内講義) 乗船実習と船内生活の概要：ガイダンス、緊急時の避難訓練(幅野・福田・畑辺・江幡) 第2回 (船内活動) 練習船の見学：操舵室、船内設備、安全設備(畑辺・江幡) 第3回 (室内講義) 海洋環境と水産業(江幡) 第4回 (室内講義) 魚の獲り方と海の問題(幅野) 第5回 (洋上実習) 航海技術実習：航海士の役割、機関室の機能、ロープワーク実習(福田・牧野・畑辺・江幡) 第6回 (洋上実習) 海洋観測実習1：CTD観測、採水、透明度測定(福田・牧野・畑辺・江幡) 第7回 (洋上実習) 海洋観測実習2：採泥、プランクトン採集・観察(福田・牧野・畑辺・江幡) 第8回 (室内講義) 海洋のもたらす恩恵と持続的利用における課題：2日間のまとめ(江幡)		
	【学生へのメッセージ】 生命活動の根源でもある海洋は地球の表面積の約7割を占め、特に生物多様性が豊かな沿岸域は、わたしたちの食料を生産する重要な場でもあります。鹿児島湾と直接触れ合うことで海洋の魅力と意義について、地球環境の観点から考えを深めてもらいたと思います。		
	【受講前の準備学習等】 書籍やインターネット検索を利用して海洋に関する基本学習に努めてください。 参考サイト ・ 錦江湾探検隊ホームページ： http://www.fish.kagoshima-u.ac.jp/fish/kinkowan/index.html ・ 鹿児島県水産技術開発センターホームページ： http://suigi.jp		
	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。		
	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
	【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・ 船内は4層構造で急傾斜の階段が多いため、健康で階段の昇降に支障のない方に限ります。 ・ 授業料とは別に、参加費・交通費として合計14,300円程度が必要です。《内訳：かごしま丸共同利用料(10,000円)、食費・シーツ等洗濯代(1,800円程度)、交通費(3,500円程度)》※乗船日10日前以降のキャンセルの場合は、食費・シーツ等洗濯代(1,800円程度)をいただきます。 ・ 1日目は午前9時頃学習センターに集合します。バスで谷山港のかごしま丸まで移動し、船内で受講・宿泊します。2日目は講義終了後下船し、バスで移動して、午後5時半頃学習センターで解散予定です。 ・ 船内の居室は2名から4名の相部屋です。 ・ 野外活動ができる服装と靴でお越しください。 ※詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 ・ かごしま丸(文部科学省教育関係共同利用拠点施設)で海洋観測実習などを行いますので、天候などの状況に応じて時間割を変更する場合があります。 ・ 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください(面接授業開設科目一覧(P.5参照))。		

科目コード	2688590	【授業内容】 新型コロナの感染拡大では必要な入院医療が受けられず、自宅でなくなる人も出ました。また、現在の物価高で生活に困窮する人も増大しています。なぜ、こうした事態に至ったのかを、日本の社会保障の問題点にふれながら、医療・公衆衛生、介護、年金、生活保護（公的扶助）、財源問題にわたって解明し、課題を展望します。 この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（面接授業時間割表（P.133参照）） 【到達目標】 社会保障のしくみ（本講義で扱うのは年金、医療・介護、公衆衛生）について理解を深めるとともに、医療・介護・公衆衛生については、看護師国家試験に合格できるレベル、年金については社会福祉士国家試験に合格できるレベルの知識を身につけ、説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 社会保障をめぐる現状と法体系 第2回 医療・公衆衛生（その1）－医療保険 第3回 医療・公衆衛生（その2）－高齢者医療と医療提供体制 第4回 医療・公衆衛生（その3）－公衆衛生 第5回 介護 第6回 年金 第7回 生活保護（公的扶助） 第8回 社会保障の課題－財源問題を中心に 【学生へのメッセージ】 年金など日本の社会保障について詳しく知りたい人、医療や福祉の現場で働いている人、講義概要に記したような疑問を持った人の受講を期待しています。 【受講前の準備学習等】 テキスト『日本の社会保障』を購入し、シラバスの授業内容に沿って該当箇所を事前に読み込み、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 ・日本の社会保障（伊藤周平／ちくま新書／¥1,430／ISBN=9784480076960）
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	社会保障のしくみと法	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	イトウ シュウヘイ 伊藤 周平 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授	
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年5月31日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	

科目コード	2688506	【授業内容】 この授業は、国際的な観光・航空・ホテルでの英語力の向上を目指す人を対象としています。カスタマーサービスや文化交流など、観光に関わるさまざまな場面でのコミュニケーション能力の向上に重点を置いています。 【到達目標】 1. 生活や仕事に役立つ実践的な英語コミュニケーション能力を高め、会話ができる。 2. 接客、広報、航空関連などのサービス業で実践的な英語表現を学び、会話ができる。 【授業テーマ】 第1回 Introductions & Talking About Travel 第2回 Customer Service Industry 第3回 Customer Service English 第4回 Tour Guide Skills 第5回 Customer Service Airlines 第6回 Customer Service Hotels 第7回 Problems & Complaints 第8回 Final Presentation 【学生へのメッセージ】 この授業は英語力の向上だけでなく、楽しく観光英語を学ぶことも目的としています。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、グループ発表により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	英語で世界を旅する	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	40名	
担当講師	ワトソン マシュー Watson Matthew 鹿児島純心女子短期大学 英語科講師	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年6月7日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	

科目コード	2688611	授 業 概 要	【授業内容】 『源氏物語』の作者は紫式部とされていますが、紫式部が書いた『源氏物語』は現存しません。『源氏物語』はさまざまな人々によって書写されてきて、現在に伝わっています。そのため、少しずつ本文に違いがあります。本講義では、現存する『源氏物語』は誰の手によるものなのかという、『源氏物語』を知るうえで基本的事項および古典文学を読む際の基本事項を押さえたうえで、『源氏物語』の正編の一部を簡単に見ていきます。
学習センター(コード)	46A		【到達目標】 『源氏物語』の正編第一部にある、「須磨」巻および「明石」巻を読む。とくに、高等学校の教科書でよく採り上げられる場面を中心に、読解を進める。「官位相当表」や平安京条坊図を基にして、より詳細な読みができるようになる。また、日本における「写本」文化が具体的にどのようなものなのかを知り、説明できるようにする。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 現存する『源氏物語』の作者は紫式部ではない？ 第2回 平安文学を読む際の基礎知識を身につけよう 第3回 「須磨」巻(1) 第4回 「須磨」巻(2) 第5回 「須磨」巻(3) 第6回 「明石」巻(1) 第7回 「明石」巻(2) 第8回 「明石」巻(3)
科目名	源氏物語の正編 (須磨・明石巻)		【学生へのメッセージ】 本講義は、第1回目と第2回目のレベルを高く設定しています。『官職要解』(和田英松)といった、官職に関する書籍を事前に読んでおくと、理解が深まります。理解が追いつかない際には、質問を受け付けていますので、「分からない」ままにしないでください。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	武藤 那賀子 <small>ムトウ ナガコ</small> 鹿児島国際大学 国際文化学部教授		【参考書】 ・新訂 官職要解 (和田英松、所功/講談社/¥2,090/ ISBN=9784061586215)
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年6月7日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第1 (東棟3階) (鹿児島市山下町14-50)		

科目コード	2688530	授 業 概 要	【授業内容】 農業という産業は、単に雇用を与えるだけでなく、国民への食料提供という大きな使命をもっています。しかし、今の日本では、農業の担い手不足、高齢化が進み、食料自給率は先進国でもとりわけ低い水準であり、耕作放棄地も増えています。どうすれば日本農業は立ち直れるのか、持続的な農業のあり方が求められています。 戦後日本の農業や農業政策を学び、日本農業の課題や農業政策の方向性について考えていきます。
学習センター(コード)	46A		【到達目標】 ・農業分野で出てくる基本的な農業用語や統計資料を理解し、日本農業の現状を知ることができる。 ・戦後から80年余、実際に行われた日本の農業政策の経緯をたどることにより、その問題点を説明することができる。 ・欧米の農業と比較しながら、技術革新や規制の緩和がなされている現代において、日本農業の将来のために必要な政策や施策をあげることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 3つの食料自給指標（食料自給率、食料国産率、食料自給力）について 第2回 農地改革・農地法の功罪と、最近期待されている企業の農業への参入について 第3回 減反政策と食糧管理制度について（コメ政策の経緯と問題点） 第4回 農産物自由化（市場開放）と現在の世界農産物貿易の潮流 第5回 安倍政権下でなされた農業改革（「いわゆる減反廃止」と農協改革）について 第6回 これからの日本農業の担い手（集落営農、農業法人グループなど）について 第7回 農産物直売所と農産物流通改革（ネット販売、中規模流通など） 第8回 稼げる農業と六次産業化・ブランド化について
科目名	日本の農業政策		【学生へのメッセージ】 この授業では、政策の内容の理解も大切ですが、その政策が出てきた理由や歴史的背景を理解してもらうことも大切にしています。
科目区分	導入科目：社会と産業		【受講前の準備学習等】 農業に関する用語は、農林水産省のサイトに編集されていますので、インターネットで事前に調べておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	キタザキ コウジ 北崎 浩嗣 鹿児島大学名誉教授		【参考書】 ・農業新時代（川内イオ／文藝春秋／¥880／ISBN=9784166612369）
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年6月14日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第1（東棟3階） （鹿児島市山下町14-50）		

科目コード	2688620	授 業 概 要	【授業内容】 2025年の関西万博、1970年の大阪万博など、日本でも万博（万国博覧会）が開催されてきましたが、その起源は1851年のロンドン万博にあります。授業では、ロンドン万博を素材としてヴィクトリア時代（1837～1901年）のイギリス社会（イギリス帝国も含みます）をみていきます。その際、万博だけではなく、同時代に出された小説や風刺画なども使って、できるだけ多面的に社会の様子を捉えようと思います。さらに、20世紀以降の万博もとりあげ、万博で映し出される世界観が変容していく様子もみていきます。
学習センター(コード)	46A		【到達目標】 ・ヴィクトリア時代のイギリス社会について理解し、説明することができる。 ・様々な資料を活用し、社会を多面的に捉え、説明することができる。 ・世界の捉え方が変容していることを長期的に理解し、説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 インTRODクシヨーン—ロンドン万博から大阪・関西万博まで 第2回 ロンドン万博とヴィクトリア期イギリス社会（1） 第3回 ロンドン万博とヴィクトリア期イギリス社会（2） 第4回 ロンドン万博とヴィクトリア期イギリス社会（3） 第5回 ロンドン万博とヴィクトリア期イギリス社会（4） 第6回 ロンドン万博とヴィクトリア期イギリス社会（5） 第7回 万博が映し出す世界—ヨーロッパとアジア、近代と現代（1） 第8回 万博が映し出す世界—ヨーロッパとアジア、近代と現代（2）、まとめ
科目名	万博を通して 時代を読む		【学生へのメッセージ】 西洋史って苦手だなと思う方もいるかもしれませんが、できるだけわかりやすい解説に努めます。また、小説や風刺画なども使うことで、当時の社会の様子を実感できるような工夫もしたいと思っています。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ホソカワ ミチヒサ 細川 道久 鹿児島大学名誉教授		
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年6月14日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2688638	【授業内容】 「地方史誌」（歴史を中心に地方を描く総合的書物）の編纂は、東アジアでは中国の地方志に端を発し、全域にてそれぞれ独自の伝統として成立しました。今回の授業では、朝鮮・ヴェトナムにおける地方史誌編纂の歴史を、時代ごとの社会・文化の変化と併せてみていきます。特に、朝鮮・ヴェトナムの歴史編纂、及びそれぞれの国際関係史の視点を踏まえながら考えることで、それぞれの「地方史誌」「歴史編纂」の歴史的意義を考える機会になればと思います。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	東アジア地方史誌入門 －朝鮮越南	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	コニタ アキラ 小二田 章 放送大学准教授	【到達目標】 朝鮮・ヴェトナムにおける「地方史誌」編纂の歴史と社会との影響関係を知りその背景を考えることで、「歴史を編む」という普遍的な営みが社会・人々に与えた影響、それ自体の意義の一端を理解し、説明できるようになる。また、歴史編纂のありようを通じて、社会・文化が独立して成り立つものではなく、他の社会・文化との相互作用であることを理解し、説明できるようになる。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年6月21日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	【授業テーマ】 第1回 「地方」・「史書」以前：朝鮮1（三国期まで） 第2回 統一の模索と「歴史」の芽生え：朝鮮2（新羅・高麗） 第3回 「地方」と「歴史」をめぐって：朝鮮3（朝鮮王朝） 第4回 他者の「地方」・「歴史」から：ヴェトナム1（北属期） 第5回 「民族の時代」と「歴史」の芽生え：ヴェトナム2（李朝・陳朝） 第6回 「地方」を「地方」にできるのか：ヴェトナム3（黎朝・阮朝） 第7回 「地方史誌」とその研究が示す可能性：朝鮮・ヴェトナム4（近現代） 第8回 まとめ
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	【学生へのメッセージ】 世界史、日本史の初心者も歓迎します。 受講される方は、受講前に「試験事前出題」（4月中旬に受講者へ郵送）の内容を読み、課題を選択し課題文をプリントアウトして、要約・回答の草稿を作っておいてください（授業と対比して、その内容を修正し、試験に臨めるように）。
		【受講前の準備学習等】 「学生メッセージ」に書きましたが、受講前に「試験事前出題」（4月中旬に受講者へ郵送）の内容を読み、課題を選択し課題文をプリントアウトして、要約・回答の草稿を作っておいてください。また、適宜興味を持った参考書に目を通しておくとよいでしょう。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 筆記具（メモをとる、毎回のリアクションペーパーを書く）をお持ちください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・韓国朝鮮の歴史と文化（須川英徳、三ツ井崇（編著）／放送大学教育振興会／¥3,850／ISBN=9784595322563） ・東南アジアの歴史（古田元夫（編著）／放送大学教育振興会／¥4,400／ISBN=9784595318580） 価格はAMAZONの最新価格。 ・地方史誌から世界を読む（小二田章（編）／勉誠社／¥8,800／ISBN=9784585320647） ・地方史誌から世界史へ（小二田章（編）／勉誠社／¥8,800／ISBN=9784585320289） ・書物のなかの近世国家—東アジア「一統志」の時代（小二田章、高井康典行、吉野正史（編）／勉誠出版／¥3,300／ISBN=9784585325055）
		【その他（特記事項）】 第8回（まとめ）には、配布した全てのレジュメ、事前出題の課題文プリントアウトとその回答原稿を必ずお持ちください。

科目コード	2688581	授 業 概 要	【授業内容】 本講義は「数学を楽しむ」をテーマに、数学の魅力を身近に感じてもらうことを目指します。公式や計算に縛られるのではなく、数学のもつ美しさや不思議さ、日常生活や芸術、自然の中に潜む数学的な構造に触れることで、数学を新たな視点で捉えるきっかけを提供します。 パズルやゲーム、図形の美しさ、数字の不思議、確率の驚きなど、具体的に興味深いトピックを通じて「考える楽しさ」を体験していただきます。 専門的な数学の知識は必要ありません。数学に苦手意識のある方でも安心して取り組める内容です。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	娯楽の数学		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	アオヤマ キワム 青山 究 元鹿児島大学 学術研究院理学系講師		
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年6月28日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		
		【到達目標】 ・立体の切断や畳み方を通じて空間認識を深め、特定の条件に従って立体を切断したり展開図から立体を組み立てることができる。 ・パリティや2進数の概念を理解し、論理的思考を用いて問題を解決できるようになる。 ・パズルを解く工夫を通じて数学的推論ができるようになる。 ・何事にも適切に加減乗除して正しく理解できるようになる。	
		【授業テーマ】 第1回 立体を真っ二つに切って楽しむ 第2回 パリティ(奇偶性)を楽しむ 第3回 立体を畳んで楽しむ 第4回 川渡りパズルを楽しむ 第5回 柔らかい幾何学を楽しむ 第6回 偽金貨パズルを楽しむ 第7回 2進数を楽しむ 第8回 加減乗除くらはいは計算して楽しむ	
		【学生へのメッセージ】 サインコサイン出てきません、微分積分いたしません。数学の潜むパズルなどを解いて頭の無駄遣いをします。なお、授業で使うパズル等は自作していただきます、こちらもお楽しみください(材料はこちらで用意します)。	
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。	
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
		【受講者が当日用意するもの】 ハサミ、セロテープ	
		【教科書】 教科書は使用しません。	
		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください(面接授業開設科目一覧(P.5参照))。	

科目コード	2688549	授 業 概 要	【授業内容】 上手な絵=本物そっくりの絵と思う人が多いです。現代の上手な絵は、それ以外の様式のものも当てはまります。絵画の歴史を学ぶことで、絵の様式の変遷がわかります。同時に、「描き方」の変遷も学びます。様々な描き方を理解したうえで、鉛筆によるスケッチを通して形・空間・明暗の表現方法を確認します。また水彩画を描くことで、色彩表現や水彩技法についても学びます。
学習センター(コード)	46A		【到達目標】 1. 絵画の造形要素について理解し、各作品と造形要素との相関を説明することができる。 2. 西洋絵画における様式や技法の変遷について理解ができる。 3. 絵画の色彩の役割について理解ができる。 4. 鉛筆スケッチを通して、量、質、動勢の表現と空間の把握ができる。 5. 水彩画制作を通して、構図や効果的な水彩技法についての理解ができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 上手な絵とは、必要な造形要素とは 第2回 西洋絵画における様式・技法の変遷 第3回 制作 鉛筆によるスケッチ：遠近法を使って 第4回 制作 鉛筆によるスケッチ：明暗をつけて 第5回 絵画における色彩技法 第6回 絵具の仕組み・種類とその技法 第7回 制作 様々な水彩技法を試す 第8回 制作 水彩による構想画
科目名	絵の見方・描き方		【学生へのメッセージ】 絵を描くことが苦手な人でも全く問題ありません。絵画の歴史・技法を学ぶことで、自分に合った上手な絵が描けるようになります。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 色々な絵画作品を見て、その特徴などを把握しておいてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、鉛筆スケッチおよび水彩による作品とレポートの評点により行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 授業当日はスケッチブック(F6号)と練りゴムを購入していただきます(合計1,000円をご用意ください)。また、鉛筆(B~4Bなど)、定規(20~30cm程度)、水彩絵具セット(水彩絵具、筆、パレット、水入れ)をご持参ください。水彩絵具は小学校で使用するもので結構ですが、100円ショップのものは避けてください。
担当講師	オケダ ヒロアキ 桶田 洋明 鹿児島大学 学術研究院教育学系教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年7月4日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年7月5日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください(面接授業開設科目一覧(P.5参照))。
実施会場	鹿児島学習センター 講義室(西棟4階) カクイックス交流センター 絵画制作室(東棟5階) (鹿児島市山下町14-50)		

科目コード	2688514	授 業 概 要	<p>【授業内容】 私たちは不規則な生活習慣がいけないとわかっていながら、ついその習慣をしてしまう時があります。生活習慣には、ストレス発散、楽しみ、人生の目標になるものも含まれます。しかし、病気になると、生活習慣に制限・制約が余儀なく求められると変更せざるを得なくなります。本授業では、不規則な健康習慣（暴飲暴食、喫煙、飲酒、スマホ依存、寝不足）がもたらすリスクを学び、生活習慣改善ができるための実践法について、演習を取り入れながら学んでいきます。</p> <p>【到達目標】 ・人はなぜ不規則な生活習慣を送ってしまうのか、行動特性について述べることができる。 ・人はどのようにすれば生活習慣改善ができ継続できるのか、必要な概念を学び説明できる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 不規則な生活習慣がもたらすリスクについて 第2回 生活習慣病になるとどうなるのか 第3回 生活習慣病につながる性格特性・行動特性 第4回 健康食品とサプリメント 第5回 人の意識と行動を変えるための考え方・モデル 第6回 生活習慣改善プラン①<食事編> 第7回 生活習慣改善プラン②<運動編> 第8回 第1回～7回までのまとめ・発表会</p> <p>【学生へのメッセージ】 みなさんにも長年続けている生活習慣があると思います。健康に過ごすためには毎日の生活習慣が大切になります。授業では、様々な事例をもとに生活習慣改善プランを実際に作り、意見交換を行います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	生活習慣改善のための行動療法		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	25名		
担当講師	ニシオ イクコ 西尾 育子 鹿児島大学 学術研究院医学系教授		
日程実施時間	2026年7月11日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年7月12日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

鹿児島学習センター奄美会場実施科目(46A)

※ 奄美会場で開講する科目は以下の2科目です。鹿児島学習センターでは実施しませんので、実施会場をお間違えのないようご注意ください。

科目コード	2688522	【授業内容】 世界の熱帯・亜熱帯農業、湿潤、乾燥地農業の特色と技術、問題点などについて紹介し、我が国の農業とどのように違うかを比較しながら説明します。また海外で栽培される特色ある工芸作物（繊維料、油料、糖料、嗜好料作物など）を紹介します。加えて世界の農業・食料生産に影響を及ぼしている地球温暖化、沙漠化について紹介し、その原因と世界で行われている対策、食料生産の現場での対応について農学の面から解説します。 【到達目標】 ・現在の世界の農業に及ぼす環境要因について理解し説明できる。 ・工芸作物についてどのような作物があり、どのように利用されてきたか理解でき、説明できる。 ・沙漠化の原因と農業に対する影響および環境修復について理解し、説明できる。 ・地球温暖化の原因と影響、農業に対する影響および環境修復について理解し、説明できる。 【授業テーマ】 第1回 世界の農業問題と世界の作物 第2回 気象条件・土壌条件が農業に及ぼす影響 第3回 世界の工芸作物（繊維料作物、嗜好料作物、香辛料作物） 第4回 世界の工芸作物（油料作物・バイオ燃料作物） 第5回 湿潤地域の作物栽培と課題 第6回 乾燥地域の農業と課題 第7回 沙漠化と土地荒廃 第8回 温暖化と作物栽培 【学生へのメッセージ】 世界の農業は日本とどう違うのでしょうか。どんな作物が栽培されているのでしょうか。また、地球温暖化の影響は？どうやって防ぐのか、広がりつつある沙漠と農業の関係など、地球人の一人として考えてみませんか。 【受講前の準備学習等】 ・世界の食糧問題、地球温暖化、沙漠化などの現状について新聞等で把握しておくこと講義がわかりやすいと思います。 ・シラバスの各回のテーマから関係ある書籍により事前学習をお願いします。 ・授業で学修した内容や興味を持ったことを調べるなど、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・熱帯作物学（志和地弘信・遠城道雄（編）／朝倉書店／¥3,960／ISBN=9784254410426） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（面接授業開設科目一覧（P.5参照））。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	世界の作物栽培と温暖化・沙漠化	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	シミズ カツヨシ 志水 勝好 鹿児島大学 学術研究院農学系教授	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 第5時限 16:50～18:05 試験・レポート等 18:05～18:20 2026年5月24日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:10 第3時限 13:00～14:30 試験・レポート等 14:30～15:00	
実施会場	鹿児島県立奄美図書館 第1研修室（4階） （奄美市名瀬古田町1-1）	

科目コード	2688590	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（面接授業時間割表（P.124参照）） 新型コロナの感染拡大では必要な入院医療が受けられず、自宅でなくなる人も出ました。また、現在の物価高で生活に困窮する人も増大しています。なぜ、こうした事態に至ったのかを、日本の社会保障の問題点にふれながら、医療・公衆衛生、介護、年金、生活保護（公的扶助）、財源問題にわたって解明し、課題を展望します。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	L		
科目名	社会保障のしくみと法		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	イトウ シュウヘイ 伊藤 周平 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授		
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年5月31日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	鹿児島県立奄美図書館 第1研修室（4階） （奄美市名瀬古田町1-1）		
		【到達目標】 社会保障のしくみ（本講義で扱うのは年金、医療・介護、公衆衛生）について理解を深めるとともに、医療・介護・公衆衛生については、看護師国家試験に合格できるレベル、年金については社会福祉士国家試験に合格できるレベルの知識を身につけ、説明できるようになる。	
		【授業テーマ】 第1回 社会保障をめぐる現状と法体系 第2回 医療・公衆衛生（その1）－医療保険 第3回 医療・公衆衛生（その2）－高齢者医療と医療提供体制 第4回 医療・公衆衛生（その3）－公衆衛生 第5回 介護 第6回 年金 第7回 生活保護（公的扶助） 第8回 社会保障の課題－財源問題を中心に	
		【学生へのメッセージ】 年金など日本の社会保障について詳しく知りたい人、医療や福祉の現場で働いている人、講義概要に記したような疑問を持った人の受講を期待しています。	
		【受講前の準備学習等】 テキスト『日本の社会保障』を購入し、シラバスの授業内容に沿って該当箇所を事前に読み込み、自己学習に努めてください。	
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。	
		【教科書】 ・日本の社会保障（伊藤周平／ちくま新書／¥1,430／ISBN=9784480076960）	

★鹿児島学習センター【ライブWeb授業】実施科目(46A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の2科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4002512	【授業内容】 江戸時代、薩摩藩内（現在の鹿児島県全域と宮崎県南部）で生産された焼き物を薩摩焼と呼びます。藩内各地でさまざまな製品が焼かれ、その多様性が薩摩焼の特徴です。この授業では、窯跡などの発掘調査によって明らかになった薩摩焼の生産と流通について講義します。 【到達目標】 江戸時代の薩摩焼について、製作技術や流通形態を学ぶことで、その歴史と多様性を理解する。 【授業テーマ】 第1回 陶磁器と考古学 第2回 薩摩焼の概要 第3回 日用品としての薩摩焼 第4回 茶道具としての薩摩焼 第5回 商品としての薩摩焼の流通 第6回 政治的アイムとしての薩摩焼 第7回 薩摩焼の食器-龍門司陶器と薩摩磁器- 第8回 島津斉彬の集成館事業と薩摩焼 【学生へのメッセージ】 窯跡や遺跡で出土する薩摩焼の破片は、完全な形でもきれいでありませんが、薩摩焼の生産や流通の歴史を伝える貴重な資料です。美術品としての薩摩焼とは少し違う薩摩焼の姿を知ってもらいたく思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン（タブレット端末やスマートフォンは推奨しません）、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・日本のやきもの 薩摩(渡辺芳郎/淡交社/¥1,980/ISBN=9784473019363) 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム(LMS)上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題(レポート等)を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	WK	
科目名	★薩摩焼の考古学	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	ワタナベ ヨシロウ 渡辺 芳郎 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授	
日程実施時間	2026年5月10日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2026年5月17日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)	

科目コード	4002504	【授業内容】 私たちは多くの動物とともに生活しています。特に犬や猫はペットとして、今では、愛玩動物ではなく家族の一員となっています。また、経済動物といわれる牛や豚など、動物園などにいる野生動物の健康も獣医師は管理しています。細菌などのように動物と人の双方に感染する病気もありますが、癌や心臓病なども、動物にも人にも同じように発生します。講義では、人と動物の関わりを歴史的な背景、環境的な要因から解説し、人と動物医療の双方にかかわる病気の紹介と、動物医療の現在の取り組みなどを紹介します。	
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	WK		
科目名	★動物医学と人の関わり		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ミウラ ナオキ 三浦 直樹 鹿児島大学学術研究院 獣医学系教授	【到達目標】 動物との共生を上手に行える社会を理解するための、獣医医療の概要、動物と人との関わり合い、将来展望を理解し、説明できるようになる。特に人と犬の歴史的関わりの変動を説明することができること、遺伝子の解析方法を理解し、動物医療が人の医療に貢献する具体的な方法を考察できるようになる。	
日程実施時間	2026年5月13日(水) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 2026年5月14日(木) 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年5月20日(水) 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 2026年5月21日(木) 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15		
概要			【授業テーマ】 第1回 動物と人が共存してきた歴史的背景 第2回 動物と人が共有する環境要因と病気の関わり 第3回 動物のゲノム解析から見えてきた人の病気との関わり 第4回 人畜共通感染症も含めた動物医療の中の感染症 第5回 人医療と動物医療の比較からわかること：比較病態解析という概念 第6回 犬の癌は人の癌と同じか？癌を例に比較病態解析をわかりやすく説明 第7回 新しい動物医療：分子解析・遺伝子解析、治療・再生療法など 第8回 動物の病気から人医療への応用
			【学生へのメッセージ】 本授業で使用する資料には「一部刺激的な場面」が含まれます。動物の医療を通じて、比較病態解析学という概念を知って、新しい視点で考える講義です。医学や獣医学の専門講義ではなく、広い視野で、人と動物の関係を考えることを目的とした講義です。
要			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン（タブレット端末やスマートフォンは推奨しません）、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)		【教科書】 教科書は使用しません。
			【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム(LMS)上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題(レポート等)を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ 実施時間が日にちで異なります。シラバスの日程実施時間をよくご確認の上、科目登録をしてください。

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー旧琉球大学病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー沖縄国際大学前ー琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路)那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間:土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2688646	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 大学では多くの講義でレポートや論文（学術的な文章）が課されますが、大学入学前までに書いてきた感想文や小論文とは何が違うのでしょうか。 この講義では、レポート・論文の要件や組み立て方（構成）、形式、学術的な文章でよく使われる表現等、レポート・論文を書くときに必要な基本的な事柄を学びます。 【到達目標】 1) 大学生生活に必須であるレポートの書き方の基礎知識とスキルを身に付ける。 2) レポート作成に必要なプロセスを経て、レポートを書くことができる。 【授業テーマ】 第1回 レポート・論文とは何かを知ろう 第2回 問いを立てよう 第3回 レポートの組み立て方を知ろう 第4回 先行研究を調べよう 第5回 引用の仕方を学ぼう 第6回 アウトラインを作成しよう 第7回 パラグラフを書こう 第8回 お互いのレポートを点検しよう 【学生へのメッセージ】 大学でレポート・論文を書いたことがない方向けの科目です。他の受講生とともに協力しながら主体的に楽しく学びましょう。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 Microsoft Word（ワード）で文書が作成できるように、Wordの入力操作を練習しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ご自身で操作可能なノートパソコン又はタブレット（キーボードがあるもの）を持参してください（スマートフォンは不可）。 2) OSの指定 OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。ただし、講義では講師はWindowsを使用するので、説明はWindowsになることをご了承ください。 3) ソフトのインストール Wordのソフトを事前に持参する端末にインストールしておいてください。 4) その他 ・USBメモリストイック（4GB以上）を1本持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・教科書（『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法（第2版）』ひつじ書房）は事前に購入して、当日持参してください（デジタル教科書も可）。 ・参考図書は、購入不要です。 【教科書】 ・失敗から学ぶ大学生のレポート作成法 第2版（近藤裕子・由井恭子・春日美穂／ひつじ書房／¥1,760／ISBN=9784823412479） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。また、教科書の「版」を間違えないようにご注意ください。「初版」ではなく、「第2版」を準備してください。 【参考書】 ・この1冊できちんと書ける！【新版】論文・レポートの基本（石黒圭／日本実業出版社／¥1,760／ISBN=4534060807） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	日本語の文章表現	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	16名	
担当講師	高橋 美奈子 タカハシ ミナコ 琉球大学 教育学部准教授	
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2688760	授 業 概 要	【授業内容】 私たちの日常生活には「からだ」の情報を使う場面が多くあります。例えば、病院での心電図検査や超音波エコー検査では、内臓の働きという情報を取り出して病気の診断に活用しています。指紋や顔といった身体の形の情報は、家の扉やスマートフォンの鍵として活用されたり、事件や事故の捜査に活用されたりしています。本講義では、私たちの「からだ」の情報を取り出す技術をやさしく解説します。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 (1) 「からだの情報」の具体例を挙げられる。 (2) アナログ信号とデジタル信号の違いを説明できる。 (3) 超音波エコー、心電図、MRI、CTのいずれかの計測原理の概略を説明できる。 (4) バイオメトリクスについて、具体例や関連する画像処理の要素技術を挙げられる。 (5) からだの情報を守る方法の概略を説明できる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「からだ」の情報とは何か？ 第2回 情報のデジタル表現 第3回 病院の検査で測る「からだ」の情報(1)：心臓の働き(心電図、 血圧) 第4回 病院の検査で測る「からだ」の情報(2)：内臓の働き(超音波エ コー) 第5回 病院の検査で測る「からだ」の情報(3)：脳の働き(MRI、CT) 第6回 日常生活で使う「からだ」の情報：指紋認証、静脈認証、顔認証 第7回 「からだ」の情報を守る方法：セキュリティ 第8回 まとめ
科目名	「からだ」の情報を 取り出す技術		【学生へのメッセージ】 情報技術や人体の仕組みに関する講義ですが、それらの基礎知識のない学生でも理解できる説明を心がけます。
科目区分	専門科目：情報		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	クニタ イツキ 國田 樹 琉球大学 工学部教授		
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年4月19日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2688697	授 業 概 要	【授業内容】 行動経済学は、人間の心理や行動を観察し、その特徴を明らかにすることを通じて伝統的な経済学を再構築しようとする新しい分野で、近年注目を集めています。 本講義では、伝統的な経済学の考え方と対比させつつ行動経済学の考え方について学びます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 講義で学んだ人々の心理や行動の「クセ」の特徴についての確に理解し、それらを日常生活で見られる出来事と結び付けて考えることができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 行動経済学とはどのような分野だろう？－人間行動の「クセ」に焦点を当てる新しい経済学 第2回 行動経済学とこれまでの経済学はどこが違うのだろうか？－これまでの経済学の人間像「ホモエコノミカス」 第3回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」①－代表性ヒューリスティクスと利用可能性ヒューリスティクス 第4回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」②－アンカリング効果とフレーミング効果 第5回 期待賞金額－くじから得られる平均的な賞金額 第6回 どうしてそのくじを買わないの？①－不確実性に対するこれまでの経済学の捉え方「期待効用仮説」 第7回 どうしてそのくじを買わないの？②－これまでの経済学の捉え方の限界「アレのパラドックス」 第8回 どうしてそのくじを買わないの？③－不確実性に対する行動経済学の捉え方「プロスペクト理論」
科目名	行動経済学		【学生へのメッセージ】 講義では、受講生の皆さんと意見交流を行いながら一部双方向的に実施する予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。
科目区分	導入科目：社会と産業		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授		【参考書】 ・行動経済学入門（筒井義郎他／東洋経済新報社／¥2,640／ISBN=9784492314975）
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2688735	授 業 概 要	【授業内容】 超少子高齢社会が進展し人生100年時代が予想される中、高齢期の特徴及び正しい老化の過程を理解することは、生涯発達の視点からもますます重要なものとなっています。本授業では、老年学に関する研究知見を踏まえ、主観的幸福感及び健康寿命の背景要因等に関する理解の深化を主な内容としています。「生涯発達」及び「老年的超越」を共通のコンセプトとして、講義及び議論を通して学びを深めます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 学際的学問である老年学を通して、生涯発達の視点を踏まえた正しい老化のプロセスを理解するために、老化の理論、生理的老化と病理的老化、生きる意味と生きがい、主観的幸福感、ライフスタイル、ライフイベント、健康長寿の背景要因等についてグループディスカッション、発表、情報の共有等を行い、自分自身の役割や課題等について判断できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 老年学の背景と高齢者の特徴 第2回 健康長寿者のライフスタイル 第3回 高齢期のライフイベントと課題 第4回 老化理論と寿命 第5回 老化と生涯発達 第6回 生きがいと老年的超越 第7回 死の準備教育と現状 第8回 主観的幸福観の背景要因
科目名	老年学への招待		【学生へのメッセージ】 日本人の平均寿命は女性87.26歳、男性81.09歳と着実に寿命が延びていますが、正しい老化の過程は十分に理解されていないのが現状です。「生涯発達の視点」から老化を捉え、健康長寿や主観的幸福観の背景要因について考えます。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 健康長寿や生きがい等について、シラバスの内容から判断し、事前の自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏 洋 沖縄学習センター 客員教授		【参考書】 ・グット・ライフ (ロバート・ウォールディング、マーク・シュルツ (著)、 児島修 (訳) / 辰巳出版 / ¥1,870 / ISBN=9784777830398) ※書店、ネットでの購入が可能です。 ※授業で、教科書の内容について、詳細な読み合わせや確認は予定しておりません。 ・100歳は世界をどう見ているか (権藤恭之 / ポプラ新書 / ¥990 / ISBN=9784591182581) ※書店、ネットでの購入が可能です。 ※授業で、教科書の内容について、詳細な読み合わせや確認は予定しておりません。
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2679183	<p>【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（目撃者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者（協力者）として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得しておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウス、USBメモリ（実験データ保存用）及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2688743	【授業内容】 近世の琉球国時代（1609年～1879年）における琉球の政治・経済・社会に関係する古文書を取りあげ、それらを読み解くことで、琉球史の多様な局面を講義します。 【到達目標】 琉球国時代の琉球史に関して、旧来の歴史像と1990年代以降の新たな研究による歴史像の違いについて、確実な古文書史料に基づいて的確に説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 琉球・沖縄歴史の推移と概要 第2回 16～19世紀、国王朱印状、言上写、御印紙の検討 第3回 「三平等案文」等に見る琉球の科試（琉球版科挙） 第4回 庶民史料の発掘と検討 第5回 「孝女伝」等に見る琉球社会 第6回 三司官伊江親方朝睦とその時代 第7回 首里城の普請（修築）日記の検討 第8回 琉球古文書の発掘・整理・公開と活用 【学生へのメッセージ】 近世の琉球国時代（1609年～1872年）は、日本（薩摩藩・江戸幕府）と中国（明清）との複雑な政治関係をもつ時代でした。かつては「暗い時代」としてマイナスイメージが付きまどっていましたが、近年では多様な局面が解明されてきました。受講生の皆さんが抱く琉球史像を問い直す機会になることを期待します。 【受講前の準備学習等】 事前に概説書（『新版県史』47 沖縄県の歴史』山川出版社、2010）、『大学で学ぶ沖縄の歴史』（吉川弘文館、2023）などを一読しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	古文書の語る琉球史	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	トミヤマ カズユキ 豊見山 和行 琉球大学名誉教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	

科目コード	2688700	【授業内容】 近年は、知的財産に関するトラブルが増え、企業からは知的財産に直接携わる職種はもちろん、これまで知的財産と関わりがなかった職種でも、知的財産に関する知識・能力をもつ人材が求められるようになってきました。しかし、そのような知識・能力をもつ人材は少ないため、少しでも知的財産に関する知識を身に付けてもらうことを目指します。 【到達目標】 知的財産保護制度の全体像と、知的財産権の1つである著作権や産業財産権（特許・実用新案・意匠・商標）の概要を理解できるようになる。また、実社会で起きている知的財産に関する問題が、どのような知的財産権に関係しているか理解できる。 【授業テーマ】 第1回 知的財産権の種類と概要 第2回 ブランドの保護と知的財産権の活用 第3回 企業における特許権の活用と侵害事件① 第4回 企業における特許権の活用と侵害事件② 第5回 著作物と著作権（人格権）の種類 第6回 著作権の侵害とは？（著作物の利用行為と著作権の制限） 第7回 企業における特許権の活用と侵害事件③ 第8回 企業における特許権の活用と侵害事件④ 【学生へのメッセージ】 各回のテーマは、受講生の理解度や興味の度合いによって、変更する場合があります。 知的財産管理技能検定や弁理士試験に興味があれば、是非お知らせください。 【受講前の準備学習等】 次の資料をインターネットから無料でダウンロードできますので、予習として事前に読んでください。 ・特許庁『工業所有権法（産業財産権法）』逐条解説 ※特許庁HP ・特許庁『産業財産権法』法令改正の解説 ※特許庁HP ・文化庁『著作権テキスト』 ※文化庁HP 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	初歩からの知的財産	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	オオクボ ヒデト 大久保 秀人 沖縄国際特許商標事務所 代表/弁理士	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	

科目コード	2688751	授 業 概 要	【授業内容】 民俗学が古くから伝わる人々のくらしを研究対象とするのは、過去を知ることにより私たちの生きる「今」を考える手がかりとするためです。 本授業では、沖縄の多様な民俗事象のうち、今も日常のくらしの中で目にし、用いる機会が多い祭具や供物といった信仰をめぐる「もの」に焦点をあて、その形式や意味、変容の過程と今日のありようから、沖縄の民俗の特色、そして現代沖縄の生活文化のルーツを解き明かしていきます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 祭具や供物など、沖縄の伝統的な信仰をめぐる「もの」の形式や意味、変容の過程と今日のありようについて理解し、これらを踏まえて沖縄の民俗の特色や現代沖縄の生活文化のルーツについて説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「もの」の形式は心のあらわれー沖縄の民俗を学ぶにあたってー 第2回 ヒヌカン(火の神、かまどの神) 第3回 位牌と仏壇 第4回 ウコル(香炉)と線香 第5回 ウチカビ(紙銭)とジューバク(重箱に詰めた供えもの) 第6回 ビンシー(携行用の御願道具)と酒、米 第7回 ソーグワチ(正月)、シチグワチ(盆)の供えもの 第8回 「もの」からみる沖縄の民俗の特色と今
科目名	沖縄の民俗 ー信仰とくらしー		【学生へのメッセージ】 日常のくらしの中に存在するさまざまな民俗事象の意味やルーツを解き明かしていくことを通じ、沖縄の民俗を学ぶ楽しみ、知る喜びを味わってもらいたいと思います。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 (1) 日常のくらしの中にある祭具や供物について関心をもつよう心がけてください。 (2) 「参考書」の項に掲げたものをはじめ、事前に各回のテーマに関連する資料を読んでおいてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	イナフク マサナリ 稲福 政 斉 沖縄国際大学非常勤講師 ／沖縄大学非常勤講師		【参考書】 ・御願の道具と供えもの事典(稲福政斉／ボーダーインク／¥2,420／ISBN=9784899823308) ・ヒヌカン・仏壇・お墓と年中行事(稲福政斉／ボーダーインク／¥1,760／ISBN=9784899823773) 書店およびネット通販(Amazon、honto、楽天ブックス等)で入手可能です。 ・「御願じょうず」なひとが知っていること(稲福政斉／ボーダーインク／¥2,200／ISBN=9784899824596) 書店およびネット通販(Amazon、honto、楽天ブックス等)で入手可能です。 ・沖縄しきたり歳時記 増補改訂(ボーダー新書17)(稲福政斉／ボーダーインク／¥1,320／ISBN=9784899823582)
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2688654	授 業 概 要	【授業内容】 世間では数学が嫌いな人が多いですが、それは、数学という難しい記号や計算が出てきて何をやっているのか理解できないことをやっているようなイメージがあるからではないでしょうか。ところが、数学的に考えるというのは、自分が何をやっているのか、きちんと理解しながら考えるということなのです。問題をなんとなく捉えるのではなく、何を意味しているのかきちんと定義して考えていくことなのです。 数学的に考えるのは、実はとても楽しいことだと理解いただけるとと思います。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 日々の暮らしの中で出てくる数学的概念に気づくことができ、その概念を扱うことができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 誕生日当てカードの秘密：誕生日を当てるカードがあるけど、どんな仕組みなのか。 第2回 簡単な確率の問題を考えよう：ライアーゲームにも登場したゲーム 第3回 階段の上り方をどうやって数えようか：漸化式という考え方 第4回 天国への道：論理的に考えるのは楽しい。 第5回 素数って役にたつの？ 第6回 人生を支配する曲線：私たちの人生のほとんどが、ある曲線に支配されている。 第7回 数列の和の公式を暗記するのは苦しいけど、公式を導くのはすごく楽しい。 第8回 国の借金1,000兆円越え、国民一人当たり約1,000万円って大丈夫なの？日本を救おう！！小学生でもわかる等式から驚くべき事実が。
科目名	暮らしに役立つ 楽しい数学		【学生へのメッセージ】 毎時間、異なるテーマを扱いますが、全体を通して「数学的に考える」ということで一貫しています。わかるということがとても楽しいことだということを体験して欲しいと思っています。
科目区分	基盤科目		【受講前の準備学習等】 中学校で習った内容（素因数分解、平方根など）を復習しておいてください。
ナンバリング	120		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 ノートを持参してください。
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆 則 沖縄学習センター 客員准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2688670	授 業 概 要	【授業内容】 多様な事例から、子どもはなぜ荒れるのかに迫ります。ポイントは、子どもの言動を読み取り理解できるかです。そして言動に隠されていたものを明らかにします。講義の1日目は幼稚園、保育園から小学校の中学年までの子の事例が多く登場します。2日目は小学校高学年から中学生や大人の事例が出てきます。発達障害の特性や感情コントロールに苦しむ子どもについての例や自分の過去に葛藤を抱える大人の例もあり、子どもの心理を読みながら、自分の人生を振り返る一面を持った授業です。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 子どもはなぜ荒れるのか、事例をもとにしたクイズやワークに個人やペア、グループで取り組み、子どもたちのライフヒストリーに共感的に迫ることを通して、実は叫びであることを理解することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 事情を背負った子ども、大人は敵だった 第2回 すれ違う幸せ、さようなら家族？ 子どもの願い 第3回 発達障害とアタッチメント、詩から想像しよう 第4回 発達障害、感情コントロールに苦しむ子ども 第5回 否定の中の肯定、格差社会を生きる三銃士 第6回 ある少女の叫びと反発、表現してみよう 第7回 思春期の葛藤、私は生きている値打ちがあるのか 第8回 まとめ、あなたはなぜこんな大人になったのか
科目名	荒れる子どもの ナゾを解く		【学生へのメッセージ】 この講義は多様な子どもの事例について、説明だけでなくクイズが出てきます。答えをひとり、あるいは共同で楽しく学んでいくものです。
科目区分	導入科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 事前に教科書を準備し、読んでおいてください。当日はこの本を使います。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 指定された教科書『子どもの願い いじめVS12の哲学』を当日持参してください。毎時間テキストを読むなど、活用します。
担当講師	丹野 清彦 <small>タンノ キヨヒコ</small> 琉球大学 非常勤講師		【教科書】 ・子どもの願い いじめVS12の哲学 (丹野清彦/高文研/¥1,650/ ISBN=9784874986479) ※各自、書店やインターネット等で事前に購入し、読んでいることを薦めます。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2679256	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目: 心理と教育	
ナンバリング	320	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
定員	20名	
担当講師	ヤマダ キョウコ 山田 恭子 琉球大学グローバル教育支援機構 アドミッション部門准教授	【授業テーマ】 第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「視覚探索」の実施と解説 第3回 統計的分析、レポートの書き方 第4回 実験2「ストループ効果」の実施 第5回 実験2「ストループ効果」の解説 第6回 実験3「SD法」の実施 第7回 実験3「SD法」の解説 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
授業概要	授 業 概 要	【学生へのメッセージ】 この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。 【受講前の準備学習等】 準備 ●インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ●OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ●「視覚探索」の実験は「オンライン実験のサイト」で実施します。事前に「オンライン実験のサイト」にアクセスし、ブックマークする等、授業の際すぐにアクセスできるようにしておいてください。パスワードは授業内でお伝えします。 https://psychology-ouj.sakurane.jp/psychexp_v03/ (ただし、授業開講前に新しいバージョンのサイトが運用される可能性があります)ではありません。その場合は授業内でお知らせします。その場合もURLにほとんど変更はない予定です) ●実験したデータの提出と配布のために、Google driveの「2026心理学実験3_データ提出用」フォルダを使います。このフォルダにもアクセスできるようにしておいてください。 https://drive.google.com/drive/folders/1Ct1tivwrTUyDeVeuqqi4y_opDveaHELz?usp=sharing 学習など ●シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 ●この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2688689	授 業 概 要	【授業内容】 児童期の発達障害、思春期青年期のひきこもりなど様々な問題、成人してからの統合失調症やうつ病など、現代社会で数多くとりあげられるメンタルヘルスの問題をテーマに講義していきます。特に、それらの分野に関する支援実践の現状について触れながら、かつ演習を交えながら講義を進めていきます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 精神医学や精神疾患の視点にとどまらず、「生活」を含めた包括的な視点で、児童期から思春期、成人期にいたるまでのメンタルヘルスの問題を考えることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 成人のメンタルヘルス (1) 第2回 成人のメンタルヘルス (2) 第3回 成人のメンタルヘルス (演習1) 第4回 成人のメンタルヘルス (演習2) 第5回 子どものメンタルヘルス (1) 第6回 子どものメンタルヘルス (2) 第7回 子どものメンタルヘルス (演習1) 第8回 子どものメンタルヘルス (演習2)
科目名	子どもから大人への 精神保健学		【学生へのメッセージ】 一方的な講義だけではなく、グループワークや演習を含めた学習を進めていきます。
科目区分	導入科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 『ブラックジャックによろしく(9巻～12巻)』(佐藤秀峰著)を読んで来てください(ネット上で無料閲覧可能・「ブラックジャックによろしく」で検索してみてください)。この漫画の登場人物の立場とその立場に関わるその人の考え方について整理しておいてください。授業でワークをします。
ナンバリング	230		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況(グループワーク、演習なども含みます)及び試験の評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	チナ タカシ 知名 孝 沖縄国際大学 総合文化学部教授		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2688778	【授業内容】 琉球列島の一部の地域は、その生物多様性の高さから、2021年に世界自然遺産に登録されました。本講義では、琉球列島における生物相の成立や生物多様性保全の取り組みについて概説します。また、生物の多様性は種間関係にも表れているため、その事例を紹介します。さらに、生物多様性を保全するための1つである外来種対策について概説するとともに、沖縄における現状を実習をととして学習します。 【到達目標】 (1) 琉球列島の生物多様性の高さと、その成立要因について理解する。 (2) 琉球列島における動物-植物相互関係に関する理解を深める。 (3) 琉球列島における生物多様性の脆弱性および、外来種問題を理解する。また、外来種問題の解決策を考え、提案することができる。 【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 琉球列島における生物多様性の成立 第3回 沖縄でみられる種間関係（野外実習を含む） 第4回 琉球列島における生物の保全と法令 第5回 外来種は何が問題なのか？ 第6回 外来種の食性（室内実習） 第7回 琉球列島における外来種問題 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 琉球列島に限定した生物多様性および保全の話だけでなく、幅広い地域の内容も扱う予定です。日頃から自然環境に興味を持っていてもらえると内容がわかりやすいと思います。野外および室内実習を含みます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	琉球列島の生物多様性と保全	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	コバヤシ シュン 小林 峻 琉球大学 理学部助教	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 および 1日目第3回は 沖縄学習センター周辺	
		【受講者が当日用意するもの】 1日目（6月6日）は、野外で生物観察を行います。野外に出て歩ける靴および服装で参加してください。 2日目（6月7日）は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装・靴で参加してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・生物多様性と地球の未来 ―6度目の大量絶滅へ？（太田 英利（監修、翻訳）、池田 比佐子（翻訳）／朝倉書店／¥3,740／ISBN=9784254171655） ・いきもの六法 日本の自然を楽しみ、守るための法律（中島 慶二（監修）、益子 知樹（監修）、山と溪谷社いきもの部（編集）／山と溪谷社／¥1,980／ISBN=9784635590518） 【その他（特記事項）】 1日目と2日目に実習があります。「学生教育研究災害傷害保険」及び「通学中等傷害危険担保特約」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2688719	【授業内容】 沖縄では、稲藁などの植物で作った「藁算（わらざん）」と呼ばれる結縄が、文字を学べなかった庶民を中心に、琉球王国時代から明治期まで記録や意思の伝達などに使われていました。その一部は、現在でも沖縄の祭祀の中に見られます。授業の前半では、日本で唯一沖縄だけに残るこの結縄文化について学習します。授業の後半では、近年まで沖縄の生活の中に見られた様々な植物利用を概観し、資源が限られた島で生きる人たちの知恵と技について学びます。また、藁算や植物民具の制作実習と琉球大学博物館での関連資料に関する解説も併せて実施します。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	沖縄の結縄と植物利用	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	18名	
担当講師	ササキ タケン 佐々木 健志 元琉球大学博物館助教／ 学芸員	
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 小講義室 および 6月14日(日)のみ 琉球大学博物館・風樹館	
授業概要	【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・無文字社会における、結縄や木斛による記録や意思の伝達方法について、その概要を説明することができる。 ・明治期に至るまで、沖縄だけに結縄が残ってきた理由を、その社会的背景を踏まえて説明することができる。 ・沖縄の植物利用の特徴について、具体的な例を挙げて説明することができる。 ・島における持続的な資源利用について、自らの考えを伝えることができる。 ・簡単な藁算と植物民具を製作することができる。 【授業テーマ】 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 無文字社会における記録と意思の伝達方法 第2回 沖縄の結縄「藁算」とは その1 第3回 沖縄の結縄「藁算」とは その2 第4回 沖縄に残るもう一つの結縄 サン 第5回 沖縄の植物利用 第6回 藁算と植物民具の制作実習 第7回 琉球大学博物館で学ぶ沖縄の結縄と文化 その1 第8回 琉球大学博物館で学ぶ沖縄の結縄と文化 その2 【学生へのメッセージ】 <ul style="list-style-type: none"> ・植物を使って藁算などの制作実習を行いますので、汚れてもよい服装でお越しください。 ・琉球大学博物館では、展示標本の撮影が許可されていますので、写真資料として事後学習等に役立ててください。 【受講前の準備学習等】 <ul style="list-style-type: none"> ・無文字社会、結縄、木斛、キープ、藁算などの用語について、インターネット等で調べておいてください。 ・沖縄の魔よけの「サン」について、インターネット等で調べておいてください。 ・琉球王府時代の人頭税制度や教育制度について、インターネット等で調べておいてください。 ・沖縄の植物を利用した民具や祭祀植物について調べておいてください。 ・授業で学修した内容や配布資料を活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。	
教科書	授業当日にプリントを配付します。	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄結縄考（田代安定／至言社／¥4,500／ISBN=30397718417612）1977年発行 古書にて入手可能 ・藁算 琉球王朝時代の数の記録法（栗田文子／慶友社／¥4,500／ISBN=487449238X） ・南島の自然誌 変わりゆく人－植物関係（山田孝子／昭和堂／¥5,300／ISBN=9784812211687） ・琉球植物民俗事典 聞き書き 琉球列島の植物利用（盛口 満／八坂書房／¥4,000／ISBN=9784896943603） ・沖縄県史 各論編 第9巻 民俗（沖縄県教育庁文化財課史料編集班 編集／沖縄県教育委員会） コラム 沖縄に残る結縄文化－ワラザン－p206-208. 佐々木 健志 著. 2020. 授業当日にコピーを配布します。 	
その他(特記事項)	【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 2日目に琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険」及び「通学中等傷害危険担保特約」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。(面接授業開設科目一覧P.5参照)	

科目コード	2679264	授 業 概 要	【授業内容】 心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができるようになることを達成目標とします。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能の概説 第3回 心理検査が測定する対象～性格の概説 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 レポートの作成 第5回 投影法心理検査の基礎理論 第6回 具体的な心理検査2 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査4 心理尺度（タイプA性格）
科目名	心理検査法基礎実習		【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、単位認定試験成績通知後に返却します。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、心理検査の実施のために、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。
担当講師	タナカ カンジ 田中 寛二 琉球大学 人文社会学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2688662	授 業 概 要	【授業内容】 人生100年時代と言われる現代、厚生労働省は「2050年代、女性の平均寿命は90歳を超える」と予測し、ある研究では「2007年生（18歳）の半数が107歳まで生きるだろう」としています。このような中、食育への関心も高まり、様々な場面で取組が行われています。本講義では、大人の食育に焦点を当て、「生きた教材」といわれる学校給食から栄養や健康に関すること、沖縄県の郷土料理から食文化などを学び日々の暮らしを豊かにする食育について考えます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 食を取り巻く環境の変化や健康課題に関する現状などから食育の必要性を理解し、食育白書（農林水産省）やメディア等より食育の実態と実情を把握する。自分の食生活を振り返り、バランスの取れた食事や健康に関すること、食を通じた豊かな生活など自分が実践できる食育について考えることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 食育とは－暮らしの中の食育を考える－ 第2回 食育は知育・徳育・体育の基礎となるもの 第3回 子どもの食育－学校給食を中心に－ 第4回 学校給食の献立から学ぶ 第5回 食文化と食育 ミニクッキング① 第6回 食文化と食育 ミニクッキング② 第7回 大人の（自分ができる）食育を考える 第8回 まとめ
科目名	大人の食育を考える		【学生へのメッセージ】 これまでの食にまつわる思い出や普段の食生活などを振り返り、食と健康・栄養、食文化などについて考える時間にしていきます。
科目区分	導入科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 課題2点について、それぞれ200文字程度にまとめて持参してください。 ①普段、食事や料理をする時に心がけていること （例：栄養のバランスを考える、よく噛む、野菜を多く取る、短時間でできる料理など） ②自慢の（好きな）家庭料理、行事料理について
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 材料費等（500円） 2日目は調理を行いますのでエプロン、三角巾の準備をお願いします。また、爪は切りマニキュア等は落としてください。
担当講師	イグチ ナオコ 井口 直子 琉球大学 農学部准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【参考書】 ・令和6年版食育白書（農林水産省編／日経印刷株式会社／¥2,145／ISBN=9784865794199）
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 および 6月21日（日）のみ 琉球大学農学部 多目的室		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 2日目に実習があります。「学生教育研究災害傷害保険」及び「通学中等傷害危険担保特約」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2679221	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」の解説 第4回 統計的分析、レポートの書き方 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施 第6回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の解説 第7回 統計的分析、レポートの書き方 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導 【学生へのメッセージ】 パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・USBメモリ（実験のデータ保存用）及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 ・指定された教科書『心理学実験を学ぼう！』 【教科書】 ・心理学実験を学ぼう！（小河妙子・斉藤由里・大澤香織（編）／金剛出版／¥2,420／ISBN=9784772411608） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	フルカワ タカシ 古川 卓 琉球大学 保健管理センター教授	
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2688727	授 業 概 要	【授業内容】 今日、テレビやインターネットを通じて「食」や「農業」に関する情報があふれる時代です。 この講義では、第一に地理学の視点から農業と風土との関係、世界の農業と食糧問題、日本の農業および沖縄の農業の地域特性、諸課題と展望についてみていきます。第二には「食文化」をキーワードとして、郷土食と行事にみる食文化の地域性、日本の地形・地質と食文化など我々の日常生活と食文化について様々な視点から考えていきたいと思っています。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 地理学を通じて、世界や日本そして沖縄の農業と食文化における地域的特色とその形成要因について説明することができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 はじめにー農業と風土と地域性ー 第2回 農業と食糧問題 第3回 日本農業の地域特性 第4回 沖縄農業の地域特性 第5回 地理学から食文化の地域性について考える 第6回 無形文化財と和食について 第7回 日本の郷土料理を訪ねて 第8回 おわりに
科目名	食と農の地理学		【学生へのメッセージ】 日頃、テレビ、新聞、インターネットの情報を通じて、農業や食文化に関心をもって頂ければと思っています。また、毎回の講義で登場する地名については地図帳で確認してください。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	22名		【受講者が当日用意するもの】 地図帳（市販のもの、あるいは中学校・高校で使用した古いものでもかまいません。スマホ等の地図アプリ使用可）、ノート、筆記用具、蛍光ペンなど。
担当講師	オガワ マモル 小川 護 沖縄国際大学 経済学部特任教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2688786	授 業 概 要	【授業内容】 ヒトは様々な生物と繋がり、関わり合いながら生きています。本科目では、特に沖縄地域を中心に、ヒトに病害を与える寄生虫、衛生動物、海の危険生物について、写真、症例紹介等をまじえて講義・実習を行います。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 ヒトに病害を与える寄生虫、衛生動物、海の危険生物について理解し、説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「病害動物とは?」「寄生虫と寄生虫病Ⅰ」 第2回 「寄生虫と寄生虫病Ⅱ」「幼虫移行症」 第3回 「沖縄の寄生虫病」「寄生虫考古学」 第4回 「届出が必要な寄生虫病」「寄生虫食中毒」 第5回 「衛生動物とは?」「沖縄の病害動物」 第6回 「海の危険生物」 第7回 「病害動物実習」(マサバからのアニサキス回収等) 第8回 「まとめ」
科目名	沖縄の病害動物		【学生へのメッセージ】 身近に病害動物は溢れており、本授業で使用する映像には「咬傷例等の一部衝撃的な場面」が含まれますのでご承知おきください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 2日目(6月28日)は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装で参加してください。
担当講師	トウマ ヒロム 當眞 弘 琉球大学大学院 医学研究科准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 2日目に実習があります。「学生教育研究災害傷害保険」に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

★沖縄学習センター【ライブWeb授業】実施科目(47A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の 2 科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4002539	【授業内容】 沖縄県のやんばるの森と鹿児島県の屋久島の森は、かつては伐採活動がさかんに行われ、木材生産によって地域の社会や経済を支えてきました。しかし、資源の減少や競争力の低下などで木材生産が下火になると同時に、森のすがたやそこに暮らす動植物の多様性などが評価されて森を保全する機運が高まりました。そして現在とともに世界自然遺産に登録され、普遍的な価値を持つ人類共通の遺産と位置付けられています。この授業では、やんばるの森と屋久島の森それぞれの特徴やこれまでの人のかかわり方を学び、これからの時代の自然と人の共生について考えます。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★やんばるの森と屋久島の森	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	タカシマ アツシ 高嶋 敦史 琉球大学 農学部准教授	
日程実施時間	2026年5月15日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 2026年5月22日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 2026年5月29日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 2026年6月5日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~12:25	【到達目標】 ・やんばるの森と屋久島の森の特徴を説明できるようになる。 ・森が私たちの生活に与える恵みを理解し、森と人の関係について知識を深め、これからの時代の自然と人の共生について考えられるようになる。
	授業概要	【授業テーマ】 第1回 森のすがたとはたらき 第2回 やんばると屋久島の暮らし 第3回 やんばるの森の特徴 第4回 やんばるの森と人のかかわり 第5回 屋久島の森の特徴 第6回 屋久島の森と人のかかわり 第7回 やんばると屋久島の森をとりまく課題 第8回 やんばると屋久島での自然と人の共生にむけて 【学生へのメッセージ】 やんばるの森と屋久島の森は世界自然遺産に登録されていますが、人々に利用されてきた歴史があり、森と人の関係性を学ぶ教材としても重要です。実際に調査して得られたデータなども紹介しながら授業を進めます。
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)	【受講前の準備学習等】 ・やんばるの森や屋久島の森について、書籍、メディア、インターネットなどから情報収集をしておいてください。 ・受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン(タブレット端末やスマートフォンは推奨しません)、マイク・ヘッドホン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。 【教科書】 教科書は使用しません。
		【その他(特記事項)】 専用のシステム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム(LMS)上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題(レポート等)を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/

科目コード	4002520	【授業内容】 ロジカル・シンキング（論理的思考）とは、物事に対して感覚的に“なんとなく”捉えるのではなく、情報を整理して矛盾がないように順序立てて考え、結論を出す方法を指します。大量の情報が凄まじいスピードで流れる現代において、思い込みや直感、知識に頼らないこの“地頭力”こそが人類にとって一生もののスキルになると、私は信じています。本講義では、豊富な例題・演習を通じて知的トレーニングを積むことを目的としています。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★ロジカル・シンキング入門	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	【到達目標】 講義で扱う例題や演習を通じてロジカル・シンキングの根幹をなす5つのスキル（論理的思考、批判的思考、水平思考、俯瞰力、多面的視野）について理解することで、学生は解決すべき問題に対して直感や思い込みに流されることなく情報を整理し、矛盾がないよう順序立てて考え、結論を出す方法を身に付けることができる。
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学 工学部准教授	【授業テーマ】 第1回 ガイダンス 第2回 論理的思考（ロジカル・シンキング） 第3回 批判的思考（クリティカル・シンキング） 第4回 水平思考（ラテラル・シンキング） 第5回 これまで（トリプル・シンキング）の復習 第6回 俯瞰力 第7回 多面的視野 第8回 まとめ
日程実施時間	2026年5月29日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月5日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月12日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月19日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	【学生へのメッセージ】 講義で扱う問題は、初見で解けなくても全く問題ありません。授業内で受講生に回答を求めたりグループディスカッションを行うこともありませんが、ひとまず自分の頭で考えてみてください。その上で解説を聞き、授業後は問題を見たら解き方を思い出せるようになるまでしっかり復習してください。
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 インターネット環境のあるパソコン（タブレット端末やスマートフォンは推奨しません）、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。
		【教科書】 教科書は使用しません。
		【参考書】 ・頭のいい人だけが解ける論理的思考問題（野村裕之／ダイヤモンド社／¥1,980／ISBN=9784478119044） ・5分で論理的思考力ドリル（ソニー・グローバルエデュケーション／Gakken/¥1,320／ISBN=9784053049032）
		【その他（特記事項）】 専用のシステム上で教材・資料を配付します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/

IV 学習センター以外の場所で行う面接授業

以下の科目は、学習センター・サテライトスペース以外の場所で行う面接授業です。
科目登録の際は、授業実施会場にご注意ください。また、申請の前に必ず本冊子の授業概要にて、詳細(場所・授業概要・当日用意する物等)をご確認ください。

- なお、受講に際しては、以下のことにご留意ください。
○食事等は各自でご用意ください。また、ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力ください。
○会場においては、責任者の指示に従ってください。
○交通費、宿泊費(宿泊を要する場合)については、受講者のご負担となります。

学習センター	科目名	実施会場
福岡	人間工学	九州大学大橋キャンパス(福岡市南区塩原4-9-1)
佐賀	佐賀の歴史と文化1	4月26日(日)、5月10日(日)は佐賀学習センターアバンセ第2研修室、5月17日(日)は佐賀市歴史民俗館(旧古賀家1号室等)(佐賀県佐賀市柳町3-15)
	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	佐賀県立九州陶磁文化館(佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)
	身近な自然から考える生物多様性	佐賀学習センターアバンセ第1研修室、一部の回はどんどんの森(佐賀県佐賀市天神三丁目)
	映像デザインー映画からVRまで	佐賀大学(佐賀県佐賀市本庄町1)
長崎	くずし字で読む諏訪社の歴史	鎮西大社諏訪神社(長崎県長崎市上西山町18番15号)
	クラシック音楽、アナザースカイ	長崎大学長崎創楽堂(長崎市文教町1-14)
熊本	水の社会学	熊本学習センター講義室1および熊本博物館(2日目1・2限)(熊本市中央区古京町3-2)
	分子生物学実験:DNAの解析2	熊本学習センター大講義室および熊本大学理学部1号館2階生物実習室(熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)
大分	はじめて学ぶ香りの科学	大分学習センター、大分香りの博物館および別府大学36号館発酵食品学科実験室
	大分の防災と減災	大分学習センターおよび日田市天ヶ瀬温泉街(2日目)
	インバウンドと地方観光の可能性	大分学習センターおよび竹田市(2日目)
	地域に学ぶ生物多様性	大分学習センターおよび別府大学周辺
宮崎	論理的な読み書きの技法	宮崎サザンビューティ専門学校(宮崎市老松2-1-17)
	博物館で宮崎の文化芸術を学ぶ	宮崎県立美術館、宮崎県総合博物館(宮崎市船塚3丁目210、宮崎市神宮2丁目4-4)
	海洋生物学実習2	宮崎大学農学部附属次世代農業教育研究センター・延岡フィールド(水産実験所)(延岡市赤水町376-6)
	健康志向の運動実践2	宮崎大学清武キャンパス(宮崎市清武町木原5200番地)
	身の回りのあっと驚く化学体験5	宮崎大学木花キャンパス(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)
	心理学実験2	宮崎県婦人会館(宮崎市旭1-3-10)
	日本語の文のしくみ	南九州大学宮崎キャンパス(宮崎市霧島5丁目1番地2)
鹿児島	世界の作物栽培と温暖化・沙漠化	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(奄美市名瀬古田町1-1)
	社会保障のしくみと法	
	鹿児島湾洋上実習	鹿児島大学水産学部附属練習船かごしま丸(鹿児島市南榮5丁目29)
沖縄	沖縄の結縄と植物利用	沖縄学習センター小講義室および6月14日(日)のみ琉球大学博物館・風樹館
	大人の食育を考える	沖縄学習センター中講義室および6月21日(日)のみ琉球大学農学部多目的室



 **放送大学**
教養学部